

令和4年度市政アンケート調査
報告書

令和5年3月
河内長野市

目 次

第1章 調査の概要	1
1-1. 調査目的	1
1-2. 調査方法	1
1-3. 調査内容	1
1-4. 配布・回収結果	2
1-5. 調査結果の見方	2
第2章 アンケート調査結果	3
■調査結果の概要	3
2-1. 属性	7
A 性別	7
B 年齢	7
C 家族構成	7
D 居住期間	8
E 小学校区	9
F 以前住んでいたところ	9
G 職業	10
2-2. 河内長野市での定住意向について	11
(1) 市での定住意向(問1)	11
(2) 住みつづけたい理由(問2)	13
(3) 市外に移りたい理由(問3)	15
(4) 市に住みつづけるために必要なもの(問4)	17
2-3. 河内長野市の取組みについて	19
(1) 市の取組みに対する満足度・重要度(問5)	19
(2) 不満を感じる取組みとその理由(問6)	36
(3) 地域やまちづくり活動の参加度(問7)	39
(4) 市の取組みに対する感じ方(問8)	40
2-4. 健康づくりについて	41
(1) 運動の頻度(問9)	41
(2) 1回の運動時間(問10)	43
(3) 運動を続けている期間(問11)	44
(4) ストレスを解消できているか(問12)	45
(5) ストレスの解消方法(問13)	47
(6) ところが疲れたときに相談できる専門機関の認知度(問14)	49
(7) 知っている専門機関(問14-2)	51
(8) 喫煙の有無(問15)	52
(9) 飲酒の有無(問16)	54
(10) 過去1年間の健康診査等を受診の有無(問17)	56
(11) 健康診査等を受けた場所(問17-2)	57
(12) 受診した項目(問17-3)	58
(13) 健康診査等を受診していない理由(問17-4)	60
(14) 自分の歯の本数(問18)	61

(15) 定期的な歯科検診の受診の有無 (問 19)	62
(16) 歯科検診を受診した場所 (問 19-2)	64
(17) 「食育」への関心の有無 (問 20)	65
(18) 朝食を食べる習慣の有無 (問 21)	66
(19) 朝食を食べない日がある理由 (問 22)	68
(20) 食事をする相手 (問 23)	69
(21) 主食、主菜、副菜を組み合わせた食事の回数 (問 24)	71
(22) 行事食を食べる習慣の有無 (問 25)	72
(23) 食べている行事食 (問 25-2)	73
2-5. 読書習慣・図書館利用について	74
(1) 最近2年以内の読書の有無 (問 26)	74
(2) 読書をしたときの出版物の形態 (問 27)	75
(3) 読んだ書籍のジャンル (問 28)	76
(4) 読んだ電子書籍のジャンル (問 29)	78
(5) 最近2年以内の図書館・公民館図書室・自動車文庫の利用の有無 (問 30)	80
(6) 河内長野市の図書館等を利用しなかった理由 (問 31)	81
(7) 自動車文庫の利用の意向 (問 32)	83
(8) 「河内長野市立電子図書館」の認知度 (問 33)	85
(9) 図書館にとって重要だと思われるもの (問 34)	87
(10) 河内長野市立図書館で充実したらよいと思われる資料 (問 35)	89
(参考) アンケート調査票	91

第1章 調査の概要

1-1. 調査目的

河内長野市における「住みよさ指標」と「健康づくり」、「読書習慣・図書館利用」について、満18歳以上の市民2,000人へ意識調査を行うことにより、それぞれの市民意識を把握して今後の施策推進のための参考資料とすることを目的とします。

1-2. 調査方法

調査区域：河内長野市全域

調査対象：18歳以上の市民の中から2,000人を無作為抽出

調査時期：令和4年8～9月

調査方法：郵送による配布・回収

1-3. 調査内容

<ul style="list-style-type: none">●属性<ul style="list-style-type: none">A 性別B 年齢C 家族構成D 居住期間E 小学校区F 以前住んでいたところG 職業●河内長野市での定住意向について<ul style="list-style-type: none">問1. 市での定住意向問2. 住みつづけた理由問3. 市外に移りたい理由問4. 市に住みつづけるために必要なもの●河内長野市の取組について<ul style="list-style-type: none">問5. 市の取組に対する満足度・重要度問6. 不満を感じる取組とその理由問7. 地域やまちづくり活動の参加度問8. 市の取組に対する感じ方●健康づくりについて<ul style="list-style-type: none">問9. 運動の頻度問10. 1回の時間問11. 続けている期間問12. ストレスをうまく解消できているか問13. ストレスの解消方法問14. ころろが疲れたときに相談できる専門機関の認知度<ul style="list-style-type: none">問14-2. 知っている専門機関問15. 喫煙の有無問16. 飲酒の有無	<ul style="list-style-type: none">問17. 過去1年間に健康診査や人間ドックを受けた経験<ul style="list-style-type: none">問17-2. 健康診査や人間ドックを受けた場所問17-3. 健康診査や人間ドックの内容問17-4. 健康診査や人間ドックを受けていない理由問18. 自分の歯の本数問19. 定期的な歯科検診の有無<ul style="list-style-type: none">問19-2. 歯科検診を受けている場所問20. 「食育」に対する関心の有無問21. 朝食を食べる習慣問22. 朝食を食べない日がある理由問23. ふだんの食事 ①朝食問23. ふだんの食事 ②夕食問24. 主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を食べる習慣問25. 行事食を食べる習慣<ul style="list-style-type: none">問25-2. 食べている行事食●読書習慣・図書館利用<ul style="list-style-type: none">問26. 最近2年以内の読書の有無問27. 読書をしたときの出版物の形態問28. 読んだ書籍のジャンル問29. 読んだ電子書籍のジャンル問30. 最近2年以内の河内長野市の図書館等利用の有無問31. 河内長野市の図書館等を利用しなかった理由問32. 自動車文庫の利用の意向問33. 「河内長野市立電子図書館」の認知度問34. 図書館にとって重要だと思われるもの問35. 河内長野市立図書館で、今後充実したらよいと思われる資料
---	---

1-4. 配布・回収結果

配布・回収結果を示したものが下表です。

配布数 (A)	回収数	有効回収数 (B)	有効回収率 (B/A)
2,000	1,095	1,093	54.7%

1-5. 調査結果の見方

- ・回答結果の割合「%」は、小数点以下第2位を四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・図表中の「n」（サンプル数）は有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。
- ・文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- ・表中の網掛け（**第1位**）は、選択肢の中で最も高い割合のものを示しています。ただし、設問によっては（**第2位**）（**第3位**）も網掛けしています。
- ・文中の表現で、本年度実施した調査を今回調査又は2022年度調査といたします。
- ・健康づくりに関する設問は、20歳以上の1,069名について集計しています。

第2章 アンケート調査結果

■調査結果の概要

(1) 河内長野市での定住意向について

- ・市での定住意向については、「ずっと今の場所で住みつづけたい」(46.3%)、「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住みつづけるつもり」(26.9%)、「どちらともいえないが河内長野市には住みつづけたい」(7.6%)が上位を占めています。(問1)
- ・住みつづけたい理由については、「住みなれたまちだから」(45.1%)、「自然環境がよいから」(39.3%)が上位を占めており、一方、市外に移りたい理由については、「買い物など日常生活に不便だから」(38.5%)、「通勤・通学に不便だから」(30.8%)が上位を占めています。(問2、問3)
- ・市に住みつけるために必要なものについては、「買い物などの日常生活の便利さの充実」(49.9%)、「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」(47.9%)、「通勤・通学などの交通環境の充実」(16.8%)、「市内で働ける場所の充実」(16.3%)が上位を占めています。(問4)

(2) 河内長野市の取組みについて

- ・市の取組みに対する『現在の満足度』『今後の重要度』について、上位3項目、下位3項目をまとめたものが下表です。
- ・『満足度』では、自然や生活環境のよさを評価する意見が高く、『重要度』では消防・救急、防災、防犯といった安全・安心に係る意見が高くなっています。

■ [現在の満足度／今後の重要度] の上位・下位3項目

		1位	2位	3位
満足度	上位	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ (3.40)	騒音・悪臭などの少なさ (3.34)	消防・救急 (3.30)
	下位	商業地などの賑わい (2.21)	身近な場での働きやすさ (2.38)	観光事業 (2.51)
重要度	上位	消防・救急 (4.53)	防災 (4.50)	防犯 (4.47)
	下位	国際交流や多文化共生社会 の推進 (3.66)	文化芸術活動などの環境 (3.68)	男女共同参画の推進 (3.69)

(注) 表中 () 内の数字は5点を満点とした時の加重平均を示す。

- ・さらに『満足度』と『重要度』のクロス分析で、下記の4区分を行い、散布図を作成してみました。(報告書P28参照)。
- ・エリア「A」には、「福祉・社会保障」や「市街地・道路・交通整備」に関する分野が位置しており、『重要度』が高いものの『満足度』が低くなっています。
- ・エリア「B」の「安全・安心」「生活環境・景観・自然」に関する分野は、特に『重要度』『満足度』が高いことから、より強化が期待されています。
- ・一方、エリア「D」の「学習・文化・芸術・共生等」に関する分野は、『満足度』が平均付近に位置し『重要度』が低いことから、安定的な維持が期待されています。(問5)

エリア	内容	項目
A 早急な対応が 求められる エリア	満足度→低 重要度→高	5. 消費者行政／7. 高齢者にとっての暮らしやすさ／8. 障がい者にとっての暮らしやすさ／9. 社会保障制度／26. 市街地の整備／29. 道路や橋などの交通網／30. バスなどの公共交通サービス／32. 商業地などの賑わい／35. 身近な場での働きやすさ／38. 適正で透明性の高い財政運営
B より強化される ことが期待され るエリア	満足度→高 重要度→高	1. 防災／2. 消防・救急／3. 防犯／4. 交通安全／11. 児童に対する福祉／12. 子育てのしやすさ／13. 小中学校の教育環境／14. 青少年の健全な育成／22. 自然環境への配慮／24. 騒音・悪臭などの少なさ／25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ／27. 住環境／31. 上下水道
C 他項目との優先 順位を考え 取組むエリア	満足度→低 重要度→低	10. 健康づくりを進める環境／18. スポーツ施設や活動などの環境／21. 国際交流や多文化共生社会の推進／33. 農林業の振興／34. 観光事業／36. 市民同士の連携や市民と行政の協働／37. 行政改革への取り組み／40. 都市ブランドの創出・都市魅力の発信
D 安定的な維持が 期待される エリア	満足度→高 重要度→低	6. 地域の支え合い／15. 各種講座や施設など生涯学習の環境／16. 文化芸術活動などの環境／17. 歴史文化遺産の保存・活用／19. 人権の尊重と平和意識の高揚／20. 男女共同参画の推進／23. リサイクル施策など循環型社会への取り組み／28. 公園や緑地などの環境

- ・ 不満を感じる取組みとその理由については、「商業地などの賑わい」（170件）、「バスなどの公共交通サービス」（116件）、「道路や橋などの交通網」（68件）（いずれも意見数）が上位3位となっています。（問6）
- ・ 地域やまちづくり活動の参加度については、「ほとんどない」（52.7%）、「年に数回程度」（20.7%）、「月に1回程度」（8.2%）が上位を占めています。（問7）
- ・ 市の取組みに対する感じ方については、『地域のまちづくり活動が充実していると感じている』『河内長野市に住みつづけたいと感じている』『河内長野市に愛着と誇りを感じている』の3項目では、いずれも「普通」という意見が最も多くなっています。（問8）

（3）健康づくりについて

- ・ 運動の頻度については、「運動していない」（36.8%）、「ほとんど毎日」（21.0%）、「週2～3回」（20.6%）、「週1日」（13.2%）の順となっています。（問9）
- ・ 1回の運動時間は「30分以上1時間未満」（34.6%）、「1時間以上2時間未満」（23.5%）、「15分以上30分未満」（17.8%）の順となっています。また、運動を続けている期間は「1年以上」（74.4%）、「6ヶ月未満」（13.6%）、「6ヶ月以上1年未満」（10.7%）の順となっています。（問10、問11）
- ・ ストレスの解消については、「解消できることが多い」（41.8%）、「その都度解消している」（24.3%）、「解消できないことが多い」（21.3%）、「解消できていない」（6.8%）となっています。また、ストレスの解消方法については、「家族に話をする」（42.8%）、「趣味やスポーツを通じて」（41.3%）、「友人や同僚に話をする」（37.8%）、「飲食をする」（34.9%）、「よく眠る」（34.7%）の順となっています。（問12、問13）
- ・ こころが疲れたときに相談できる専門機関の認知度については、「知っている」（38.2%）、「知らない」（59.6%）となっています。また、知っている専門機関については、「病院や診療所」（91.9%）が最も多く、「こころの電話相談」（37.0%）、「保健

所」(18.4%)、「大阪府立こころの健康総合センター」(15.9%)の順となっています。

(問14、問14-2)

- ・喫煙状況については、「吸う」は12.3%であり、「吸わない」(87.4%)が9割近くを占めています。(問15)
- ・飲酒状況については、「飲まない」(50.6%)が半数以上を占めており、「3合未満」(44.2%)、「3合以上」(4.1%)となっています。(問16)
- ・過去1年間の健康診査等の受診の有無については、「ある」(73.2%)、「ない」(26.4%)であり、受診率は7割を超えています。受けた場所は「職場や学校」(47.3%)が最も多く、「市の健康診査」(41.6%)の順となっています。また、受けた健康診査の種類は「特定健康診査・一般健康診査」(88.0%)が最も多く、「大腸がん検診」(34.0%)、「胃がん検診」(28.9%)、「肺がん検診」(26.7%)の順となっています。(問17、問17-2、問17-3)
- ・健康診査等を受診していない理由については、「受けるのが面倒」(31.2%)が最も多く、「医者にかかっている」(28.4%)、「忙しくて受ける時間がない」(19.5%)の順となっています。(問17-4)
- ・自分の歯の本数については、「24本以上」(53.2%)が半数以上を占めており、「20本以上24本未満」(22.0%)、「10本以上20本未満」(14.1%)、「1本以上10本未満」(7.5%)、「0本」(2.8%)となっています。(問18)
- ・定期的な歯科検診の受診については、「受けている」(57.2%)が半数以上を占めており、「受けていない」は42.3%となっています。受診した場所は「歯科医院・診療所・病院」(98.5%)が100%近くとなっています。(問19、問19-2)
- ・「食育」への関心については、「どちらかといえば関心がある」(37.8%)、「関心がある」(33.9%)、「どちらかといえば関心がない」(13.4%)の順となっています。(問20)
- ・朝食を食べる習慣については、「ほとんど毎日食べている」(83.8%)が8割を超えており、「ほとんど食べない」(7.9%)、「週に4～5日食べる」(3.9%)、「週に2～3日食べる」(3.0%)となっています。(問21)
- ・朝食を食べない日がある理由は「食欲がない」(23.4%)が最も多く、「食べる習慣がない」(20.9%)、「食べる時間がない」(19.6%)、「朝食を食べるより寝ていたい」(15.2%)の順となっています。(問22)
- ・食事をする相手については、朝食は「一人で食べる」(49.7%)が半数近くを占めていますが、夕食は「家族そろって食べる」(46.2%)が半数近くを占めています。(問23)
- ・主食、主菜、副菜を組み合わせた食事(1日2回以上)については、「ほぼ毎日食べている」(79.8%)が8割近くを占めており、「毎日食べていない」(18.6%)となっています。(問24)
- ・行事食については、「食べている」(84.6%)が8割超を占めており、「食べていない」(13.9%)となっています。また、食べている行事食については「お正月(1月1日)」(99.2%)、「大晦日(12月31日)」(90.9%)、「節分(2月3日)」(88.3%)となっています。(問25、問25-2)

(4) 読書習慣・図書館利用について

- ・最近2年以内の読書の有無については、「読書をした」(69.8%)が7割近くを占めており、「読書をしなかった」(23.7%)となっています。(問26)
- ・その出版物の形態は「書籍(単行本・文庫本・マンガなど)」(91.5%)、「雑誌」(48.4%)、「新聞」(43.6%)、「電子書籍」(28.6%)、「電子書籍化はされていないインターネット上の作品」(6.4%)の順となっています。(問27)
- ・読んだ本のジャンルは、「小説・エッセイ・文学」(61.3%)、「芸術・趣味・スポーツ」(35.5%)、「マンガ」(31.9%)、「歴史・地理・旅行書」(30.2%)の順となっています。また、読んだ電子書籍のジャンルは、「マンガ」(60.6%)、「小説・エッセイ・文学」(33.0%)、「政治・経済・ビジネス・マネー」(20.6%)、「芸術・趣味・スポーツ」(20.2%)、「雑誌の電子書籍版」(18.3%)の順となっています。(問28、問29)
- ・過去2年以内の河内長野市の図書館等の利用の有無については、「利用した」(28.6%)、「利用しなかった」(64.6%)となっています。(問30)
- ・図書館等を利用しなかった理由は、「書店等で(紙媒体の)図書等を購入して読書をするほうが好きである」(26.8%)が最も多くなっており、「新型コロナウイルス感染防止のため外出を控えている」(22.9%)、「図書等の受け取り、返却が面倒だ」(21.2%)の順となっています。(問31)
- ・自動車文庫の利用の意向については、「近くにあれば利用したい」(55.0%)が半数を超えています。(問32)
- ・河内長野市立図書館のホームページから利用できる「河内長野市立電子図書館」の認知度については、「知っていて利用している」(3.9%)、「知っているが利用したことはない」(21.1%)となっています。(問33)
- ・図書館にとって重要だと思われることについては、「図書・資料の充実」(66.4%)が最も多く、「インターネットの活用」(25.0%)、「館内の設備」(24.9%)、「予約・リクエストサービス」(23.2%)、「新着本など特集展示」(21.0%)の順となっています。(問34)
- ・河内長野市立図書館で、今後充実したらよいと思われる資料については、「実用書(趣味・知識・ビジネス等)」(44.9%)が最も多く、「小説やエッセイなどのよみもの」(36.3%)、「専門書(学習・研究・調査等に使える資料)」(29.1%)、「児童書・絵本」(21.5%)の順となっています。(問35)

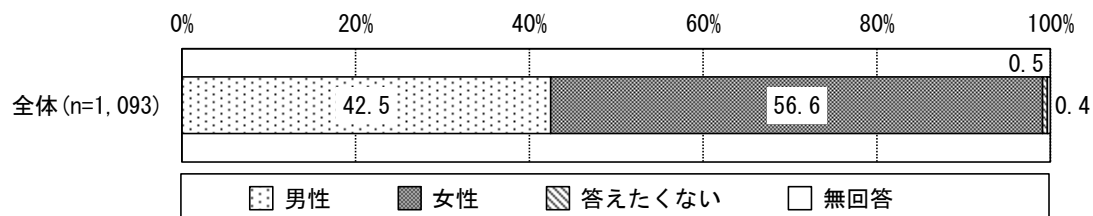
2-1. 属性

A 性別

A 性別をおたずねします。(自認する性別の番号に○は1つだけ)

性別についてみると、「男性」が42.5%、「女性」が56.6%、「答えたくない」が0.5%となっています。

■性別（単数回答／全体）

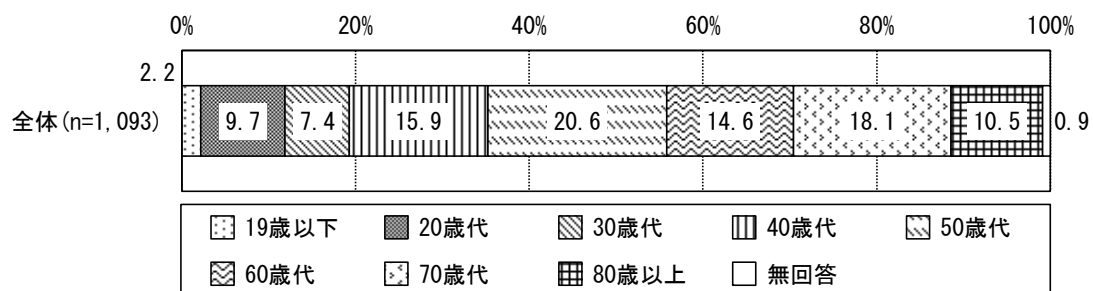


B 年齢

B 年齢をおたずねします。() 内に数字を記載してください。

年齢についてみると、「50歳代」が20.6%と最も高く、次いで「70歳代」が18.1%、「40歳代」が15.9%、「60歳代」が14.6%となっています。

■年齢（単数回答／全体）

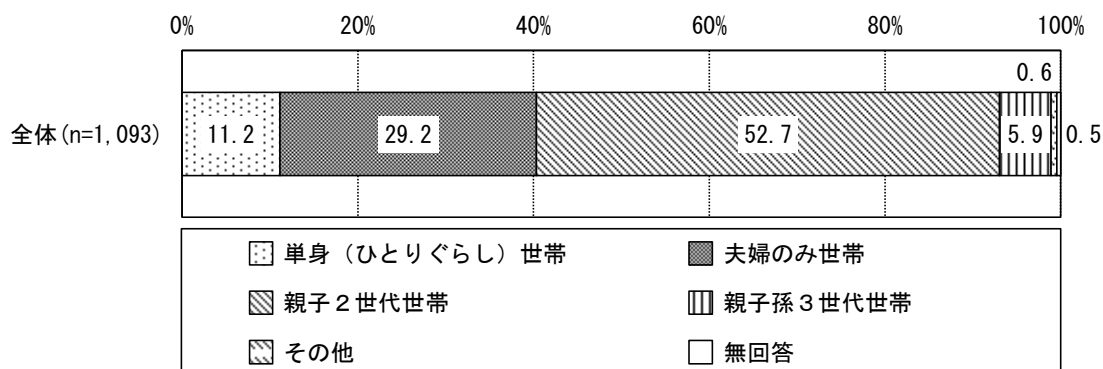


C 家族構成

C あなたの家族構成はどれですか。(○は1つだけ)

家族構成についてみると、「親子2世代世帯」が52.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」が29.2%、「単身（ひとりぐらし）世帯」が11.2%となっています。

■家族構成（単数回答／全体）

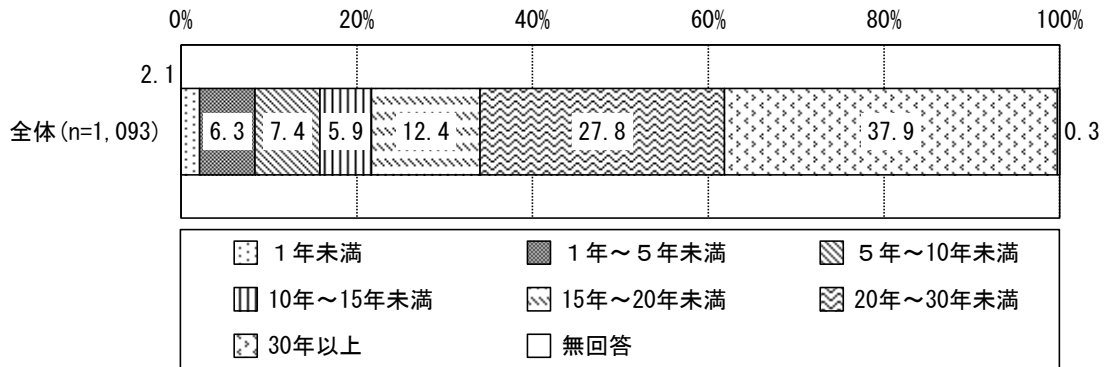


D 居住期間

D あなたは、どのくらいの期間、河内長野市にお住まいですか。(○は1つだけ)

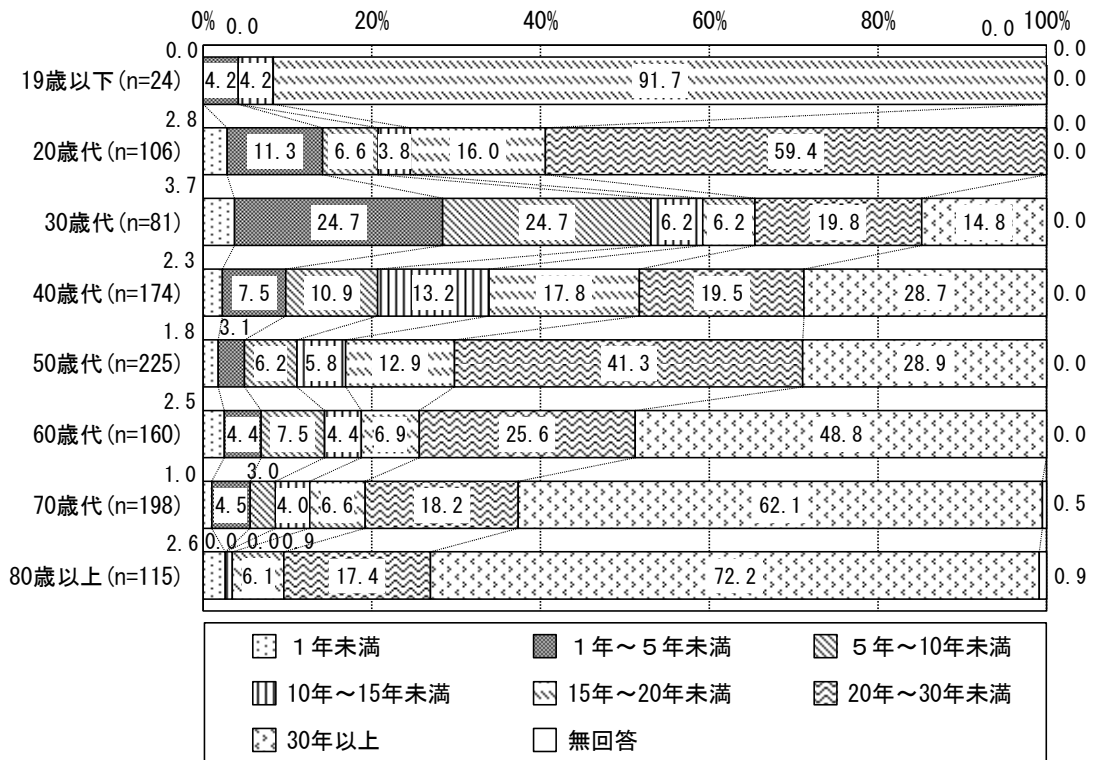
居住年数についてみると、「30年以上」が37.9%と最も高く、次いで「20～30年未満」が27.8%、「15～20年未満」が12.4%となっています。

■居住期間（単数回答／全体）



年代別にみると、年代が上がるにつれて居住期間が長くなる傾向となっています。

■居住期間（単数回答／年代別）

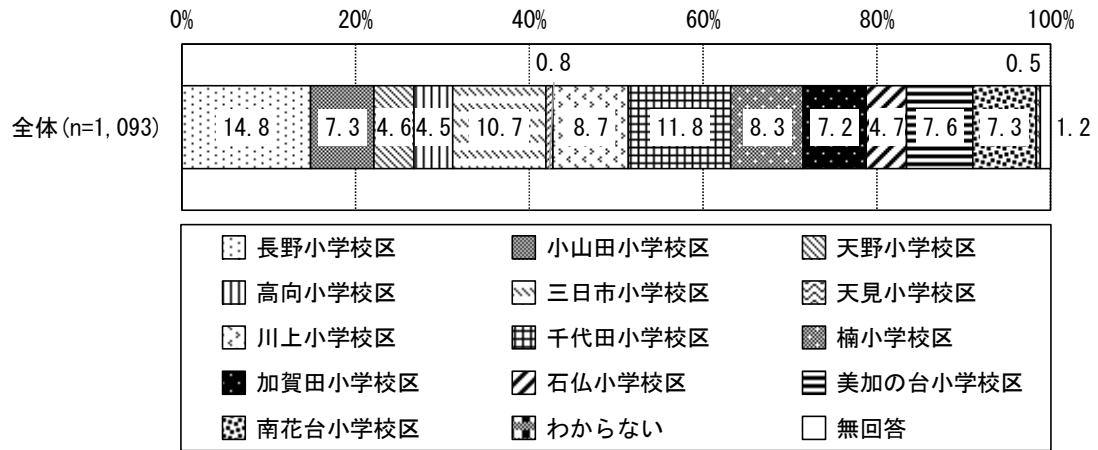


E 小学校区

E あなたは、現在どこ（小学校区）に住んでいますか。（○は1つだけ）

住まいの小学校区についてみると、「長野小学校区」が14.8%と最も高く、次いで「千代田小学校区」が11.8%、「三日市小学校区」が10.7%となっています。

■小学校区（単数回答／全体）

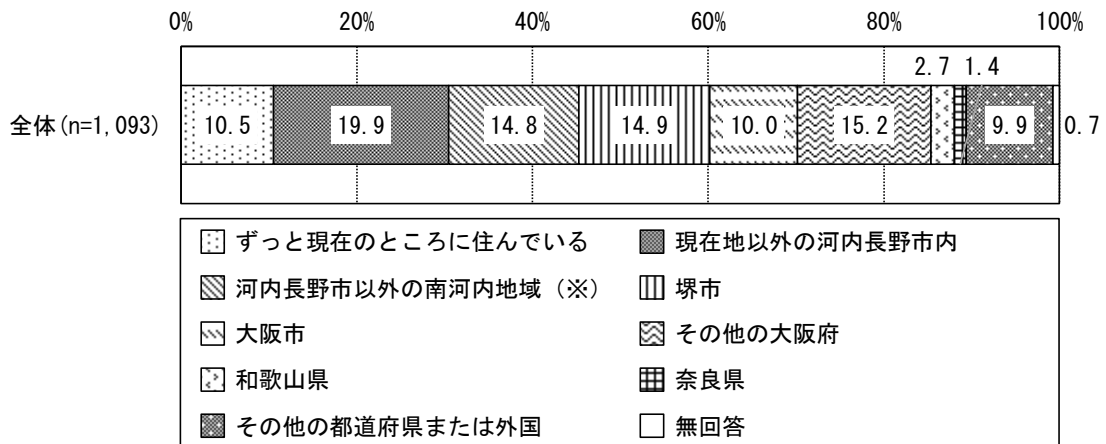


F 以前住んでいたところ

F あなたは、現在のお住まいに来る以前はどこに住んでいましたか。（○は1つだけ）

以前の居住地についてみると、「現在地以外の河内長野市内」が19.9%と最も高く、次いで「その他の大阪府」が15.2%、「堺市」が14.9%、「河内長野市以外の南河内地域」が14.8%となっています。

■以前住んでいたところ（単数回答／全体）



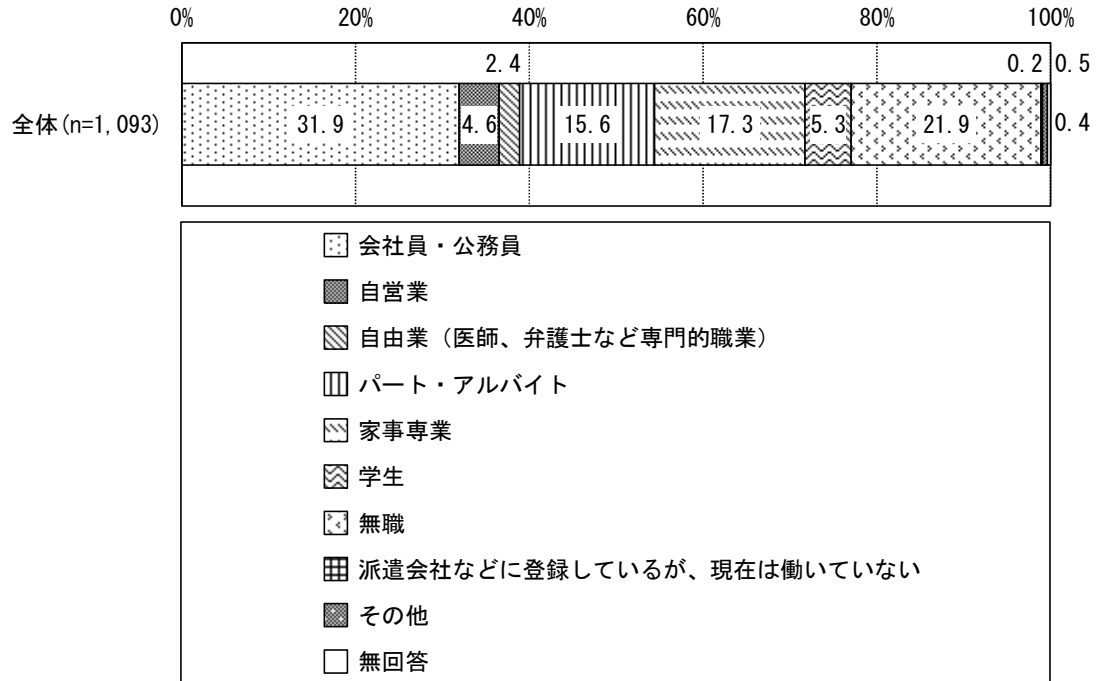
(※) 富田林市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村

G 職業

G あなたの職業は何ですか。(〇は1つだけ)

職業についてみると、「会社員・公務員」が31.9%と最も高く、次いで「無職」が21.9%、「家事専業」が17.3%、「パート・アルバイト」が15.6%となっています。

■職業職業（単数回答／全体）



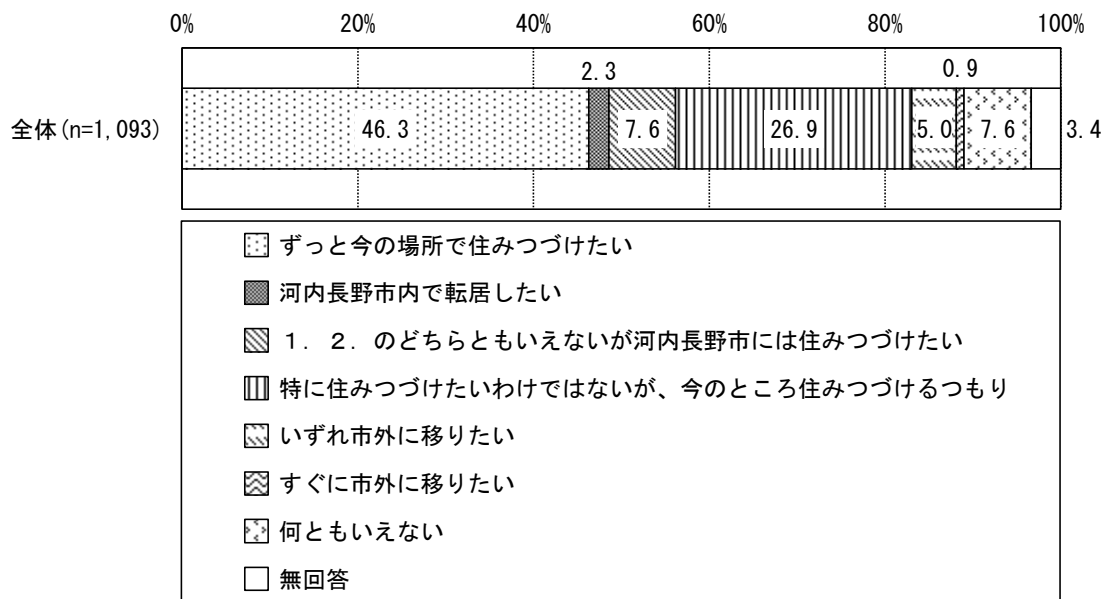
2-2. 河内長野市での定住意向について

(1) 市での定住意向 (問1)

問1 あなたは、これからも河内長野市に住みつづけたいと思いますか。
(○は1つだけ)

市での定住意向についてみると、「ずっと今の場所で住みつづけたい」が46.3%と最も高く、次いで「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住みつづけるつもり」が26.9%、「どちらともいえないが河内長野市には住みつづけたい」「何ともいえない」が7.6%となっています。

■市での定住意向 (単数回答/全体)



性別にみると、『男性』では「ずっと今の場所で住みつづけたい」が50.9%と『女性』の43.1%に比べて7.8ポイント高くなっています。

年代別にみると、『19歳以下』のみが「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住みつづけるつもり」が最も高く、一方、『20歳代』から『80歳以上』にかけては「ずっと今の場所で住みつづけたい」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、『加賀田小学校区』のみが「特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住みつづけるつもり」が最も高くなっており、他の小学校区は「ずっと今の場所で住みつづけたい」が最も高くなっています。

■市での定住意向（単数回答／性別、年代別、小学校区別）

	合計	ずっと今の場所 で住みたい	河内長野 市内で転 居したい	1. 2. のどちら ともいえ ないが河 内長野市 には住み つづけた い	特に住み つづけた いわけで はないが、 今の ところ住 みつづ けるつもり	いずれ市 外に移り たい	すぐに市 外に移り たい	何ともい えない	無回答
全体	1,093 100.0	506 46.3	25 2.3	83 7.6	294 26.9	55 5.0	10 0.9	83 7.6	37 3.4
A. 性別									
男性	464 100.0	236 50.9	8 1.7	25 5.4	120 25.9	22 4.7	5 1.1	33 7.1	15 3.2
女性	619 100.0	267 43.1	17 2.7	57 9.2	170 27.5	32 5.2	5 0.8	49 7.9	22 3.6
答えたくない	6 100.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0
無回答	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
B. 年齢									
19歳以下	24 100.0	6 25.0	0 0.0	4 16.7	8 33.3	1 4.2	0 0.0	4 16.7	1 4.2
20歳代	106 100.0	28 26.4	2 1.9	12 11.3	27 25.5	13 12.3	5 4.7	19 17.9	0 0.0
30歳代	81 100.0	30 37.0	5 6.2	8 9.9	20 24.7	7 8.6	2 2.5	8 9.9	1 1.2
40歳代	174 100.0	63 36.2	6 3.4	16 9.2	59 33.9	10 5.7	0 0.0	14 8.0	6 3.4
50歳代	225 100.0	85 37.8	6 2.7	13 5.8	74 32.9	14 6.2	2 0.9	21 9.3	10 4.4
60歳代	160 100.0	87 54.4	1 0.6	12 7.5	42 26.3	5 3.1	1 0.6	7 4.4	5 3.1
70歳代	198 100.0	136 68.7	3 1.5	11 5.6	34 17.2	3 1.5	0 0.0	3 1.5	8 4.0
80歳以上	115 100.0	70 60.9	2 1.7	7 6.1	25 21.7	1 0.9	0 0.0	4 3.5	6 5.2
無回答	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0
E. 居住地区 (小学校区)									
長野小学校区	162 100.0	64 39.5	10 6.2	10 6.2	59 36.4	7 4.3	0 0.0	8 4.9	4 2.5
小山田小学校区	80 100.0	41 51.3	3 3.8	9 11.3	15 18.8	1 1.3	2 2.5	8 10.0	1 1.3
天野小学校区	50 100.0	25 50.0	1 2.0	7 14.0	12 24.0	2 4.0	1 2.0	2 4.0	0 0.0
高向小学校区	49 100.0	33 67.3	1 2.0	2 4.1	7 14.3	1 2.0	1 2.0	2 4.1	2 4.1
三日市小学校区	117 100.0	54 46.2	2 1.7	11 9.4	33 28.2	7 6.0	1 0.9	5 4.3	4 3.4
天見小学校区	9 100.0	7 77.8	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
川上小学校区	95 100.0	46 48.4	0 0.0	8 8.4	25 26.3	5 5.3	1 1.1	7 7.4	3 3.2
千代田小学校区	129 100.0	54 41.9	3 2.3	14 10.9	28 21.7	8 6.2	2 1.6	15 11.6	5 3.9
楠小学校区	91 100.0	40 44.0	0 0.0	5 5.5	28 30.8	3 3.3	2 2.2	10 11.0	3 3.3
加賀田小学校区	79 100.0	29 36.7	2 2.5	2 2.5	30 38.0	8 10.1	0 0.0	2 2.5	6 7.6
石仏小学校区	51 100.0	26 51.0	2 3.9	4 7.8	9 17.6	1 2.0	0 0.0	6 11.8	3 5.9
美加の台小学校区	83 100.0	40 48.2	0 0.0	5 6.0	20 24.1	5 6.0	0 0.0	12 14.5	1 1.2
南花台小学校区	80 100.0	43 53.8	1 1.3	4 5.0	20 25.0	5 6.3	0 0.0	3 3.8	4 5.0
わからない	5 100.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
無回答	13 100.0	3 23.1	0 0.0	1 7.7	5 38.5	2 15.4	0 0.0	2 15.4	0 0.0

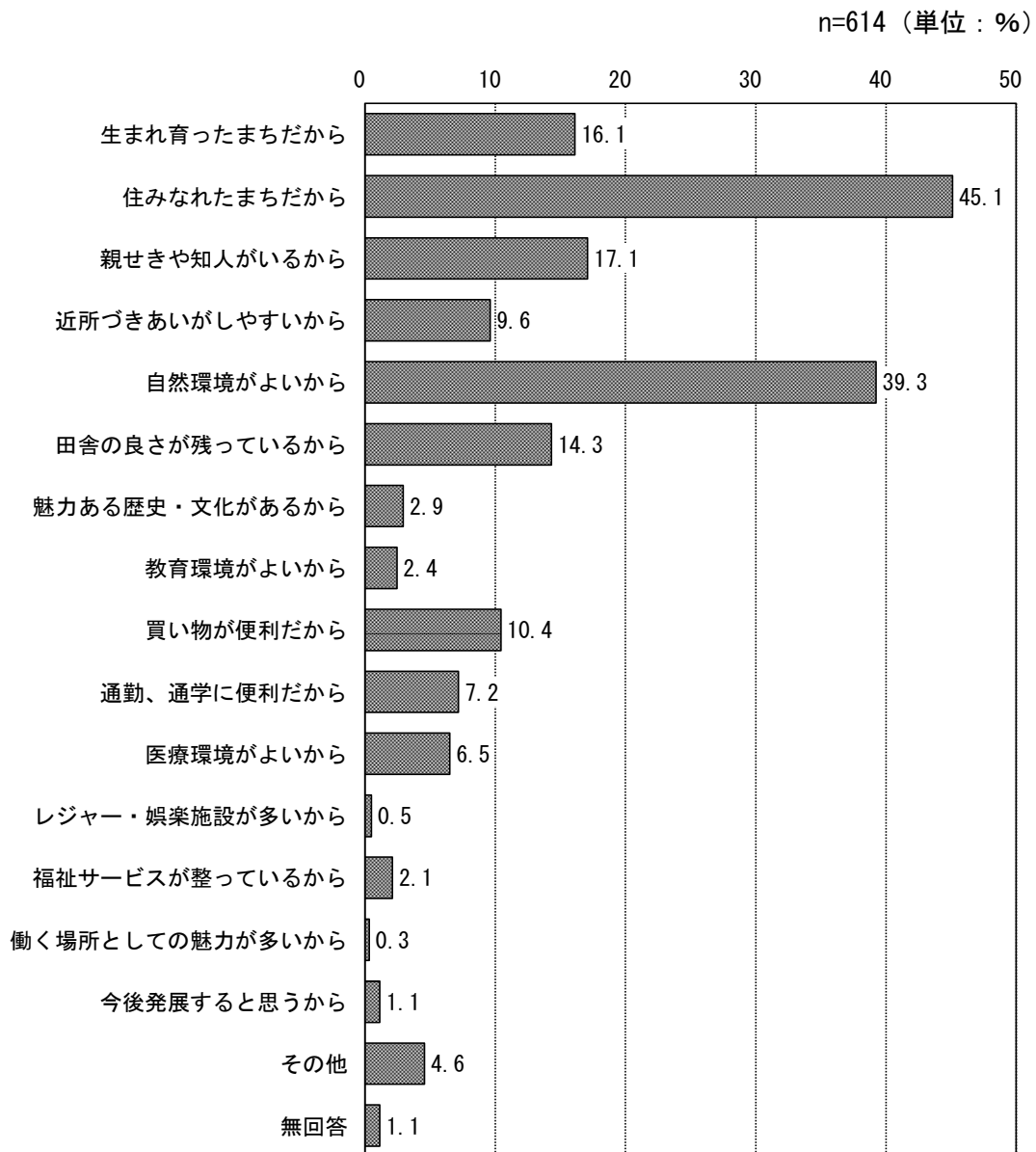
(2) 住みつづけたい理由 (問2)

(問1で「1. ずっと今の場所で住みつづけたい」「2. 河内長野市内で転居したい」「3. 1. 2. のどちらともいえないが河内長野市には住みつづけたい」と答えられた方におたずねします。)

問2 住みつづけたい理由は何ですか。(〇は2つまで)

住みつづけたい理由についてみると、「住みなれたまちだから」が45.1%と最も高く、次いで、「自然環境がよいから」が39.3%、「親せきや知人がいるから」が17.1%、「生まれ育ったまちだから」が16.1%、「田舎の良さが残っているから」が14.3%となっています。

■住みつづけたい理由 (複数回答/全体)



性別にみると、『男性』では「住みなれたまちだから」が48.0%と『女性』の42.8%に比べて5.2ポイント高くなっています。

年代別にみると、『20歳代』『30歳代』『40歳代』『60歳代』『70歳代』及び『80歳以上』では、「住みなれたまちだから」が最も高く、『19歳以下』では「生まれ育ったまちだから」、『50歳代』では「自然環境がよいから」が最も高くなっています。

■住みつづけた理由（複数回答／性別、年代別）

		合計	生まれ育ったまちだから	住みなれたまちだから	親せきや知人がいるから	近所つきあいがしやすいから	自然環境がよいから	田舎の良さが残っているから	魅力ある歴史・文化があるから	教育環境がよいから	買い物が便利だから
全体		614 100.0	99 16.1	277 45.1	105 17.1	59 9.6	241 39.3	88 14.3	18 2.9	15 2.4	64 10.4
A. 性別	男性	269 100.0	53 19.7	129 48.0	38 14.1	20 7.4	113 42.0	39 14.5	9 3.3	2 0.7	21 7.8
	女性	341 100.0	45 13.2	146 42.8	66 19.4	38 11.1	127 37.2	49 14.4	9 2.6	13 3.8	41 12.0
	答えたくない	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
	無回答	1 100.0	0 0.0	0 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
B. 年齢	19歳以下	10 100.0	7 70.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	5 50.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	42 100.0	14 33.3	22 52.4	9 21.4	1 2.4	11 26.2	5 11.9	0 0.0	1 2.4	1 2.4
	30歳代	43 100.0	4 9.3	16 37.2	14 32.6	3 7.0	11 25.6	10 23.3	0 0.0	5 11.6	7 16.3
	40歳代	85 100.0	18 21.2	33 38.8	22 25.9	9 10.6	32 37.6	12 14.1	3 3.5	5 5.9	9 10.6
	50歳代	104 100.0	14 13.5	45 43.3	16 15.4	7 6.7	53 51.0	26 25.0	7 6.7	2 1.9	6 5.8
	60歳代	100 100.0	14 14.0	57 57.0	12 12.0	10 10.0	37 37.0	15 15.0	0 0.0	2 2.0	13 13.0
	70歳代	150 100.0	20 13.3	68 45.3	20 13.3	23 15.3	62 41.3	13 8.7	5 3.3	0 0.0	19 12.7
	80歳以上	79 100.0	8 10.1	35 44.3	10 12.7	6 7.6	30 38.0	4 5.1	3 3.8	0 0.0	9 11.4
	無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	通勤、通学に便利だから	医療環境がよいから	レジャー・娯楽施設が多いから	福祉サービスが整っているから	働く場所としての魅力が多いから	今後発展すると思うから	その他	無回答
全体		614 100.0	44 7.2	40 6.5	3 0.5	13 2.1	2 0.3	7 1.1	28 4.6	7 1.1
A. 性別	男性	269 100.0	25 9.3	14 5.2	1 0.4	2 0.7	0 0.0	0 0.0	10 3.7	3 1.1
	女性	341 100.0	19 5.6	25 7.3	2 0.6	10 2.9	2 0.6	7 2.1	18 5.3	4 1.2
	答えたくない	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
B. 年齢	19歳以下	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	42 100.0	5 11.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 7.1	0 0.0
	30歳代	43 100.0	4 9.3	0 0.0	1 2.3	0 0.0	0 0.0	1 2.3	5 11.6	0 0.0
	40歳代	85 100.0	13 15.3	2 2.4	0 0.0	0 0.0	1 1.2	2 2.4	4 4.7	1 1.2
	50歳代	104 100.0	12 11.5	6 5.8	1 1.0	1 1.0	1 1.0	3 2.9	3 2.9	0 0.0
	60歳代	100 100.0	6 6.0	7 7.0	0 0.0	2 2.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	3 3.0
	70歳代	150 100.0	2 1.3	16 10.7	0 0.0	2 1.3	0 0.0	1 0.7	6 4.0	1 0.7
	80歳以上	79 100.0	1 1.3	9 11.4	1 1.3	8 10.1	0 0.0	0 0.0	5 6.3	2 2.5
	無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0

(3) 市外に移りたい理由 (問3)

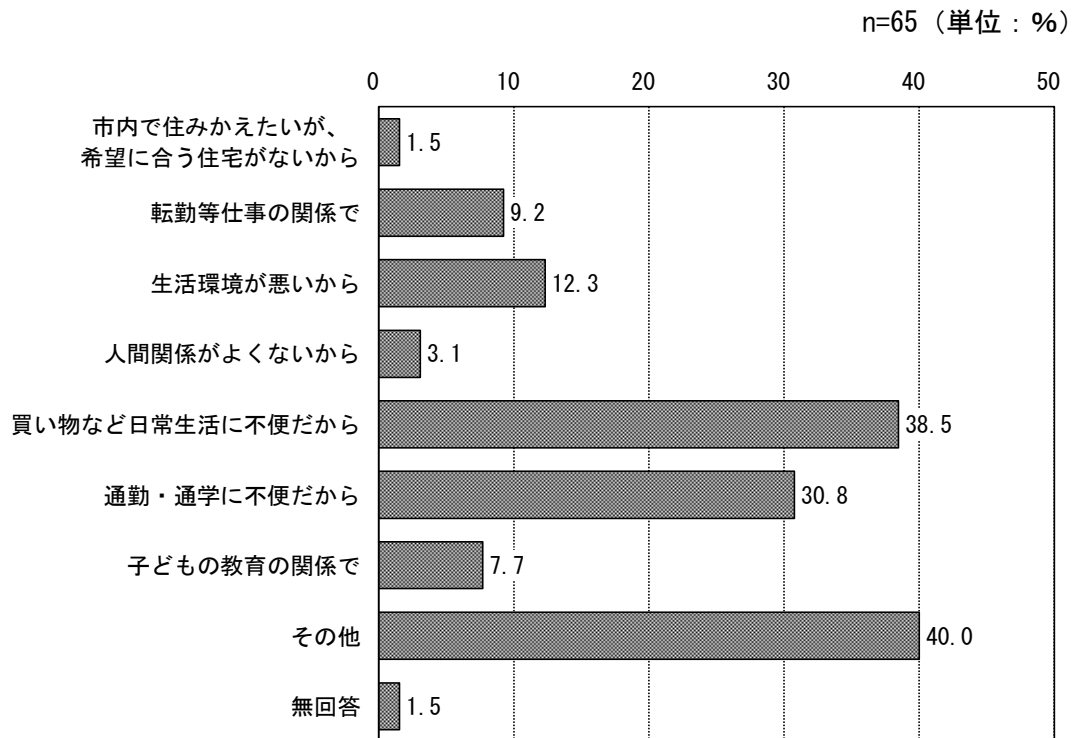
(問1で「5. いずれ市外に移りたい」「6. すぐに市外に移りたい」と答えられた方におたずねします。)

問3 市外に移りたい理由は何ですか。(〇は2つまで)

市外に移りたい理由についてみると、「その他」が40.0%と最も高く、次いで「買い物など日常生活に不便だから」が38.5%、「通勤・通学に不便だから」が30.8%となっています。

なお、「その他」では、「実家(故郷)に土地がある」「出身地に戻りたい」「親族(子ども)と暮らしたい」「他の市も経験したい」などの意見が挙げられています。

■市外に移りたい理由 (複数回答/全体)



【「その他」の内容】

- 「実家(故郷)に土地がある」(5件)
- 「出身地に戻りたい」(2件)
- 「親族(子ども)と暮らしたい」(2件)
- 「他の市も経験したい」(3件)
- 「1人暮らしをしたい」(2件)

性別にみると、『男性』では「その他」が40.7%と最も高く、『女性』では「買い物など日常生活に不便だから」が45.9%と最も高くなっています。

年代別にみると、『30歳代』『40歳代』及び『50歳代』では「その他」が最も高くなっています。また、『19歳以下』『20歳代』では「通勤・通学に不便だから」が最も高くなっています。一方、『60歳代』『70歳代』では「買い物など日常生活に不便だから」が最も高くなっています。

小学校区別にみると、「その他」は『三日市小学校区』『千代田小学校区』で高くなっており、「買い物など日常生活に不便だから」は『川上小学校区』『加賀田小学校区』などで高い傾向となっています。

■市外に移りたい理由（複数回答／性別、年代別、小学校区別）

	合計	市内で住みかえたいが、希望に合う住宅がないから	転勤等仕事の関係で	生活環境が悪いから	人間関係がよくなるから	買い物など日常生活に不便だから	通勤・通学に不便だから	子どもの教育の関係で	その他	無回答
全体	65 100.0	1 1.5	6 9.2	8 12.3	2 3.1	25 38.5	20 30.8	5 7.7	26 40.0	1 1.5
A. 性別										
男性	27 100.0	0 0.0	2 7.4	4 14.8	2 7.4	8 29.6	10 37.0	2 7.4	11 40.7	0 0.0
女性	37 100.0	0 0.0	4 10.8	4 10.8	0 0.0	17 45.9	10 27.0	3 8.1	15 40.5	1 2.7
答えたくない	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
B. 年齢										
19歳以下	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	18 100.0	0 0.0	3 16.7	4 22.2	1 5.6	5 27.8	10 55.6	2 11.1	4 22.2	0 0.0
30歳代	9 100.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	2 22.2	3 33.3	3 33.3	4 44.4	0 0.0
40歳代	10 100.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0	1 10.0	0 0.0	6 60.0	0 0.0
50歳代	16 100.0	0 0.0	1 6.3	2 12.5	0 0.0	6 37.5	2 12.5	0 0.0	10 62.5	0 0.0
60歳代	6 100.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	2 33.3	0 0.0
70歳代	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
80歳以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
E. 居住地区 (小学校区)										
長野小学校区	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	3 42.9	2 28.6	2 28.6	3 42.9	0 0.0
小山田小学校区	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0
天野小学校区	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
高向小学校区	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
三日市小学校区	8 100.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	5 62.5	0 0.0
天見小学校区	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
川上小学校区	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	2 33.3	0 0.0
千代田小学校区	10 100.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	5 50.0	0 0.0
楠小学校区	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
加賀田小学校区	8 100.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0	3 37.5	0 0.0
石仏小学校区	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
美加の台小学校区	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
南花台小学校区	5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
わからない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

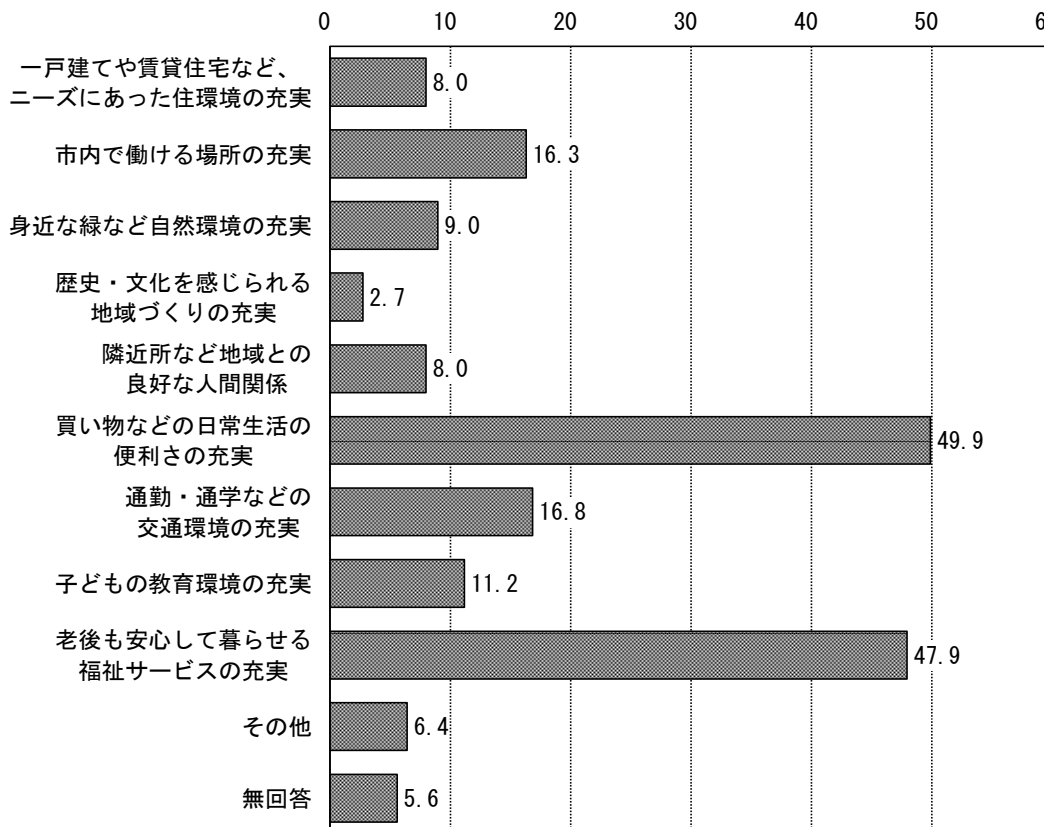
(4) 市に住みつづけるために必要なもの (問4)

問4 これからも河内長野市に住みつづけるためには、どんなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

市に住みつづけるために必要なものについてみると、「買い物などの日常生活の便利さの充実」が49.9%と最も高くなっており、次いで「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」が47.9%、「通勤・通学などの交通環境の充実」が16.8%、「市内で働ける場所の充実」が16.3%となっています。

■市に住みつづけるために必要なもの (複数回答/全体)

n=1,093 (単位: %)



性別にみると、『男性』『女性』とも「買い物などの日常生活の便利さの充実」が最も高くなっています（『男性』46.3%、『女性』52.7%）。次いで、「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」となっています（『男性』45.3%、『女性』49.6%）。

年代別にみると、『19歳以下』では「市内で働ける場所の充実」が最も高く、『20歳代』から『50歳代』にかけては「買い物などの日常生活の便利さの充実」が最も高くなっています。一方、『60歳代』『70歳代』及び『80歳以上』にかけては「老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実」が最も高くなっています。

■市に住みつづけるために必要なもの（複数回答／性別、年代別）

		合計	一戸建てや賃貸住宅など、ニーズにあった住環境の充実	市内で働ける場所の充実	身近な緑など自然環境の充実	歴史・文化を感じられる地域づくりの充実	隣近所など地域との良好な人間関係	買い物などの日常生活の便利さの充実	通勤・通学などの交通環境の充実	子どもの教育環境の充実	老後も安心して暮らせる福祉サービスの充実	その他	無回答
全体		1,093 100.0	87 8.0	178 16.3	98 9.0	30 2.7	87 8.0	545 49.9	184 16.8	122 11.2	524 47.9	70 6.4	61 5.6
A. 性別	男性	464 100.0	34 7.3	67 14.4	48 10.3	15 3.2	31 6.7	215 46.3	82 17.7	54 11.6	210 45.3	30 6.5	28 6.0
	女性	619 100.0	53 8.6	111 17.9	47 7.6	15 2.4	55 8.9	326 52.7	101 16.3	66 10.7	307 49.6	40 6.5	33 5.3
	答えたくない	6 100.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 25.0	0 0.0	1 25.0	1 100.0	4 0.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 25.0	0 0.0	1 25.0	1 100.0	4 0.0	0 0.0
B. 年齢	19歳以下	24 100.0	1 4.2	10 41.7	3 12.5	0 0.0	2 8.3	9 37.5	9 37.5	1 4.2	3 12.5	1 4.2	2 8.3
	20歳代	106 100.0	17 16.0	37 34.9	6 5.7	1 0.9	4 3.8	45 42.5	39 36.8	23 21.7	13 12.3	7 6.6	4 3.8
	30歳代	81 100.0	12 14.8	16 19.8	1 1.2	1 1.2	3 3.7	37 45.7	23 28.4	37 45.7	15 18.5	9 11.1	4 4.9
	40歳代	174 100.0	11 6.3	37 21.3	12 6.9	3 1.7	9 5.2	85 48.9	37 21.3	33 19.0	73 42.0	7 4.0	13 7.5
	50歳代	225 100.0	20 8.9	41 18.2	13 5.8	4 1.8	19 8.4	125 55.6	45 20.0	12 5.3	109 48.4	22 9.8	8 3.6
	60歳代	160 100.0	8 5.0	23 14.4	18 11.3	9 5.6	11 6.9	85 53.1	17 10.6	9 5.6	106 66.3	7 4.4	7 4.4
	70歳代	198 100.0	8 4.0	7 3.5	31 15.7	10 5.1	23 11.6	98 49.5	9 4.5	4 2.0	129 65.2	6 3.0	12 6.1
	80歳以上	115 100.0	9 7.8	3 2.6	14 12.2	2 1.7	16 13.9	57 49.6	5 4.3	1 0.9	70 60.9	11 9.6	10 8.7
	無回答	10 100.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 40.0	0 0.0	2 20.0	6 60.0	0 0.0	1 10.0

2-3. 河内長野市の取組みについて

(1) 市の取組みに対する満足度・重要度（問5）

問5 次の1から41の各項目について、①現在の生活の中でどの程度満足していますか。また、②今後に向けてどの程度重要だと思いますか。各項目の①および②のそれぞれについて、あなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。
 (①、②それぞれについて○は1つだけ)

<調査項目>

41の項目に対して、「現在の満足度」「今後の重要度」の2つのポイントを軸に回答をいただきました。

<分析方法>

「現在の満足度」の点数化については、「非常に満足」=5点、「やや満足」=4点、「普通」=3点、「やや不満」=2点、「不満」=1点として、「わからない」「無回答」を除いた件数で計算したものです。

「今後の重要度」の点数化については、「非常に重要」=5点、「やや重要」=4点、「あまり重要でない」=2点、「重要でない」=1点として、「わからない」「無回答」を除いた件数で計算したものです。

市の取組みやサービスの分野39項目について、上記の基準で点数化し、グラフ化及び散布図化することで分析しています。

[現在の満足度／今後の重要度]のクロス分析

「現在の満足度」の平均は2.93、「今後の重要度」の平均は4.15となっています。

「現在の満足度」の高い項目は「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」「消防・救急」、
 「今後の重要度」の高い項目は「消防・救急」「防災」「防犯」となっています。

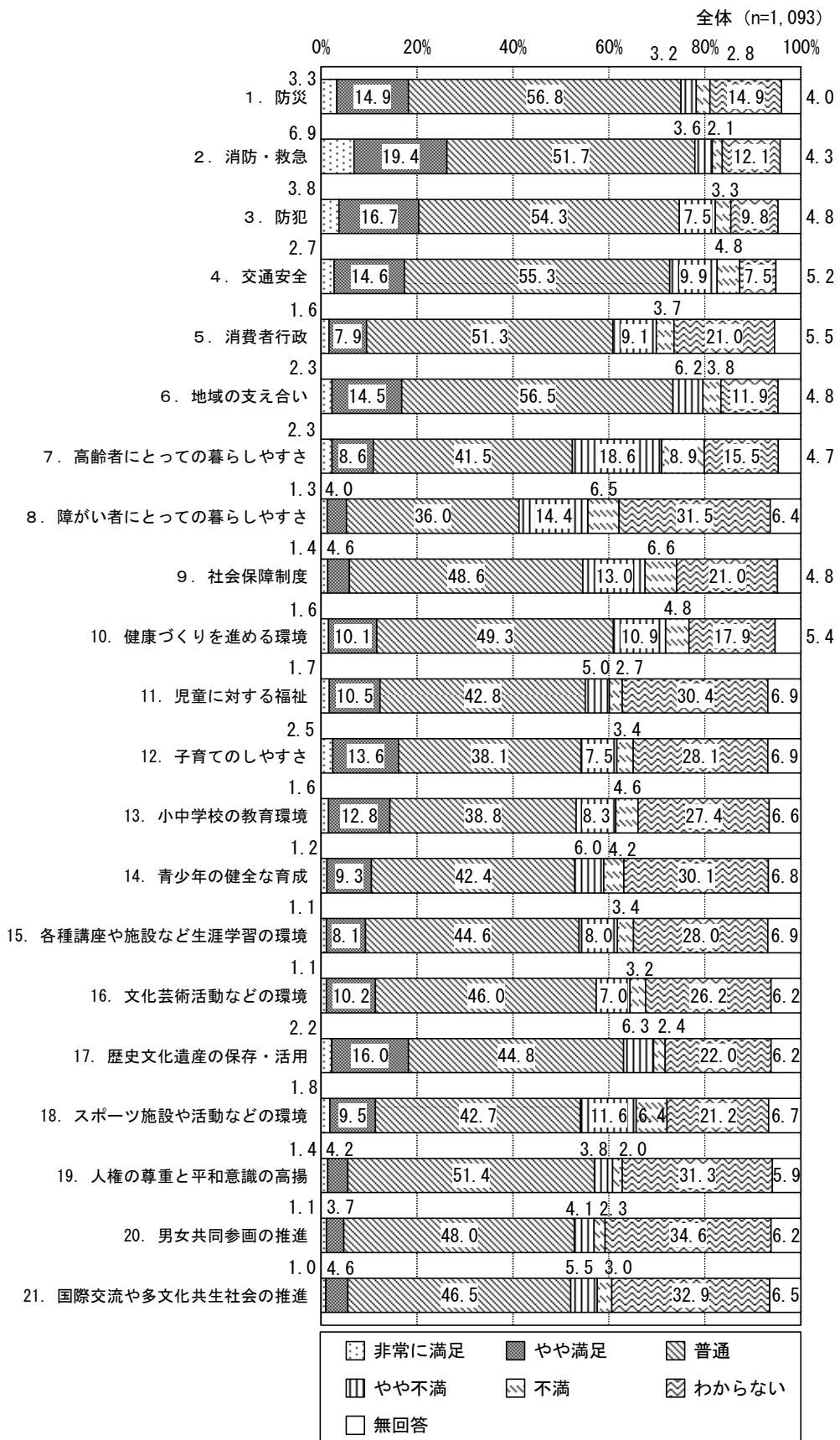
<[現在の満足度／今後の重要度]の上位・下位3項目>

		1位	2位	3位
満足度	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.40)	騒音・悪臭などの少なさ (3.34)	消防・救急 (3.30)
	下位	商業地などの賑わい (2.21)	身近な場での働きやすさ (2.38)	観光事業 (2.51)
重要度	上位	消防・救急 (4.53)	防災 (4.50)	防犯 (4.47)
	下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.66)	文化芸術活動などの環境 (3.68)	男女共同参画の推進 (3.69)

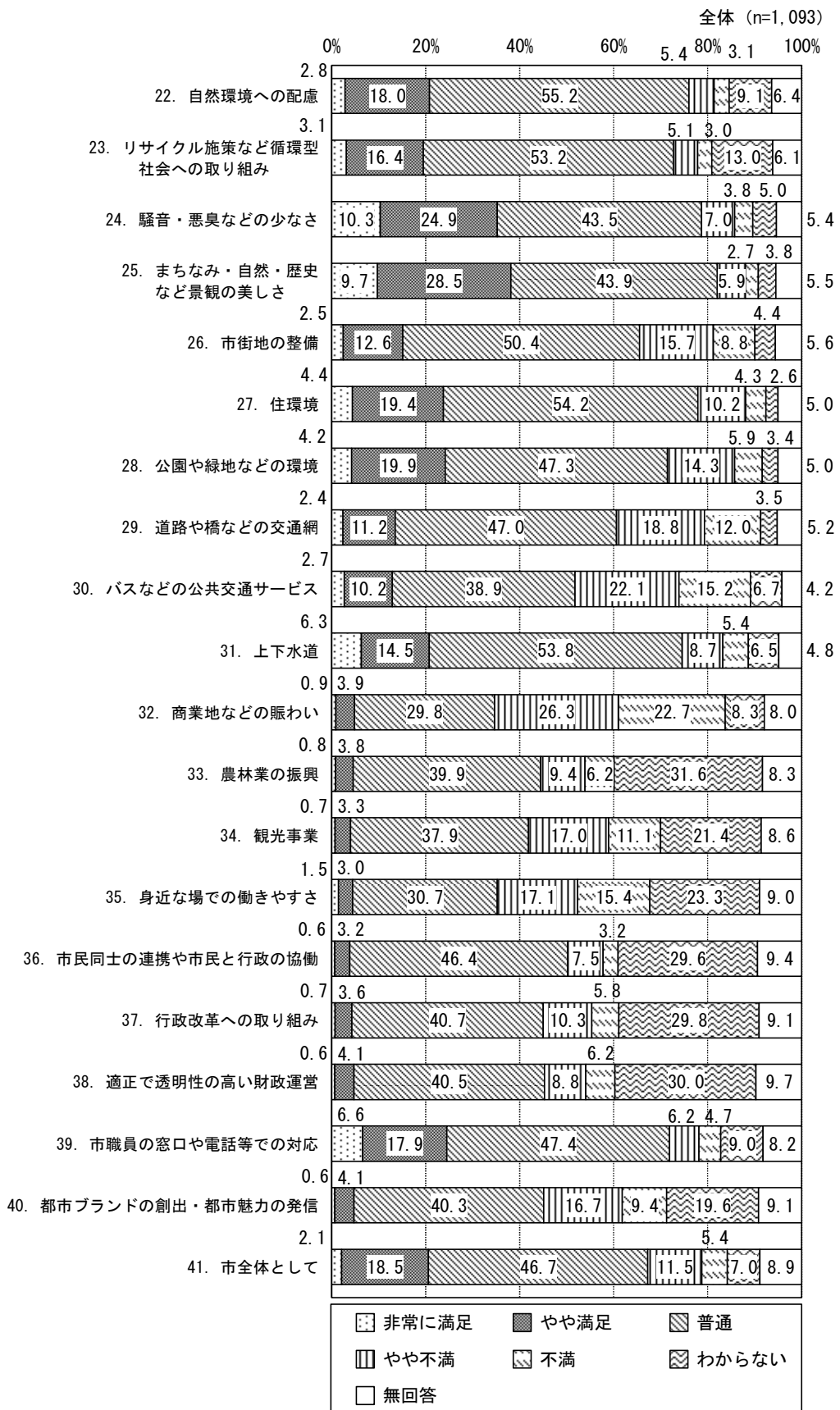
<各項目のポイント数>

No.	項目名	満足度	重要度	No.	項目名	満足度	重要度
1	防災	3.16	4.50	22	自然環境への配慮	3.14	4.21
2	消防・救急	3.30	4.53	23	リサイクル施策など循環型社会への取り組み	3.14	4.14
3	防犯	3.12	4.47	24	騒音・悪臭などの少なさ	3.34	4.21
4	交通安全	3.01	4.30	25	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	3.40	4.17
5	消費者行政	2.93	4.15	26	市街地の整備	2.83	4.20
6	地域の支え合い	3.06	3.96	27	住環境	3.10	4.27
7	高齢者にとっての暮らしやすさ	2.71	4.37	28	公園や緑地などの環境	3.03	4.13
8	障がい者にとっての暮らしやすさ	2.67	4.31	29	道路や橋などの交通網	2.71	4.32
9	社会保障制度	2.75	4.38	30	バスなどの公共交通サービス	2.59	4.36
10	健康づくりを進める環境	2.90	3.98	31	上下水道	3.09	4.27
11	児童に対する福祉	3.06	4.32	32	商業地などの賑わい	2.21	4.17
12	子育てのしやすさ	3.07	4.44	33	農林業の振興	2.73	3.89
13	小中学校の教育環境	2.98	4.41	34	観光事業	2.51	3.82
14	青少年の健全な育成	2.96	4.25	35	身近な場での働きやすさ	2.38	4.15
15	各種講座や施設など生涯学習の環境	2.93	3.79	36	市民同士の連携や市民と行政の協働	2.85	3.88
16	文化芸術活動などの環境	2.99	3.68	37	行政改革への取り組み	2.72	4.15
17	歴史文化遺産の保存・活用	3.13	3.88	38	適正で透明性の高い財政運営	2.74	4.34
18	スポーツ施設や活動などの環境	2.84	3.86	39	市職員の窓口や電話等での対応	3.19	-
19	人権の尊重と平和意識の高揚	2.99	3.87	40	都市ブランドの創出・都市魅力の発信	2.58	4.01
20	男女共同参画の推進	2.95	3.69	41	市全体として	3.00	-
21	国際交流や多文化共生社会の推進	2.92	3.66	平均値		2.93	4.15

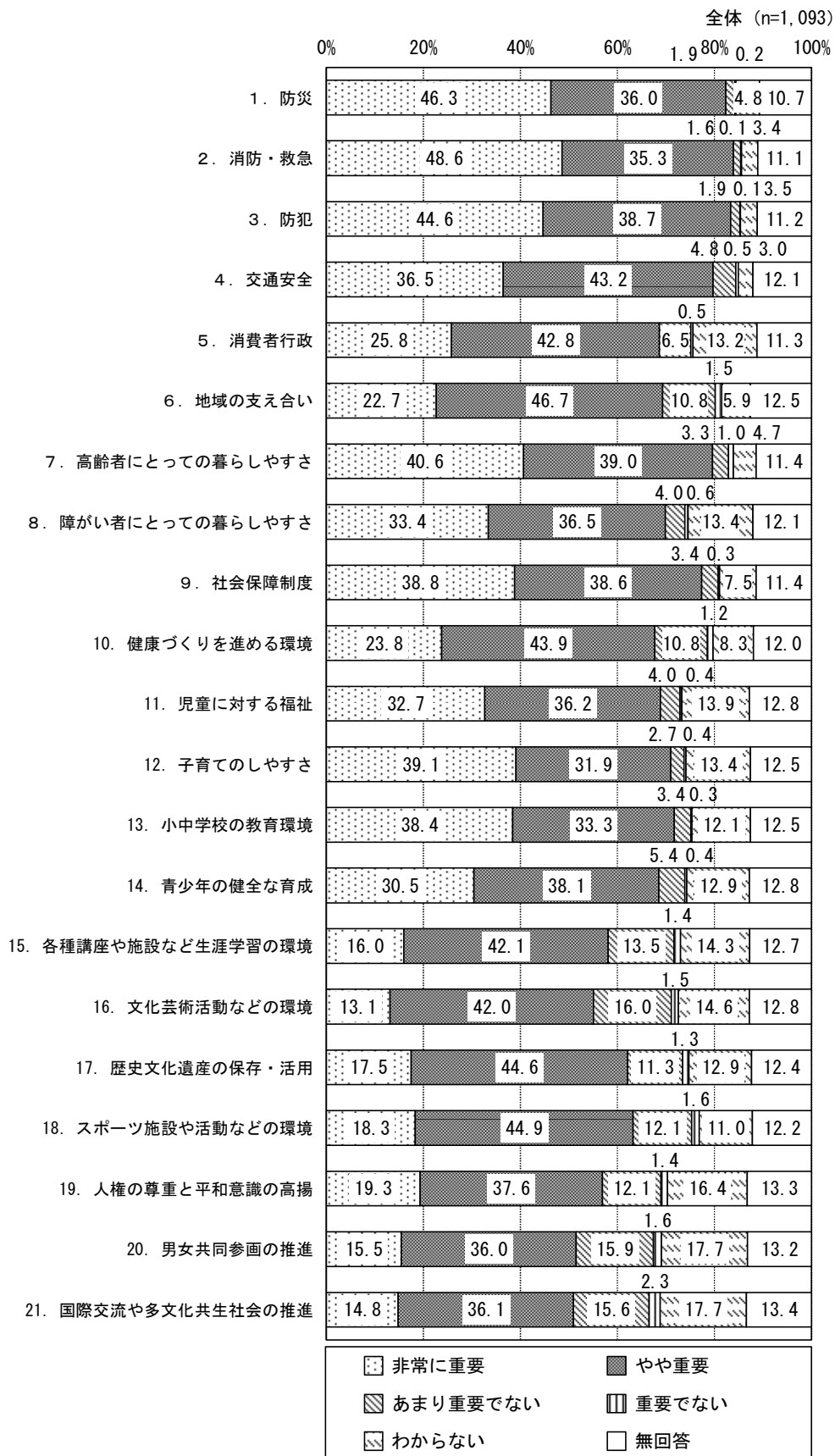
<現在の満足度割合（項目順①）>



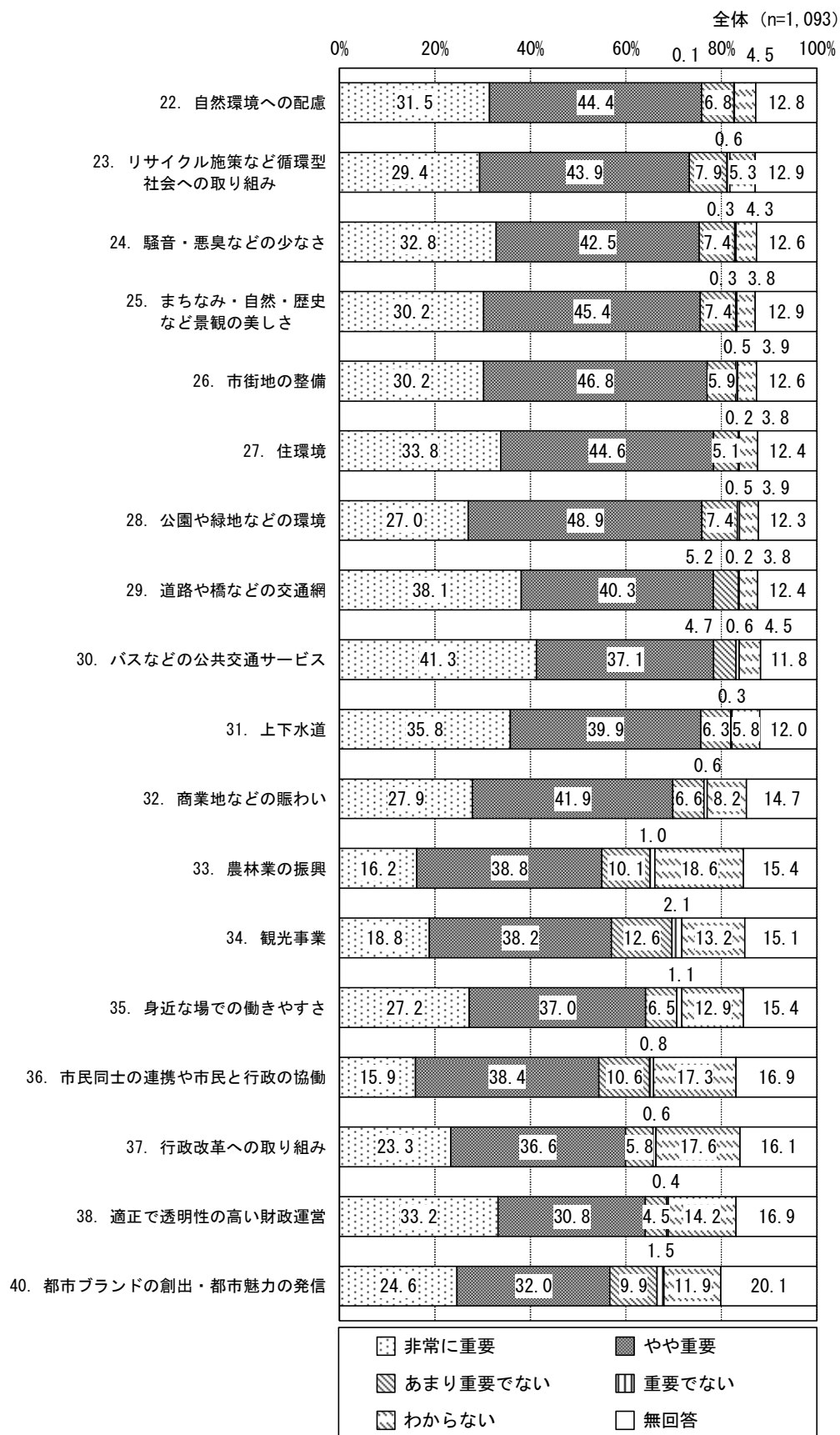
<現在の満足度割合（項目順②）>



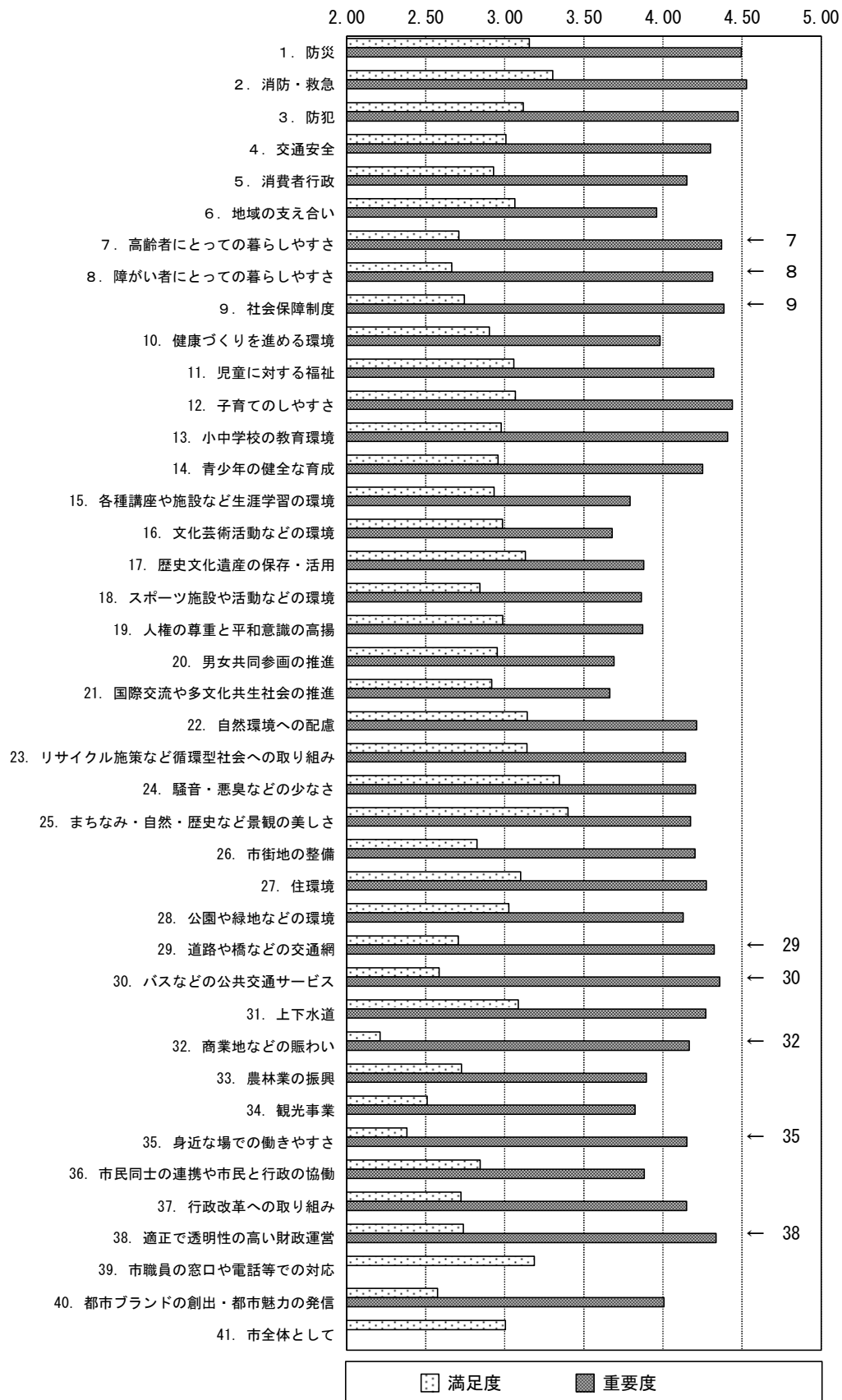
<今後の重要度割合（項目順①）>



<今後の重要度割合（項目順②）>



<「満足度」と「重要度」のギャップ>



■満足度と重要度のギャップが特に大きい項目

- 7. 高齢者にとっての暮らしやすさ (1.66)
- 8. 障がい者にとっての暮らしやすさ (1.64)
- 9. 社会保障制度 (1.63)
- 29. 道路や橋などの交通網 (1.61)
- 30. バスなどの公共交通サービス (1.77)
- 32. 商業地などの賑わい (1.96)
- 35. 身近な場での働きやすさ (1.77)
- 38. 適正で透明性の高い財政運営 (1.60)

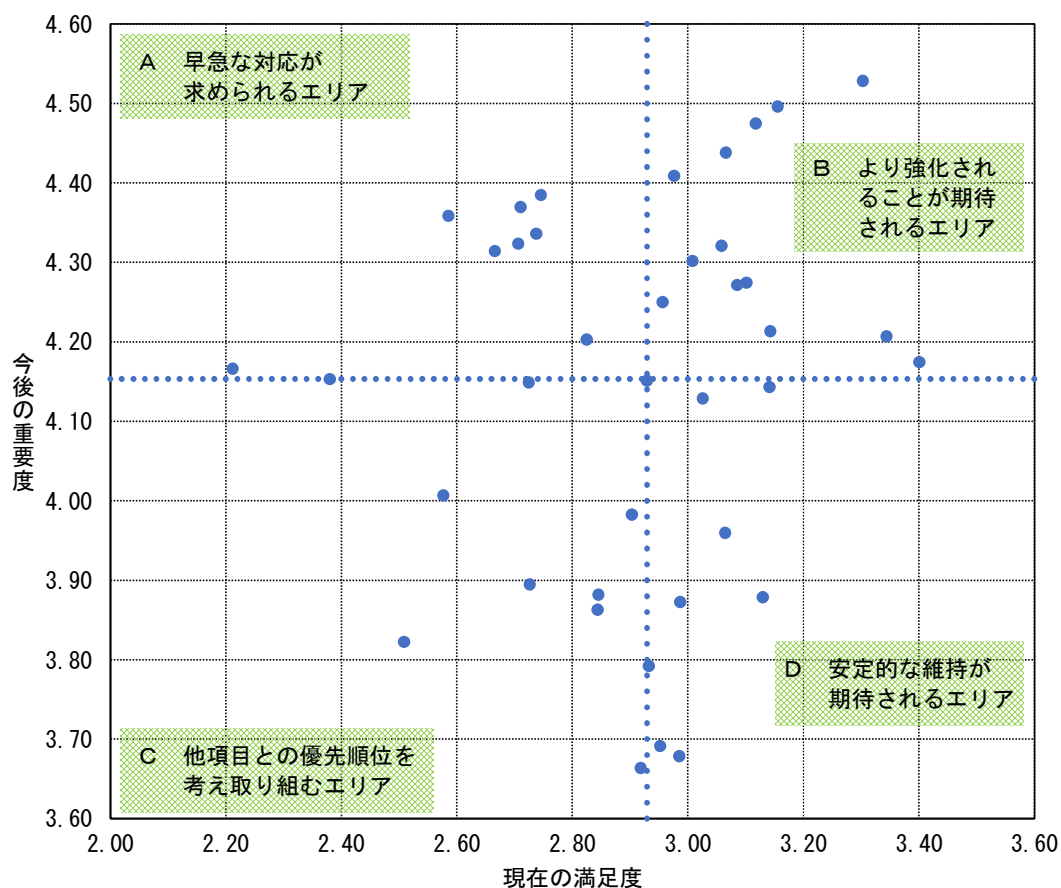
注：() はギャップ数を示す。

[現在の満足度／今後の重要度]クロス分析散布図について

満足度と重要度の結果を散布図に落とし込み、「A」から「D」に分類することで、各エリアに所属する項目への対応の方向性を示しています。

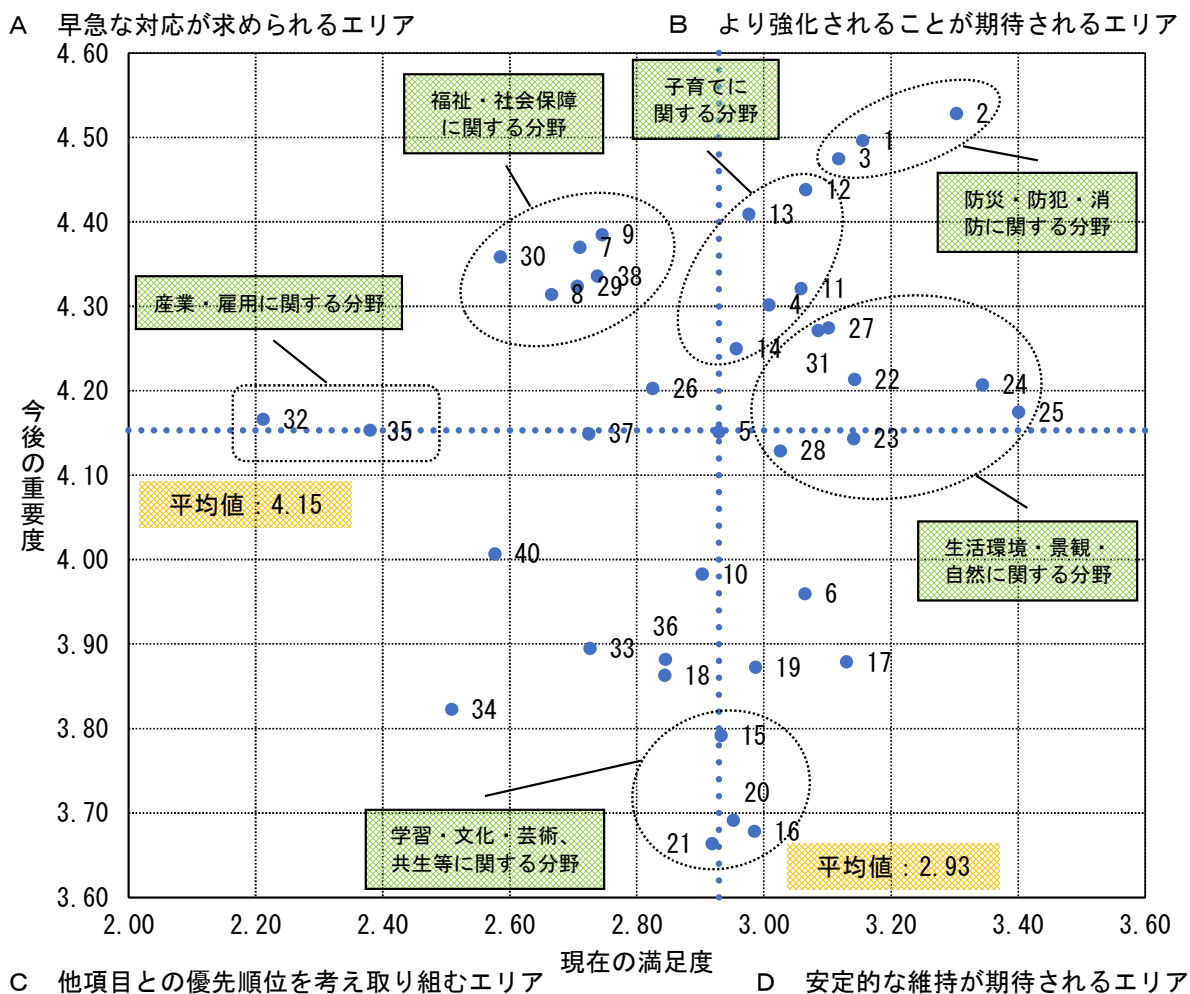
特に「A」エリアに関しては重要度が高いですが、満足度が低いエリアであり、ここに示される項目に対しては優先順位を高めた対応がまちづくりに必要であると考えられます。

<散布図内の各エリアの見方>



エリア	内容	項目
A 早急な対応が 求められる エリア	満足度→低 重要度→高	5. 消費者行政／7. 高齢者にとっての暮らしやすさ／8. 障がい者にとっての暮らしやすさ／9. 社会保障制度／26. 市街地の整備／29. 道路や橋などの交通網／30. バスなどの公共交通サービス／32. 商業地などの賑わい／35. 身近な場での働きやすさ／38. 適正で透明性の高い財政運営
B より強化され ることが期待 されるエリア	満足度→高 重要度→高	1. 防災／2. 消防・救急／3. 防犯／4. 交通安全／11. 児童に対する福祉／12. 子育てのしやすさ／13. 小中学校の教育環境／14. 青少年の健全な育成／22. 自然環境への配慮／24. 騒音・悪臭などの少なさ／25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ／27. 住環境／31. 上下水道
C 他項目との優 先順位を考え 取り組むエリア	満足度→低 重要度→低	10. 健康づくりを進める環境／18. スポーツ施設や活動などの環境／21. 国際交流や多文化共生社会の推進／33. 農林業の振興／34. 観光事業／36. 市民同士の連携や市民と行政の協働／37. 行政改革への取り組み／40. 都市ブランドの創出・都市魅力の発信
D 安定的な維持 が期待される エリア	満足度→高 重要度→低	6. 地域の支え合い／15. 各種講座や施設など生涯学習の環境／16. 文化芸術活動などの環境／17. 歴史文化遺産の保存・活用／19. 人権の尊重と平和意識の高揚／20. 男女共同参画の推進／23. リサイクル施策など循環型社会への取り組み／28. 公園や緑地などの環境

＜「現在の満足度」と「今後の重要度」のクロス分析＞散布図



＜経年比較＞

① 満足度

令和元年度から令和4年度調査までの各項目の満足度について経年比較すると、「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」及び「消防・救急」の3項目は毎年、上位5項目に挙げられており、3項目とも概ね横ばいの推移となっています。

一方、「商業地などの賑わい」「身近な場での働きやすさ」及び「バスなどの公共交通サービス」は毎年、下位5項目に挙げられています。「商業地などの賑わい」「バスなどの公共交通サービス」は微増していますが、「身近な場での働きやすさ」は概ね横ばいの推移となっています。

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
1	防災	3.06	3.17	3.19	3.16
2	消防・救急	3.27	3.33	3.34	3.30
3	防犯	3.14	3.11	3.12	3.12
4	交通安全	2.97	3.01	3.02	3.01
5	消費者行政	2.84	2.94	2.97	2.93
6	地域の支え合い	3.14	3.07	3.06	3.06
7	高齢者にとっての暮らしやすさ	2.59	2.71	2.80	2.71
8	障がい者にとっての暮らしやすさ	2.57	2.73	2.69	2.67
9	社会保障制度	2.68	2.81	2.79	2.75
10	健康づくりを進める環境	3.02	2.96	2.98	2.90
11	児童に対する福祉	3.05	3.10	3.05	3.06
12	子育てのしやすさ	3.11	3.17	3.13	3.07
13	小中学校の教育環境	3.02	3.06	3.05	2.98
14	青少年の健全な育成	3.02	2.94	2.96	2.96
15	各種講座や施設など生涯学習の環境	3.03	2.94	2.97	2.93
16	文化芸術活動などの環境	3.08	2.98	2.98	2.99
17	歴史文化遺産の保存・活用	3.28	3.21	3.18	3.13
18	スポーツ施設や活動などの環境	2.92	2.92	2.89	2.84
19	人権の尊重と平和意識の高揚	3.05	3.04	3.05	2.99
20	男女共同参画の推進	3.00	2.99	3.04	2.95
21	国際交流や多文化共生社会の推進	3.01	2.98	2.98	2.92
22	自然環境への配慮	3.22	3.22	3.23	3.14
23	リサイクル施策など循環型社会への取り組み	3.18	3.18	3.17	3.14
24	騒音・悪臭などの少なさ	3.43	3.35	3.35	3.34
25	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	3.55	3.46	3.48	3.40
26	市街地の整備	2.76	2.83	2.86	2.83
27	住環境	3.16	3.17	3.20	3.10
28	公園や緑地などの環境	3.09	3.09	3.10	3.03
29	道路や橋などの交通網	2.69	2.69	2.77	2.71
30	バスなどの公共交通サービス	2.51	2.54	2.64	2.59
31	上下水道	3.10	3.10	3.11	3.09
32	商業地などの賑わい	2.14	2.25	2.27	2.21
33	農林業の振興	2.79	2.82	2.85	2.73
34	観光事業	2.61	2.55	2.54	2.51
35	身近な場での働きやすさ	2.41	2.37	2.44	2.38
36	市民同士の連携や市民と行政の協働	2.88	2.84	2.87	2.85
37	行政改革への取り組み	2.71	2.81	2.81	2.72
38	適正で透明性の高い財政運営	2.73	2.81	2.81	2.74
39	市職員の窓口や電話等での対応	3.19	3.22	3.15	3.19
40	都市ブランドの創出・都市魅力の発信	2.61	2.67	2.69	2.58
41	市全体として	3.02	3.03	3.06	3.00
	平均値	2.94	2.96	3.04	2.93

備考：■（白文字）上位5項目、■（黒文字）下位5項目

② 重要度

令和元年度から令和4年度調査までの各項目の重要度について経年比較すると、「防災」「消防・救急」「防犯」の『安全・安心』に関する項目が毎年、上位5項目に挙げられています。

一方、「国際交流や多文化共生社会の推進」「文化芸術活動などの環境」「男女共同参画の推進」及び「各種講座や施設など生涯学習の環境」は毎年、下位5項目に挙げられています。

		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
1	防災	4.64	4.54	4.55	4.50
2	消防・救急	4.57	4.56	4.61	4.53
3	防犯	4.50	4.51	4.52	4.47
4	交通安全	4.38	4.33	4.42	4.30
5	消費者行政	4.23	4.17	4.15	4.15
6	地域の支え合い	4.18	4.06	4.04	3.96
7	高齢者にとっての暮らしやすさ	4.46	4.45	4.45	4.37
8	障がい者にとっての暮らしやすさ	4.41	4.33	4.35	4.31
9	社会保障制度	4.46	4.40	4.38	4.38
10	健康づくりを進める環境	4.06	4.00	4.05	3.98
11	児童に対する福祉	4.37	4.31	4.38	4.32
12	子育てのしやすさ	4.45	4.40	4.46	4.44
13	小中学校の教育環境	4.45	4.40	4.42	4.41
14	青少年の健全な育成	4.36	4.26	4.32	4.25
15	各種講座や施設など生涯学習の環境	3.78	3.78	3.86	3.79
16	文化芸術活動などの環境	3.67	3.64	3.70	3.68
17	歴史文化遺産の保存・活用	3.98	3.81	3.92	3.88
18	スポーツ施設や活動などの環境	3.85	3.81	3.92	3.86
19	人権の尊重と平和意識の高揚	3.92	3.85	3.95	3.87
20	男女共同参画の推進	3.67	3.68	3.77	3.69
21	国際交流や多文化共生社会の推進	3.64	3.58	3.64	3.66
22	自然環境への配慮	4.30	4.25	4.23	4.21
23	リサイクル施策など循環型社会への取り組み	4.20	4.16	4.20	4.14
24	騒音・悪臭などの少なさ	4.21	4.18	4.26	4.21
25	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	4.25	4.18	4.21	4.17
26	市街地の整備	4.20	4.24	4.23	4.20
27	住環境	4.30	4.26	4.35	4.27
28	公園や緑地などの環境	4.11	4.10	4.13	4.13
29	道路や橋などの交通網	4.30	4.29	4.33	4.32
30	バスなどの公共交通サービス	4.36	4.36	4.36	4.36
31	上下水道	4.27	4.28	4.29	4.27
32	商業地などの賑わい	4.15	4.16	4.23	4.17
33	農林業の振興	3.88	3.89	3.93	3.89
34	観光事業	3.87	3.86	3.87	3.82
35	身近な場での働きやすさ	4.13	4.14	4.24	4.15
36	市民同士の連携や市民と行政の協働	3.99	3.95	3.93	3.88
37	行政改革への取り組み	4.16	4.16	4.19	4.15
38	適正で透明性の高い財政運営	4.33	4.36	4.40	4.34
39	市職員の窓口や電話等での対応	-	-	-	-
40	都市ブランドの創出・都市魅力の発信	4.01	4.00	4.01	4.01
41	市全体として	-	-	-	-
	平均値				

備考：■（白文字）上位5項目、■（黒文字）下位5項目

回答者の属性別データ

① 満足度×性別

満足度を性別にみると、『男性』『女性』ともに「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」といった『環境』に関する項目、「消防・救急」といった『安全・安心』に関する項目が高くなっている一方、「商業地などの賑わい」「身近な場での働きやすさ」「観光事業」といった『産業』に関する項目が低くなっています。

			1位	2位	3位
現在の満足度 (5点満点)	男性	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.39)	騒音・悪臭などの少なさ (3.31)	消防・救急 (3.30)
		下位	商業地などの賑わい (2.22)	身近な場での働きやすさ (2.39)	観光事業 (2.52)
	女性	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.42)	騒音・悪臭などの少なさ (3.38)	消防・救急 (3.31)
		下位	商業地などの賑わい (2.20)	身近な場での働きやすさ (2.37)	観光事業 (2.50)
	答えたくない	上位	市職員の窓口や電話等での対応 (3.80)	各種講座や施設など生涯学習の環境 (3.75) / 国際交流や多文化共生社会の推進 (3.75)	防災 (3.67) / 上下水道 (3.67)
		下位	都市ブランドの創出・都市魅力の発信 (2.20)	農林業の振興 (2.25)	障がい者にとっての暮らしやすさ (2.40)
全体	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.40)	騒音・悪臭などの少なさ (3.34)	消防・救急 (3.30)	
	下位	商業地などの賑わい (2.21)	身近な場での働きやすさ (2.38)	観光事業 (2.51)	

② 今後の重要度×性別

今後の重要度を性別にみると、『男性』『女性』ともに「消防・救急」「防災」「防犯」といった『安心・安全』に関する項目が高くなっています。一方、『男性』『女性』ともに「国際交流や多文化共生社会の推進」「文化芸術活動などの環境」の2項目が低くなっています。

			1位	2位	3位
今後の重要度 (5点満点)	男性	上位	消防・救急 (4.48)	防犯 (4.45)	防災 (4.42)
		下位	文化芸術活動などの環境 (3.54)	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.55)	男女共同参画の推進 (3.58)
	女性	上位	消防・救急 (4.57)	防災 (4.55)	防犯 (4.49)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.77)	文化芸術活動などの環境 (3.78) / 男女共同参画の推進 (3.78)	観光事業 (3.87)
	答えたくない	上位	リサイクル施策など循環型社会への取り組み (5.00)	防災 (4.80) / バスなどの公共交通サービス (4.80)	青少年の健全な育成 (4.75) / 自然環境への配慮 (4.75) / 騒音・悪臭などの少なさ (4.75) / まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (4.75)
		下位	観光事業 (3.25)	市街地の整備 (3.40)	健康づくりを進める環境 (3.50)
全体	上位	消防・救急 (4.53)	防災 (4.50)	防犯 (4.47)	
	下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.66)	文化芸術活動などの環境 (3.68)	男女共同参画の推進 (3.69)	

③ 満足度×年代別

満足度を年代別にみると、

すべての年代で「まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」など『環境』に関する項目が高くなっています。

一方で、「商業地などの賑わい」「身近な場での働きやすさ」「観光事業」など『産業』に関する項目は、ほとんどの年代で下位を占めています。

			1位	2位	3位
現在の満足度 (5点満点)	19歳以下	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.68)	住環境 (3.48)	健康づくりを進める環境 (3.46)
		下位	身近な場での働きやすさ (2.44)	都市ブランドの創出・都市魅力の発信 (2.53)	商業地などの賑わい (2.55)
	20歳代	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.65)	消防・救急 (3.33) / 自然環境への配慮 (3.33)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.30)
		下位	商業地などの賑わい (2.08)	身近な場での働きやすさ (2.09)	観光事業 (2.41)
	30歳代	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.43)	騒音・悪臭などの少なさ (3.42)	公園や緑地などの環境 (3.27)
		下位	商業地などの賑わい (2.07)	身近な場での働きやすさ (2.43)	観光事業 (2.44)
	40歳代	上位	騒音・悪臭などの少なさ (3.36)	消防・救急 (3.33) / まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.33)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.19)
		下位	商業地などの賑わい (2.17)	観光事業 (2.43) / 身近な場での働きやすさ (2.43)	バスなどの公共交通サービス (2.52)
	50歳代	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.50)	騒音・悪臭などの少なさ (3.37)	消防・救急 (3.33)
		下位	商業地などの賑わい (2.10)	身近な場での働きやすさ (2.35)	バスなどの公共交通サービス (2.41)
	60歳代	上位	騒音・悪臭などの少なさ (3.31)	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.21)	消防・救急 (3.12)
		下位	商業地などの賑わい (2.29)	身近な場での働きやすさ (2.32)	観光事業 (2.49)
	70歳代	上位	消防・救急 (3.33)	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.31)	騒音・悪臭などの少なさ (3.29)
		下位	商業地などの賑わい (2.39)	身近な場での働きやすさ (2.57)	バスなどの公共交通サービス (2.62)
	80歳以上	上位	騒音・悪臭などの少なさ (3.53)	市職員の窓口や電話等での対応 (3.52)	消防・救急 (3.46) / 上下水道 (3.46)
		下位	商業地などの賑わい (2.33)	身近な場での働きやすさ (2.58)	観光事業 (2.67) / 行政改革への取り組み (2.67)
	全体	上位	まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ (3.40)	騒音・悪臭などの少なさ (3.34)	消防・救急 (3.30)
		下位	商業地などの賑わい (2.21)	身近な場での働きやすさ (2.38)	観光事業 (2.51)

④ 今後の重要度×年代別

今後の重要度を年代別にみると、ほとんどの年代で「防災」「消防・救急」「防犯」など『安全・安心』に関する項目が高くなっています。また、『19歳以下』『20歳代』『30歳代』では「子育てのしやすさ」「小中学校の教育環境」など『子育て・教育』に関する項目、『50歳代』『60歳代』『80歳以上』では「高齢者にとっての暮らしやすさ」といった『福祉・健康』に関する項目が高くなっています。

一方で、「国際交流や多文化共生社会の推進」「文化芸術活動などの環境」は、ほとんどの年代で下位を占めています。

			1位	2位	3位
今後の重要度 (5点満点)	19歳以下	上位	子育てのしやすさ (4.78)	適正で透明性の高い財政運営 (4.72)	リサイクル施策など循環型社会への取り組み (4.70) / バスなどの公共交通サービス (4.70)
		下位	地域の支え合い (4.00)	市民同士の連携や市民と行政の協働 (4.06)	スポーツ施設や活動などの環境 (4.15)
	20歳代	上位	子育てのしやすさ (4.68)	小中学校の教育環境 (4.64)	防犯 (4.57)
		下位	地域の支え合い (3.66)	文化芸術活動などの環境 (3.74)	観光事業 (3.75)
	30歳代	上位	子育てのしやすさ (4.62) / 小中学校の教育環境 (4.62)	児童に対する福祉 (4.49)	消防・救急 (4.45)
		下位	男女共同参画の推進 (3.35)	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.46)	文化芸術活動などの環境 (3.56)
	40歳代	上位	消防・救急 (4.52)	防犯 (4.50)	防災 (4.46)
		下位	文化芸術活動などの環境 (3.44)	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.56)	各種講座や施設など生涯学習の環境 (3.68)
	50歳代	上位	消防・救急 (4.50) / 防犯 (4.50)	防災 (4.45) / 高齢者にとっての暮らしやすさ (4.45)	バスなどの公共交通サービス (4.43)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.51)	男女共同参画の推進 (3.52)	文化芸術活動などの環境 (3.69)
	60歳代	上位	消防・救急 (4.59)	防災 (4.52)	高齢者にとっての暮らしやすさ (4.47)
		下位	文化芸術活動などの環境 (3.70)	各種講座や施設など生涯学習の環境 (3.72)	観光事業 (3.74)
	70歳代	上位	防災 (4.57) / 消防・救急 (4.57)	適正で透明性の高い財政運営 (4.51)	子育てのしやすさ (4.46)
		下位	男女共同参画の推進 (3.72)	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.73)	文化芸術活動などの環境 (3.77)
	80歳以上	上位	高齢者にとっての暮らしやすさ (4.45)	防災 (4.44)	消防・救急 (4.42)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.55)	男女共同参画の推進 (3.71)	各種講座や施設など生涯学習の環境 (3.74)
	全体	上位	消防・救急 (4.53)	防災 (4.50)	防犯 (4.47)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.66)	文化芸術活動などの環境 (3.68)	男女共同参画の推進 (3.69)

⑤ 満足度×小学校区別

満足度を小学校区別にみると、ほとんどの小学校区で「まちなみ・自然・歴史などの景観の美しさ」「騒音・悪臭などの少なさ」など『環境』に関する項目、「消防・救急」の『安全・安心』に関する項目が高くなっています。

一方で、「商業地などの賑わい」「身近な場での働きやすさ」の『産業』に関する項目は、ほとんどの小学校区で下位を占めて満足度が低くなっています。

		1位	2位	3位	
今後の重要度 (5点満点)	長野 小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.29)	消防・救急(3.25)	防災(3.24)
		下位	商業地などの賑わい (1.87)	身近な場での働きやすさ (2.37)	観光事業(2.44)
	小山田 小学校区	上位	消防・救急(3.49)	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.46)	市職員の窓口や電話等での 対応(3.32)
		下位	商業地などの賑わい (2.32)	身近な場での働きやすさ (2.39)	観光事業(2.59)
	天野 小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.53)	消防・救急(3.50)	騒音・悪臭などの少なさ (3.43)
		下位	商業地などの賑わい (2.18)	身近な場での働きやすさ (2.21)	観光事業(2.44)
	高向 小学校区	上位	消防・救急(3.29)	交通安全(3.28)	騒音・悪臭などの少なさ (3.17)
		下位	商業地などの賑わい (2.10)	障がい者にとっての暮らし やすさ(2.31)	農林業の振興(2.35)
	三日市 小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.44)	騒音・悪臭などの少なさ (3.42)	消防・救急(3.30)
		下位	商業地などの賑わい (2.17)	身近な場での働きやすさ (2.48)	都市ブランドの創出・都市 魅力の発信(2.52)
	天見 小学校区	上位	児童に対する福祉(3.80)	市職員の窓口や電話等での 対応(3.75)	消防・救急(3.67)
		下位	身近な場での働きやすさ (1.83)	農林業の振興(2.00)	バスなどの公共交通サービ ス(2.25)
	川上 小学校区	上位	騒音・悪臭などの少なさ (3.56)	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.41)	上下水道(3.24)
		下位	商業地などの賑わい (2.16)	身近な場での働きやすさ (2.37)	観光事業(2.52)
	千代田 小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.32)	消防・救急(3.31)	騒音・悪臭などの少なさ (3.22)
		下位	商業地などの賑わい (2.43)	観光事業(2.49)	都市ブランドの創出・都市 魅力の発信(2.52)
	楠 小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.35)	消防・救急(3.33)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.22)
		下位	バスなどの公共交通サービ ス(2.31)	障がい者にとっての暮らし やすさ(2.56)	商業地などの賑わい (2.58)
	加賀田 小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.59)	騒音・悪臭などの少なさ (3.38)	歴史文化遺産の保存・活用 (3.27)
		下位	商業地などの賑わい (2.00)	身近な場での働きやすさ (2.22)	観光事業(2.36)
石仏 小学校区	上位	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.35)	騒音・悪臭などの少なさ (3.23)	子育てのしやすさ(3.19)	
	下位	商業地などの賑わい (2.33)	身近な場での働きやすさ (2.39)	高齢者にとっての暮らし やすさ(2.55)	
美加の台 小学校区	上位	騒音・悪臭などの少なさ (3.85)	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.69)	住環境(3.43)	
	下位	商業地などの賑わい (2.01)	身近な場での働きやすさ (2.05)	観光事業(2.20)	
南花台 小学校区	上位	騒音・悪臭などの少なさ (3.41)	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.39)	消防・救急(3.34)	
	下位	商業地などの賑わい (2.34)	身近な場での働きやすさ (2.40)	観光事業(2.51)	
全体	上位	まちなみ・自然・歴史など 景観の美しさ(3.40)	騒音・悪臭などの少なさ (3.34)	消防・救急(3.30)	
	下位	商業地などの賑わい (2.21)	身近な場での働きやすさ (2.38)	観光事業(2.51)	

⑥ 今後の重要度×小学校区別

今後の重要度を小学校区別にみると、ほとんどの小学校区で「防災」「消防・救急」「防犯」の『安全・安心』に関する項目が高くなっています。また、「高齢者にとっての暮らしやすさ」など『福祉・健康』、「子育てのしやすさ」「小中学校の教育環境」など『子育て・教育』の項目も多くの小学校区で高くなっています。

一方で、「国際交流や多文化共生社会の推進」「文化芸術活動などの環境」はほとんどの小学校区で下位を占めています。

			1位	2位	3位
今後の重要度 (5点満点)	長野 小学校区	上位	消防・救急 (4.64)	防災 (4.58)	防犯 (4.57)
		下位	文化芸術活動などの環境 (3.70)	男女共同参画の推進 (3.81)	各種講座や施設など生涯学習の環境 (3.82)
	小山田 小学校区	上位	防犯 (4.50)	防災 (4.49)	消防・救急 (4.47)
		下位	男女共同参画の推進 (3.50)	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.53)	観光事業 (3.58)
	天野 小学校区	上位	商業地などの賑わい (4.49)	バスなどの公共交通サービス (4.47)	消防・救急 (4.46)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.63)	男女共同参画の推進 (3.73)	各種講座や施設など生涯学習の環境 (3.74)
	高向 小学校区	上位	高齢者にとっての暮らしやすさ (4.58)	消防・救急 (4.54)	小中学校の教育環境 (4.52)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.34)	男女共同参画の推進 (3.50)	観光事業 (3.62)
	三日市 小学校区	上位	消防・救急 (4.50)	防災 (4.46)	小中学校の教育環境 (4.45)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.55)	男女共同参画の推進 (3.60)	文化芸術活動などの環境 (3.63)
	天見 小学校区	上位	防災 (5.00) / 障がい者にとっての暮らしやすさ (5.00) / 社会保障制度 (5.00) / 上下水道 (5.00)	消防・救急 (4.86) / 防犯 (4.86) / 交通安全 (4.86) / 住環境 (4.86) / 道路や橋などの交通網 (4.86)	児童に対する福祉 (4.83) / 小中学校の教育環境 (4.83)
		下位	スポーツ施設や活動などの環境 (3.33)	観光事業 (3.40)	文化芸術活動などの環境 (3.60)
	川上 小学校区	上位	消防・救急 (4.64)	防犯 (4.54)	高齢者にとっての暮らしやすさ (4.52)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.72)	男女共同参画の推進 (3.76)	文化芸術活動などの環境 (3.80)
	千代田 小学校区	上位	子育てのしやすさ (4.51)	防災 (4.49)	消防・救急 (4.45)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.62)	文化芸術活動などの環境 (3.63)	男女共同参画の推進 (3.71)
	楠 小学校区	上位	防犯 (4.56)	小中学校の教育環境 (4.55)	防災 (4.49)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.61)	男女共同参画の推進 (3.62)	文化芸術活動などの環境 (3.71)
	加賀田 小学校区	上位	バスなどの公共交通サービス (4.48)	商業地などの賑わい (4.43)	適正で透明性の高い財政運営 (4.41)
		下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.50)	男女共同参画の推進 (3.54)	文化芸術活動などの環境 (3.66)
石仏 小学校区	上位	高齢者にとっての暮らしやすさ (4.49)	防災 (4.43)	消防・救急 (4.39)	
	下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.45)	各種講座や施設など生涯学習の環境 (3.48)	男女共同参画の推進 (3.56)	
美加の台 小学校区	上位	消防・救急 (4.69)	防災 (4.65)	防犯 (4.57)	
	下位	文化芸術活動などの環境 (3.61)	農林業の振興 (3.81)	各種講座や施設など生涯学習の環境 (3.82)	
南花台 小学校区	上位	消防・救急 (4.52)	防災 (4.50)	適正で透明性の高い財政運営 (4.48)	
	下位	文化芸術活動などの環境 (3.55)	スポーツ施設や活動などの環境 (3.67)	各種講座や施設など生涯学習の環境 (3.71)	
全体	上位	消防・救急 (4.53)	防災 (4.50)	防犯 (4.47)	
	下位	国際交流や多文化共生社会の推進 (3.66)	文化芸術活動などの環境 (3.68)	男女共同参画の推進 (3.69)	

(2) 不満を感じる取組みとその理由 (問6)

問5の①現在の満足度で、「4. やや不満」「5. 不満」と答えられた方におたずねします。
 問6 特に不満を感じられている項目の番号を2つまで選んで、それぞれについて不満を感じる理由を記入してください。

不満を感じる取組みとその理由についてみると、「商業地などの賑わい」が170件と最も高く、次いで「バスなどの公共交通サービス」が116件、「道路や橋などの交通網」が68件、「高齢者にとっての暮らしやすさ」が54件となっています。

<p>1. 防災 (9件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大雨の際の土砂災害が多い。</td> </tr> <tr> <td>災害が起きた時、危険な場所が多い。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	大雨の際の土砂災害が多い。	災害が起きた時、危険な場所が多い。	<p>8. 障がい者にとっての暮らしやすさ (19件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車いすでの通行が困難な道が多い。</td> </tr> <tr> <td>重度障がい者タクシー利用券を出すとほとんどの運転手さんが露骨に嫌な顔をされます。</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー化が進んでいるとは言いがたい。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	車いすでの通行が困難な道が多い。	重度障がい者タクシー利用券を出すとほとんどの運転手さんが露骨に嫌な顔をされます。	バリアフリー化が進んでいるとは言いがたい。				
主な意見												
大雨の際の土砂災害が多い。												
災害が起きた時、危険な場所が多い。												
主な意見												
車いすでの通行が困難な道が多い。												
重度障がい者タクシー利用券を出すとほとんどの運転手さんが露骨に嫌な顔をされます。												
バリアフリー化が進んでいるとは言いがたい。												
<p>2. 消防・救急 (11件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急病院が少ない。</td> </tr> <tr> <td>休日・夜間の対応の悪さ。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	救急病院が少ない。	休日・夜間の対応の悪さ。	<p>9. 社会保障制度 (3件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他市では医療費助成が高校卒業まである。</td> </tr> <tr> <td>障害者のボーダーラインが不透明。税金のばらまきを感じる。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	他市では医療費助成が高校卒業まである。	障害者のボーダーラインが不透明。税金のばらまきを感じる。					
主な意見												
救急病院が少ない。												
休日・夜間の対応の悪さ。												
主な意見												
他市では医療費助成が高校卒業まである。												
障害者のボーダーラインが不透明。税金のばらまきを感じる。												
<p>3. 防犯 (12件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防犯カメラ、街灯が少ない。</td> </tr> <tr> <td>空き巣や詐欺が増えている。</td> </tr> <tr> <td>周囲に空き家が増えた。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	防犯カメラ、街灯が少ない。	空き巣や詐欺が増えている。	周囲に空き家が増えた。	<p>10. 健康づくりを進める環境 (10件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康寿命を伸ばすための講座を増やして欲しい。</td> </tr> <tr> <td>がん検診が有料で項目が少ない。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	健康寿命を伸ばすための講座を増やして欲しい。	がん検診が有料で項目が少ない。				
主な意見												
防犯カメラ、街灯が少ない。												
空き巣や詐欺が増えている。												
周囲に空き家が増えた。												
主な意見												
健康寿命を伸ばすための講座を増やして欲しい。												
がん検診が有料で項目が少ない。												
<p>4. 交通安全 (28件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩道が狭い(無い)。自転車道が無いので危険。</td> </tr> <tr> <td>路面がガタガタ。けがをして入院したことがある。</td> </tr> <tr> <td>交通量が多く、道がせまい、安全が悪い。</td> </tr> <tr> <td>障害者に対する点字、保護案内板、標識等が少ない。</td> </tr> <tr> <td>信号はすべて歩車分離にすべきだ。</td> </tr> <tr> <td>信号機のない横断歩道で自動車が停車しない。</td> </tr> <tr> <td>狭い道でもスピードを出す車が多いと感じる。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	歩道が狭い(無い)。自転車道が無いので危険。	路面がガタガタ。けがをして入院したことがある。	交通量が多く、道がせまい、安全が悪い。	障害者に対する点字、保護案内板、標識等が少ない。	信号はすべて歩車分離にすべきだ。	信号機のない横断歩道で自動車が停車しない。	狭い道でもスピードを出す車が多いと感じる。	<p>11. 児童に対する福祉 (9件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周りの市に比べ医療費無料の年齢引き上げなどの対応が遅い。</td> </tr> <tr> <td>高校生まで子供医療を延長してほしい。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	周りの市に比べ医療費無料の年齢引き上げなどの対応が遅い。	高校生まで子供医療を延長してほしい。
主な意見												
歩道が狭い(無い)。自転車道が無いので危険。												
路面がガタガタ。けがをして入院したことがある。												
交通量が多く、道がせまい、安全が悪い。												
障害者に対する点字、保護案内板、標識等が少ない。												
信号はすべて歩車分離にすべきだ。												
信号機のない横断歩道で自動車が停車しない。												
狭い道でもスピードを出す車が多いと感じる。												
主な意見												
周りの市に比べ医療費無料の年齢引き上げなどの対応が遅い。												
高校生まで子供医療を延長してほしい。												
<p>5. 消費者行政 (6件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コロナ禍でも営業していたパチンコ店はいかがなものか。</td> </tr> <tr> <td>買物難民などと称される状況を作らないようにしていただきたい。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	コロナ禍でも営業していたパチンコ店はいかがなものか。	買物難民などと称される状況を作らないようにしていただきたい。	<p>12. 子育てのしやすさ (12件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て、出産へのサポートが少ない。</td> </tr> <tr> <td>子供の遊び場が少なく、公園の遊具も少ない。</td> </tr> <tr> <td>中学校は全員給食にしてほしい。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	子育て、出産へのサポートが少ない。	子供の遊び場が少なく、公園の遊具も少ない。	中学校は全員給食にしてほしい。				
主な意見												
コロナ禍でも営業していたパチンコ店はいかがなものか。												
買物難民などと称される状況を作らないようにしていただきたい。												
主な意見												
子育て、出産へのサポートが少ない。												
子供の遊び場が少なく、公園の遊具も少ない。												
中学校は全員給食にしてほしい。												
<p>6. 地域の支え合い (9件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会に入っていないが、地域の人たちとのつながりは深くならない。</td> </tr> <tr> <td>地域の支え合いが少ないと思う。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	自治会に入っていないが、地域の人たちとのつながりは深くならない。	地域の支え合いが少ないと思う。	<p>13. 小中学校の教育環境 (23件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教員の質の悪さ。</td> </tr> <tr> <td>教員数が明らかに少ない。生徒へ目が行き届いていない。</td> </tr> <tr> <td>中学校の給食がない。</td> </tr> <tr> <td>校区が広すぎて登校時間がとてもかかる。子供達への負担が大きく感じる。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	教員の質の悪さ。	教員数が明らかに少ない。生徒へ目が行き届いていない。	中学校の給食がない。	校区が広すぎて登校時間がとてもかかる。子供達への負担が大きく感じる。			
主な意見												
自治会に入っていないが、地域の人たちとのつながりは深くならない。												
地域の支え合いが少ないと思う。												
主な意見												
教員の質の悪さ。												
教員数が明らかに少ない。生徒へ目が行き届いていない。												
中学校の給食がない。												
校区が広すぎて登校時間がとてもかかる。子供達への負担が大きく感じる。												
<p>7. 高齢者にとっての暮らしやすさ (54件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>商店が近くに不便。</td> </tr> <tr> <td>外出するに当たってバス等の交通手段の無償化。</td> </tr> <tr> <td>1人暮らしの高齢者への取組みが見えない。</td> </tr> <tr> <td>自分で買物に行けない高齢者が近所に多く居る。</td> </tr> <tr> <td>高齢者の移動手段が自家用車に頼らざるを得ない状況だから。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	商店が近くに不便。	外出するに当たってバス等の交通手段の無償化。	1人暮らしの高齢者への取組みが見えない。	自分で買物に行けない高齢者が近所に多く居る。	高齢者の移動手段が自家用車に頼らざるを得ない状況だから。	<p>14. 青少年の健全な育成 (6件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家庭環境の歪みから起こる青少年の心身に寄り添える機関が少ない。</td> </tr> <tr> <td>長期休みになると深夜に単車の騒音がうるさい。</td> </tr> </tbody> </table>	主な意見	家庭環境の歪みから起こる青少年の心身に寄り添える機関が少ない。	長期休みになると深夜に単車の騒音がうるさい。		
主な意見												
商店が近くに不便。												
外出するに当たってバス等の交通手段の無償化。												
1人暮らしの高齢者への取組みが見えない。												
自分で買物に行けない高齢者が近所に多く居る。												
高齢者の移動手段が自家用車に頼らざるを得ない状況だから。												
主な意見												
家庭環境の歪みから起こる青少年の心身に寄り添える機関が少ない。												
長期休みになると深夜に単車の騒音がうるさい。												

15. 各種講座や施設など生涯学習の環境（3件）	22. 自然環境への配慮（5件）
主な意見	主な意見
講座が子ども・子育て、高齢者対象のものが多く、開催日時が平日の昼間ばかりで日中働いていると参加できない。	ここ数年で、産廃が増え過ぎ。ポイ捨てゴミが多いなと思います。捨っても捨てられて悲しくなります。
16. 文化芸術活動などの環境（4件）	23. リサイクル施策など循環型社会への取り組み（11件）
主な意見	主な意見
文化施設が少ない。「ラブリーホール」がまったく活用されていない。	ペットボトル以外のプラスチックゴミはリサイクル不要と思うから。市で収集するゴミ以外のリサイクルで、市が行っていること（もったいない市、ぐるぐるマルシェ等）を、もっと利用しやすくしてほしい。ごみの分別多すぎる。他市はもっとシンプル。リサイクルもどこまでされてるのか不明。
17. 歴史文化遺産の保存・活用（4件）	24. 騒音・悪臭などの少なさ（23件）
主な意見	主な意見
歴史的な場所、建造物などをもっとアピールして、観光客をもっと呼び込んだ方がよい。歴史遺産が有効に活用できてないため。	暴走するバイクや自動車等の騒音がうるさい。タバコを吸う人がとても多い。条例を作ってほしい。街のあちこちで分煙する場所を増やして、歩きタバコ等を減らしてほしい。夜でも大声で話す声が聞こえるから。風によって馬糞みたいな臭いがする。ゴミを燃やす臭い、煙が嫌。犬の鳴き声がうるさい時がある。
18. スポーツ施設や活動などの環境（26件）	25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ（3件）
主な意見	主な意見
スポーツできる場所が公共交通機関から遠い場所にある。総合運動公園が他市町村に比べて小さい。年よりばかりで若い人が行きにくい。スポーツクラブ（グループ）が少ない。子どもに対するスポーツ施設が少ない。	並木のカットが汚い。日影もなくマッチ棒のようです。大きな桜の木などが伐採されている。街並み、景観などが悪くなっている。
19. 人権の尊重と平和意識の高揚（1件）	26. 市街地の整備（33件）
主な意見	主な意見
子供が小中学生時代に受けた同和教育はたったの一度、中学時代に学年主任がされたお話のみでした。心に残るお話だったと子供より聞いております。	自然豊かで良いが、反面、買物で不便を感じる事がある。道路脇に木が生い茂って電線に被っている。道路が狭い。電線などにからまった木・葉の処理。整備されている所と、そうでない所の差が激しい。自転車や歩道の整備が遅れていると感じる。道路や歩道が段差、鉄板、アスファルトの欠損でデコボコしている。バリアフリー化して欲しい。
20. 男女共同参画の推進（2件）	27. 住環境（12件）
主な意見	主な意見
女性だから家事も育児も1人でしろと言われていたのを聞いたから。	通学路に空家が多く、崩れそうで危険。住みたいと思える賃貸物件がない。
21. 国際交流や多文化共生社会の推進（3件）	28. 公園や緑地などの環境（31件）
主な意見	主な意見
渡日の方々の増加が見られるが、日本語を学ぶ環境が十分に確保できていないと感じるため。	雑草の手入れがされていない。広くて遊具のある公園がほしい。ゆっくり散歩できるような広い公園がほしい。

29. 道路や橋などの交通網（68件）

主な意見
駅まで道路の整備。
いつも混んでいる。
バイパスが混むのと高速道路までが遠い。
バス路線がない。
路面がデコボコで、道路の中央線が消えかけている。

35. 身近な場での働きやすさ（51件）

主な意見
働く場所が少ない。
工場など新しい物が何もできない。

30. バスなどの公共交通サービス（116件）

主な意見
循環バス・コミュニティバスを走らせて欲しい。
バスの本数が少ない。
高齢者はバス代を無料にして欲しい。
バスが通っていてもバス停がない。
バスの運行網で空白地帯が多い。
富田林市・大阪狭山市のような100円バスがない。
バスの路線がわかりにくく、利用しづらい。

36. 市民同士の連携や市民と行政の協働（4件）

主な意見
活動している人が一部で、新しく入りにくい。

31. 上下水道（22件）

主な意見
水道料金が安い。
決済方法が昔のまま。
水の出がものすごく悪い（1つ使うと1つ出ない）。

37. 行政改革への取り組み（15件）

主な意見
福祉に無駄が多く感じる。真面目に働く市民を大切にしてください。
各課の連携が上手くとれずに課ごとの政策になっていて、発展性が見られない。

32. 商業地などの賑わい（170件）

主な意見
河内長野駅前が寂しい。商店街を何とかしてほしい。
大型ショッピングモールが遠い。
ショッピングするには、お店が充実していない。
大型商業施設や映画館などが無い。
シャッター通り商店街となっている。
「イオン」や「コストコ」、「ららぽーと」くらいの商業施設がほしい。
商店街、「ノバティ」内の空店舗が多い。

38. 適正で透明性の高い財政運営（10件）

主な意見
高齢者も大事だが、若い人にも税金をしっかりとってほしい。
皆が納得する税の使用。
駅前の観光案内、市の体育館の運営の効率の悪さなど明らかに無駄が多いように感じます。なぜそのように決定したのか（費用対効果）、市民に分かるようにしてくれることを望みます。

33. 農林業の振興（10件）

主な意見
山林面積が大きいだけで有効活用が出来ていない。
特産物が少ない。

39. 市職員の窓口や電話等での対応（29件）

主な意見
市民に対する態度が思わしくない。
基礎知識が足りない。「わかりません」と簡単に言っ てほうり投げる姿勢。
同じ質問でも人によって答えが違い過ぎる。

34. 観光事業（38件）

主な意見
河内長野は自然も豊富でもっと観光客を呼びこめる場所と思う。
観光施設があるのにもっとPRすべき。
観光しようと思うところがない。もっと、自然をいかしたグランピング施設等、今の流行にのった場所を作ってほしい。

40. 都市ブランドの創出・都市魅力の発信（41件）

主な意見
特産品が少ないのではないかと。
大阪市内や阪神間の人と話しても河内長野が知られていない。
歴史的遺産が多いのに活かせていないと思います。
大学や大配送センターなどを空いた土地に誘致してほしい。
良いところがたくさんあるのに、アピール不足だと思う。

41. 市全体として（11件）

主な意見
子育て世帯への支援が重視されてばかりで不公平。
歴史や自然だけでは人は集まらない。『食』の魅力を発信すべき。

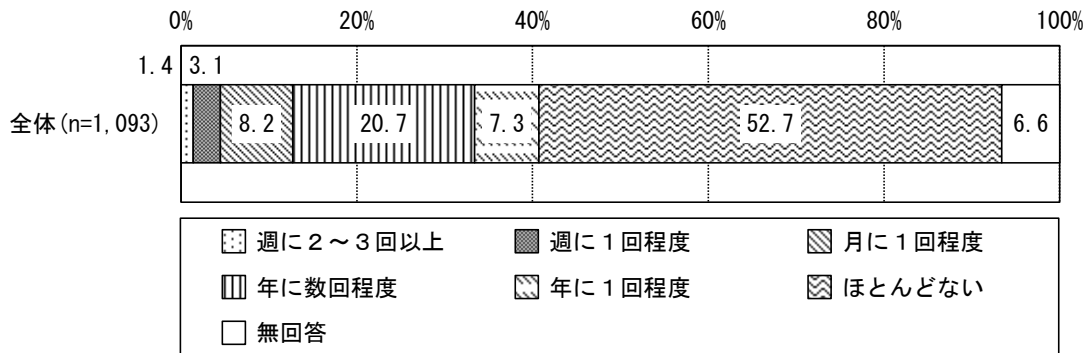
(3) 地域やまちづくり活動の参加度 (問7)

問7 あなたは、この1年で市内の「地域活動やまちづくり活動」^(※)にどの程度参加されましたか。(〇は1つだけ)

(※)「地域活動やまちづくりの活動」とは、自治会、町内会、PTA、教育、青少年育成、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広い活動のことを言います。

地域やまちづくり活動の参加度についてみると、「ほとんどない」が52.7%と最も高く、次いで「年に数回程度」が20.7%、「月に1回程度」が8.2%となっています。

■地域やまちづくり活動の参加度 (単数回答/全体)



年代別にみると、全ての年代で「ほとんどない」が最も高くなっており、年齢層が低いほど高くなっています。次いで、『19歳以下』以外の年齢層で「年に数回程度」となっており、『40歳代』『50歳代』が他の年齢層より高くなっています。

■地域やまちづくり活動の参加度 (単数回答/年代別)

		合計	週に2~3回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	年に1回程度	ほとんどない	無回答
全体		1,093	15	34	90	226	80	576	72
		100.0	1.4	3.1	8.2	20.7	7.3	52.7	6.6
B. 年齢	19歳以下	24	0	0	0	0	4	20	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	83.3	0.0
	20歳代	106	0	0	3	11	3	86	3
		100.0	0.0	0.0	2.8	10.4	2.8	81.1	2.8
	30歳代	81	1	2	3	14	8	50	3
		100.0	1.2	2.5	3.7	17.3	9.9	61.7	3.7
	40歳代	174	1	5	23	42	9	86	8
		100.0	0.6	2.9	13.2	24.1	5.2	49.4	4.6
	50歳代	225	1	8	17	60	12	118	9
		100.0	0.4	3.6	7.6	26.7	5.3	52.4	4.0
60歳代	160	2	2	15	33	14	82	12	
	100.0	1.3	1.3	9.4	20.6	8.8	51.3	7.5	
70歳代	198	4	13	19	41	21	82	18	
	100.0	2.0	6.6	9.6	20.7	10.6	41.4	9.1	
80歳以上	115	6	4	10	24	7	47	17	
	100.0	5.2	3.5	8.7	20.9	6.1	40.9	14.8	
無回答	10	0	0	0	1	2	5	2	
	100.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	50.0	20.0	

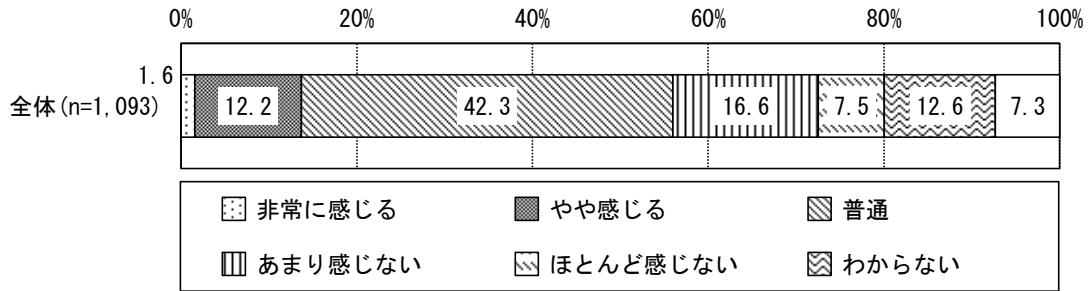
(4) 市の取組みに対する感じ方 (問8)

問8 次の1から3の項目について、どのように感じていますか。各項目について、あなたの考えに最も近い番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

1. 地域のまちづくり活動が充実していると感じている

地域のまちづくり活動が充実していると感じているについてみると、「普通」が42.3%と最も高く、次いで「あまり感じない」が16.6%、「ほとんど感じない」が12.6%となっています。

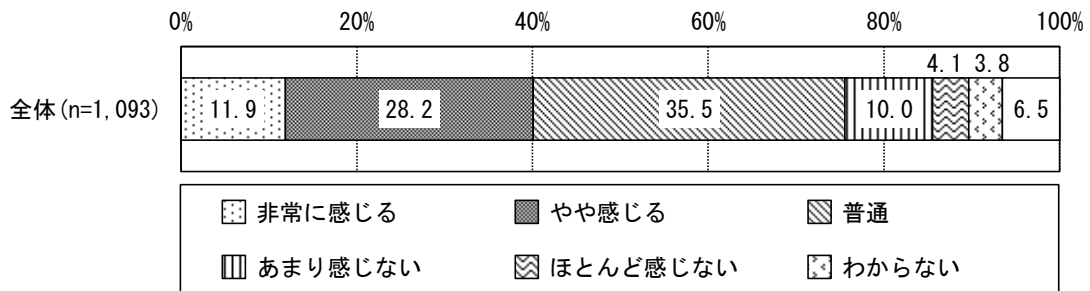
■地域のまちづくり活動が充実していると感じている (単数回答/全体)



2. 河内長野市に住みつづけたいと感じている

河内長野市に住みつづけたいと感じているについてみると、「普通」が35.5%と最も高く、次いで「やや感じる」が28.2%、「非常に感じる」が11.9%となっています。

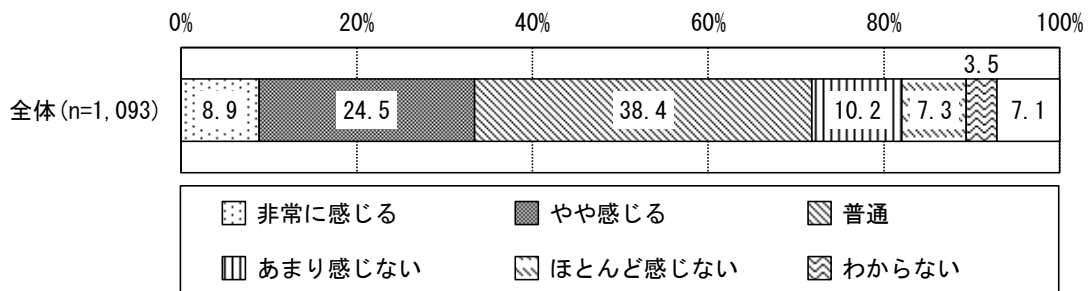
■河内長野市に住みつづけたいと感じている (単数回答/全体)



3. 河内長野市に愛着と誇りを感じている

河内長野市に愛着と誇りを感じているについてみると、「普通」が38.4%と最も高く、次いで「やや感じる」が24.5%、「あまり感じない」が10.2%となっています。

■河内長野市に愛着と誇りを感じている (単数回答/全体)



2-4. 健康づくりについて

(1) 運動の頻度 (問9)

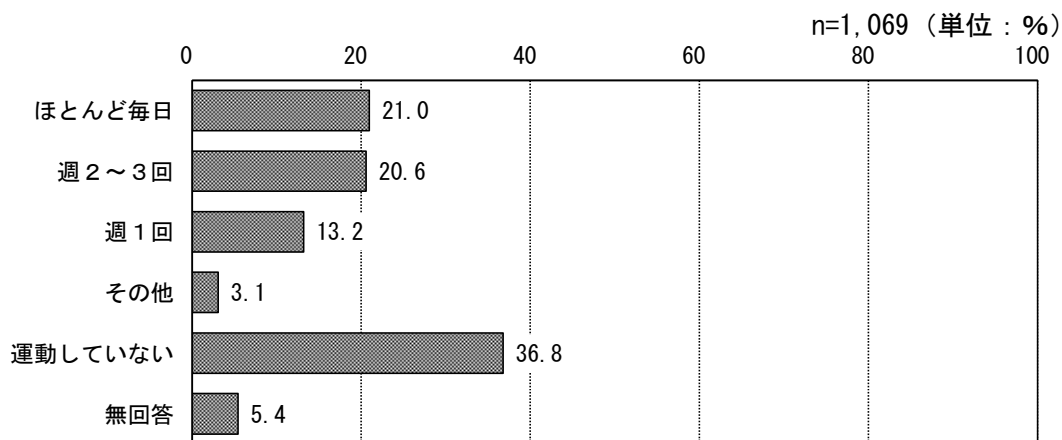
問9 運動の頻度はどの程度ですか。(○は1つだけ)

「運動していない」が36.8%と最も多く、次いで「ほとんど毎日」が21.0%、「週2～3回」が20.6%、「週1回」が13.2%の順となっています。

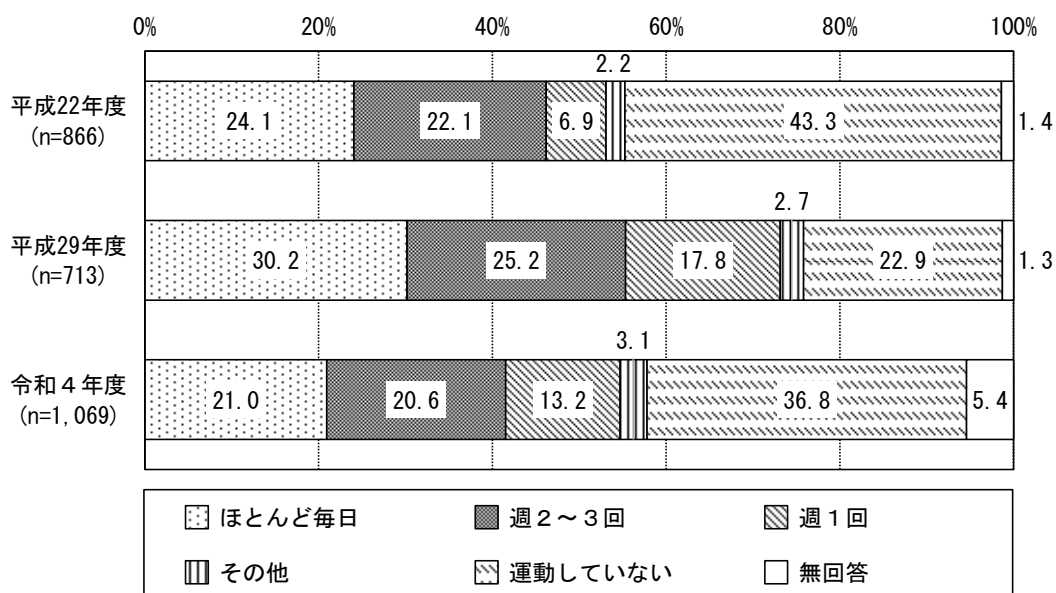
経年比較をみると、「ほとんど毎日」「週2～3回」「週1回」とも前回調査(平成29年度)より減少しており、「していない」が22.9%→36.8%に増加しています。

年代別にみると、「運動していない」は『20～39歳』で27.0%→46.5%、『80歳以上』で6.7%→26.1%に増加しています。

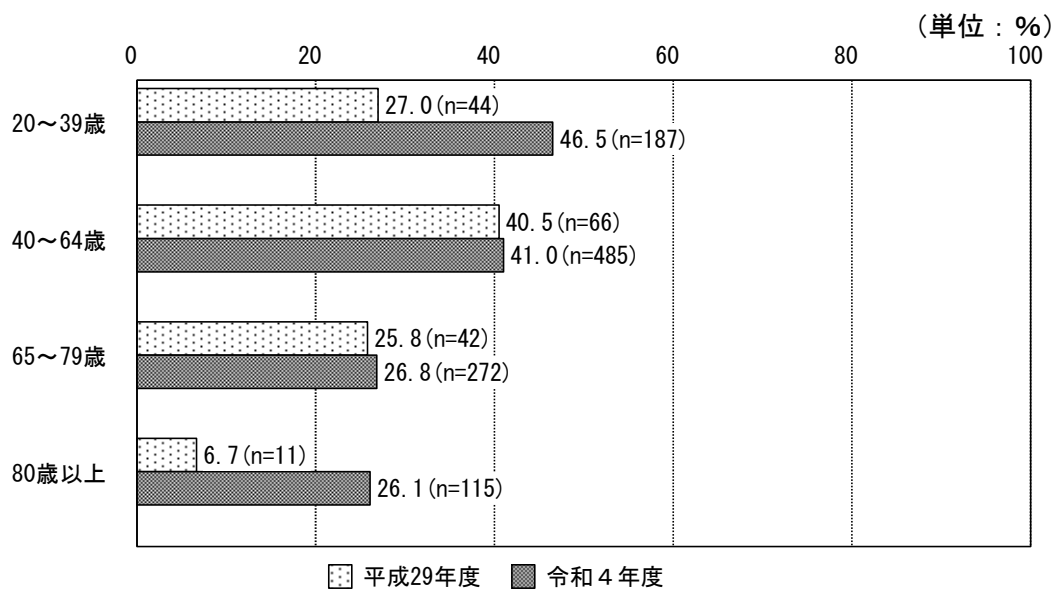
■運動の頻度 (単数回答/全体)



■運動の頻度 (単数回答/経年比較)



■ 運動の頻度（単数回答／年代別）



(2) 1回の運動時間 (問10)

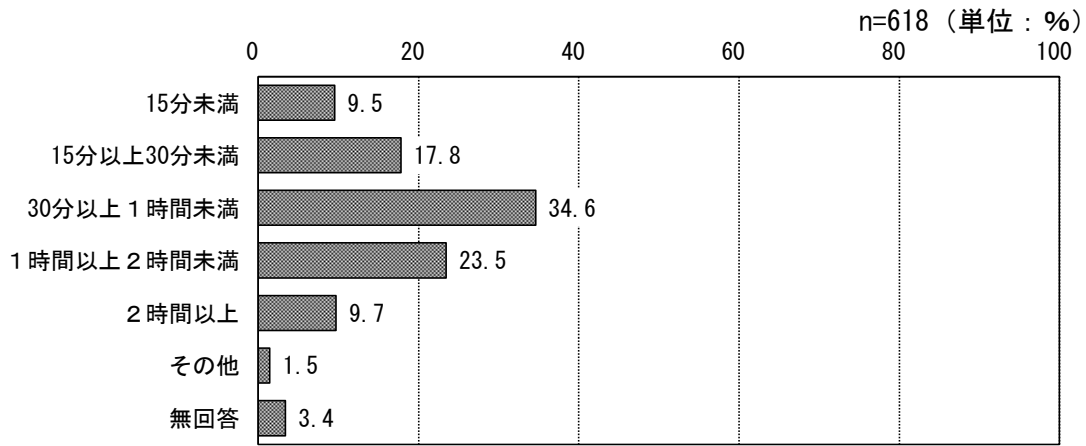
問9で「1. ほとんど毎日」「2. 週2~3回」「3. 週1回」「4. その他」を答えられた方におたずねします。

問10 1回の時間はどの程度ですか。(○は1つだけ)

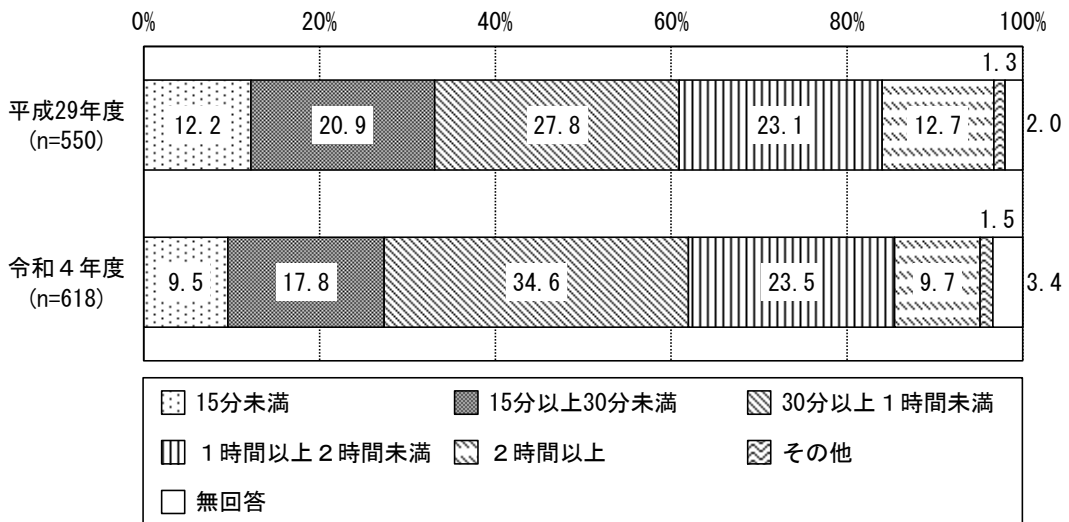
運動をしている人について、運動の時間は「30分以上1時間未満」が34.6%と最も多く、次いで「1時間以上2時間未満」が23.5%、「15分以上30分未満」が17.8%の順となっています。

経年比較をみると、「30分以上1時間未満」「1時間以上2時間未満」が増加しており、「15分未満」「15分以上30分未満」及び「2時間以上」が減少しています。

■運動の時間 (単数回答/全体)



■運動の時間 (単数回答/経年比較)



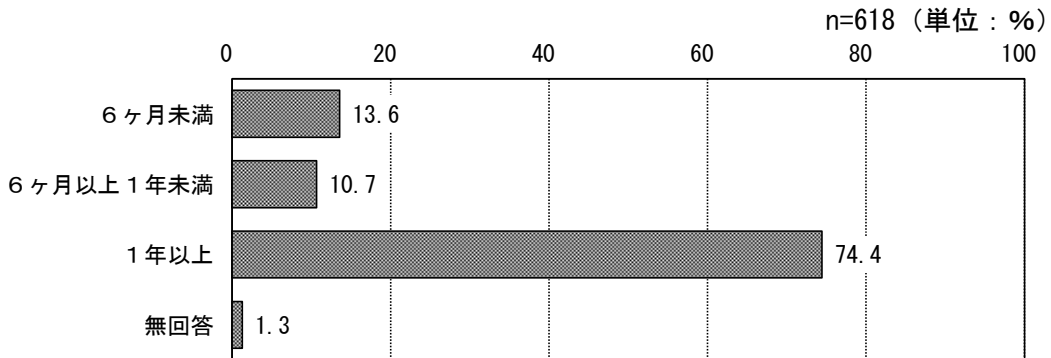
(3) 運動を続けている期間 (問11)

問11 続けている期間はどの程度ですか。(○は1つだけ)

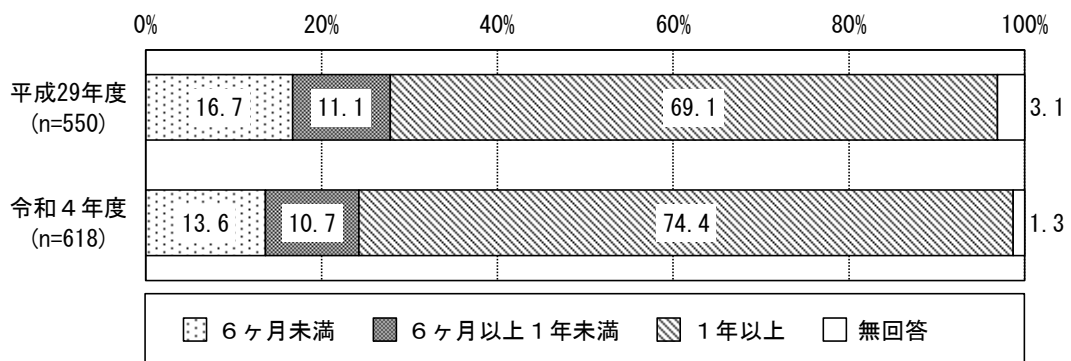
運動をしている人について、運動を続けている期間は「1年以上」が74.4%と最も多く、次いで「6ヶ月未満」が13.6%、「6ヶ月以上1年未満」が10.7%となっています。

経年別にみると、「1年以上」は69.1%→74.4%に増加しており、「6ヶ月未満」は16.7%→13.6%に減少しています。

■運動続けている期間 (単数回答/全体)



■運動続けている期間 (単数回答/経年比較)



(4) ストレスを解消できているか (問12)

問12 ストレスをうまく解消できていますか。(○は1つだけ)

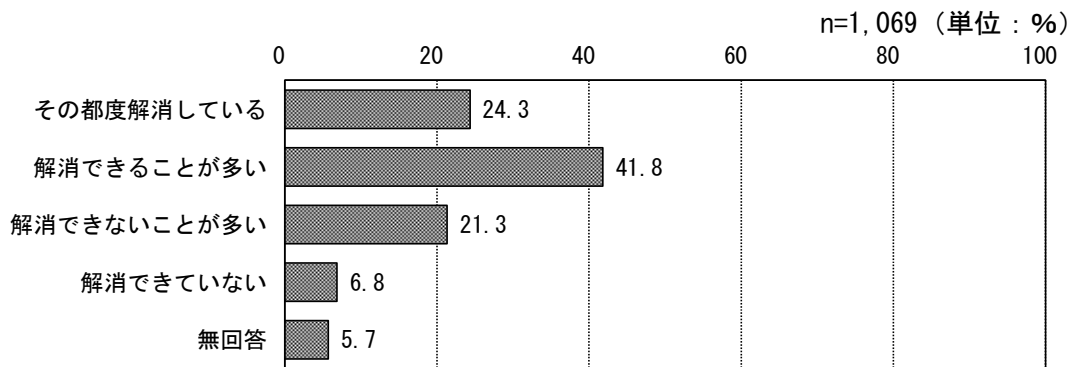
「解消できることが多い」が41.8%と最も多く、次いで「その都度解消している」が24.3%、「解消できないことが多い」が21.3%、「解消できていない」が6.8%となっています。

経年比較をみると、「解消できることが多い」が45.6%→41.8%に減少しています。

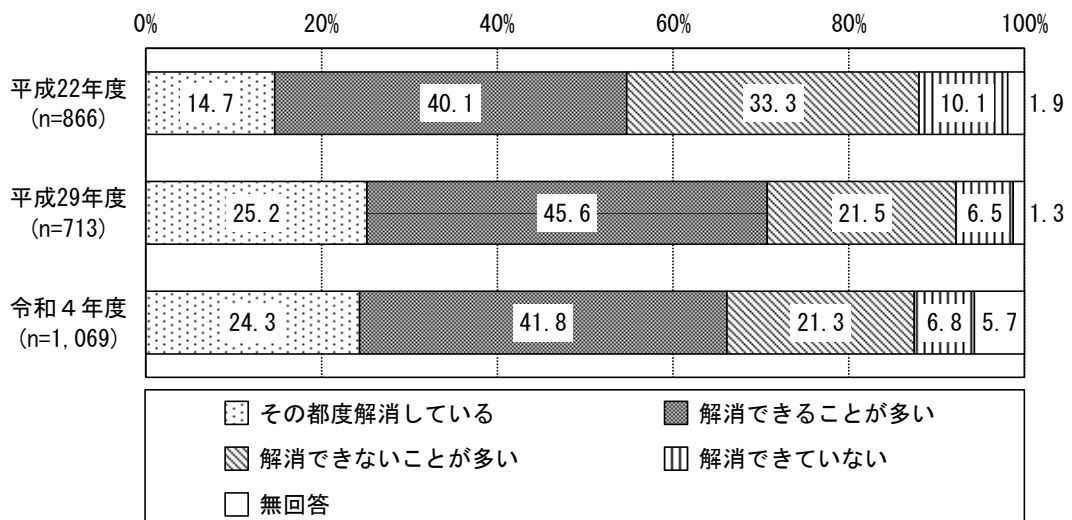
性別にみると、「その都度解消している」は『男性』(42.0%)が『女性』(41.4%)より0.6ポイント多くなっており、「解消できないことが多い」は『女性』(23.2%)が『男性』(19.0%)より4.2ポイント多くなっています。

年代別にみると、「その都度解消している」は『65～79歳』『80歳以上』で多く、「解消できないことが多い」は『20～39歳』『40～64歳』で多くなっています。

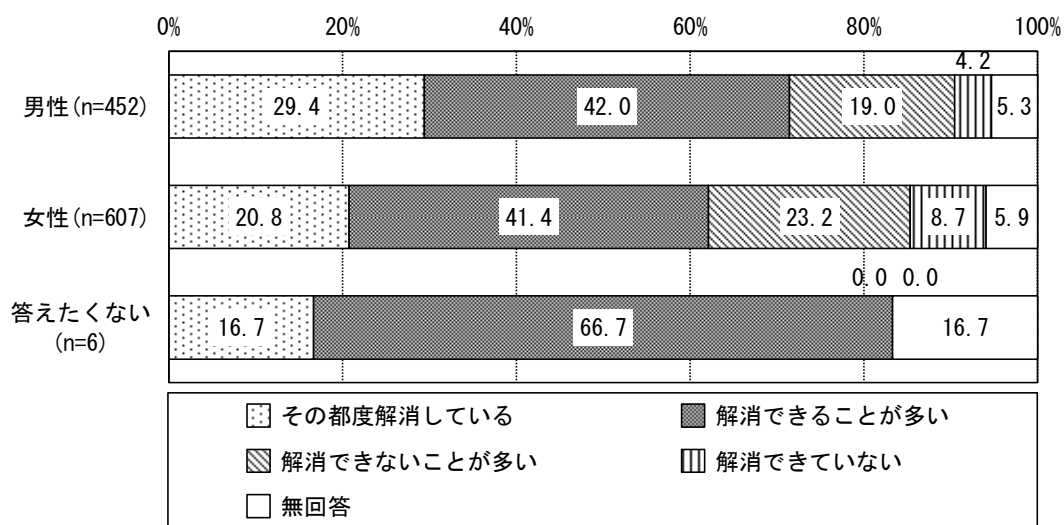
■ストレスの解消状況 (単数回答/全体)



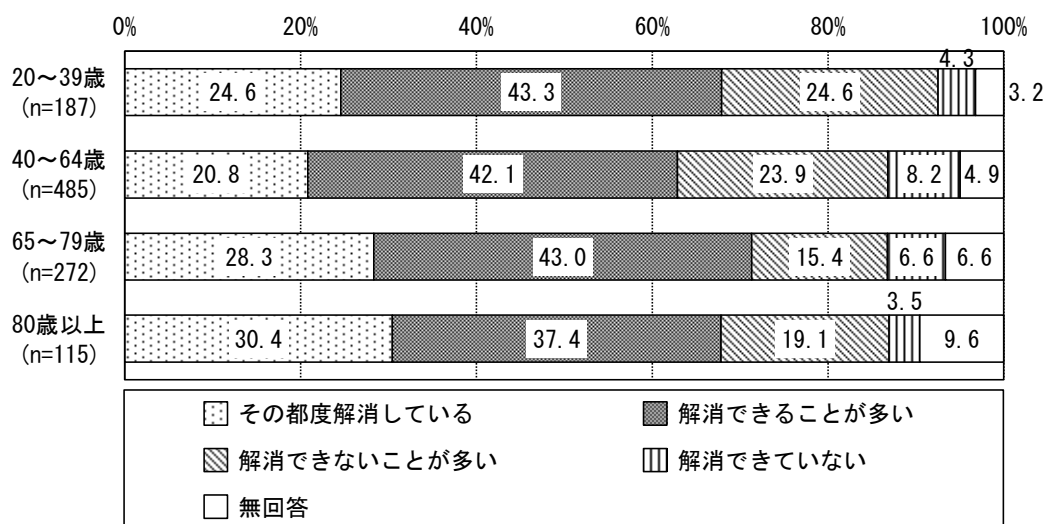
■ストレスの解消状況 (単数回答/経年比較)



■ ストレスの解消状況（単数回答／性別）



■ ストレスの解消状況（単数回答／年代）



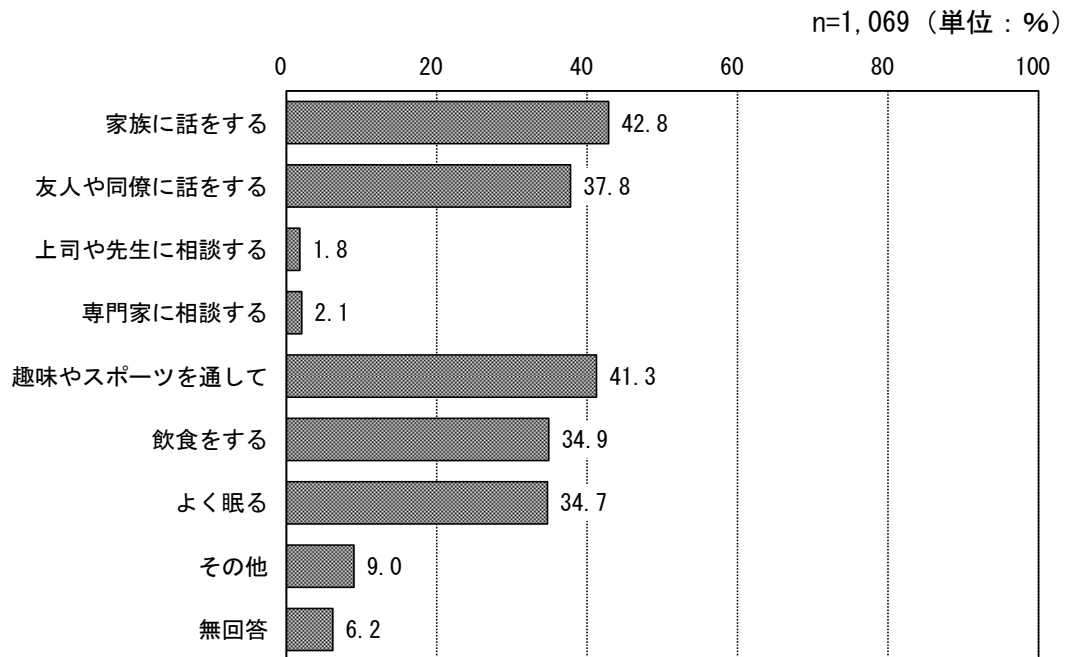
(5) ストレスの解消方法 (問13)

問13 どのようにストレスを解消していますか。(〇はいくつでも)

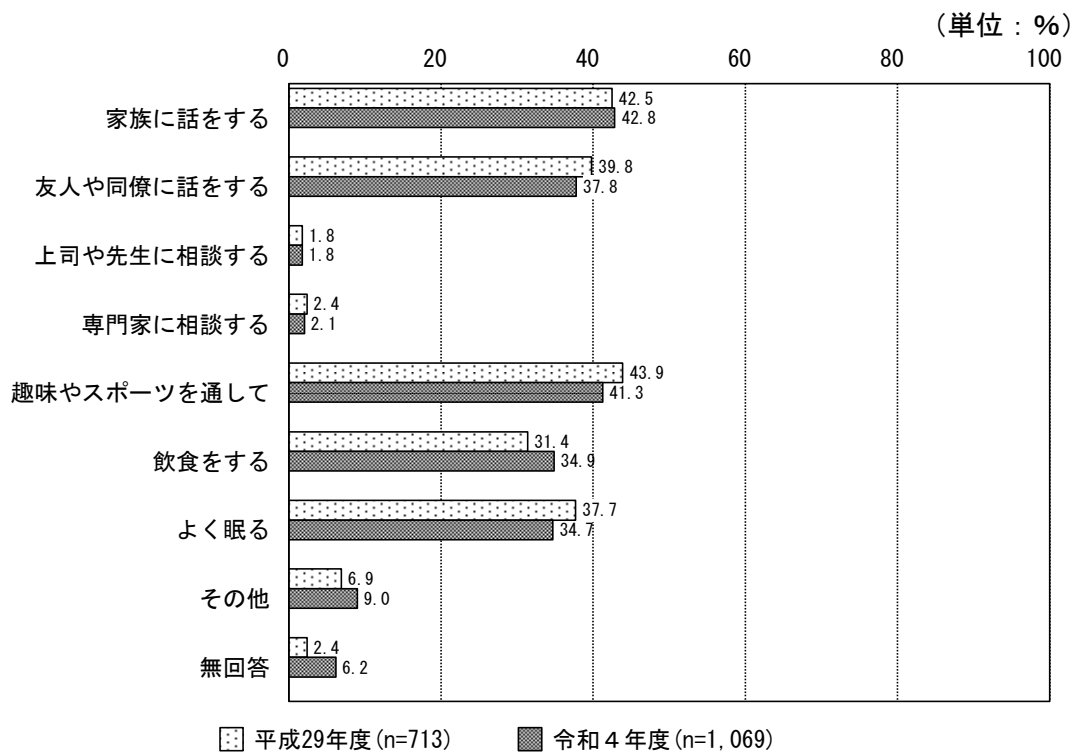
「家族に話をする」が42.8%と最も多く、次いで「趣味やスポーツを通じて」が41.3%、「友人や同僚に話をする」が37.8%、「飲食をする」が34.9%、「よく眠る」が34.7%の順となっています。

経年比較についてみると、前回調査（平成29年度）と大きな差異はみられません。

■ストレス解消の方法（複数回答／全体）



■ストレス解消の方法（複数回答／経年比較）



(6) こころが疲れたときに相談できる専門機関の認知度 (問14)

問14 あなたは、こころが疲れたときに相談できる専門機関を知っていますか。

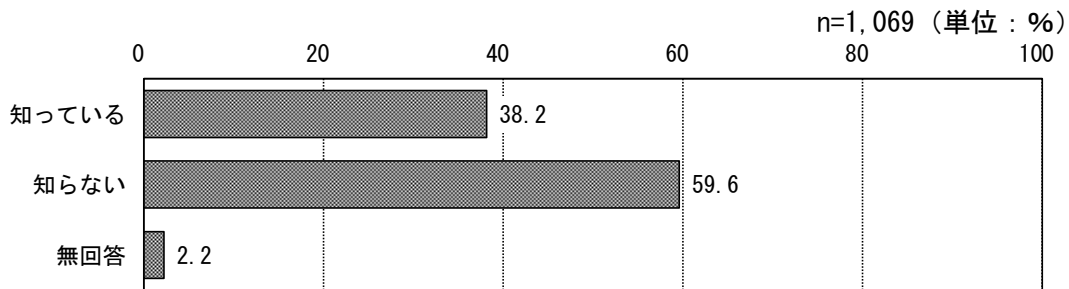
「知っている」が38.2%、「知らない」が59.6%となっています。

前回調査と比較すると、「知っている」が36.0%→38.2%へ2.2ポイント増加しており、「知らない」は62.4%→59.6%へ2.8ポイント減少しています。

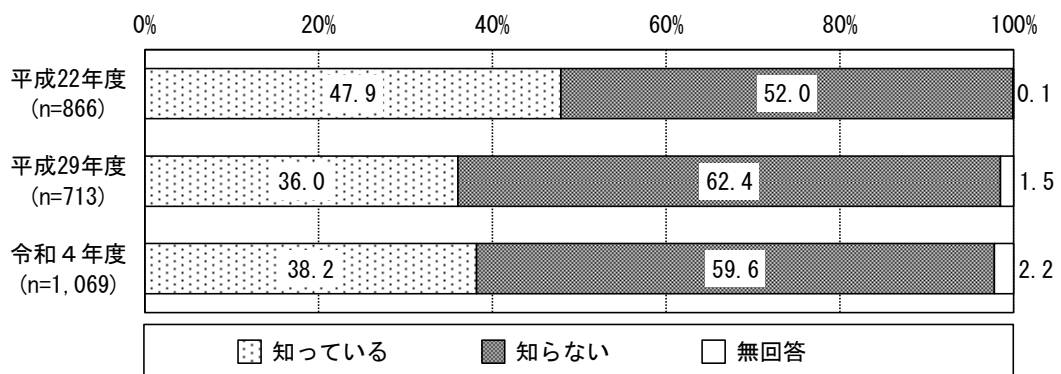
性別にみると、『女性』の認知度が『男性』より高くなっています。

年代別にみると、『40～64歳』で「知っている」が他の年齢層より多くなっています。一方、『65～79歳』『80歳以上』で「知らない」が他の年齢層より多くなっています。

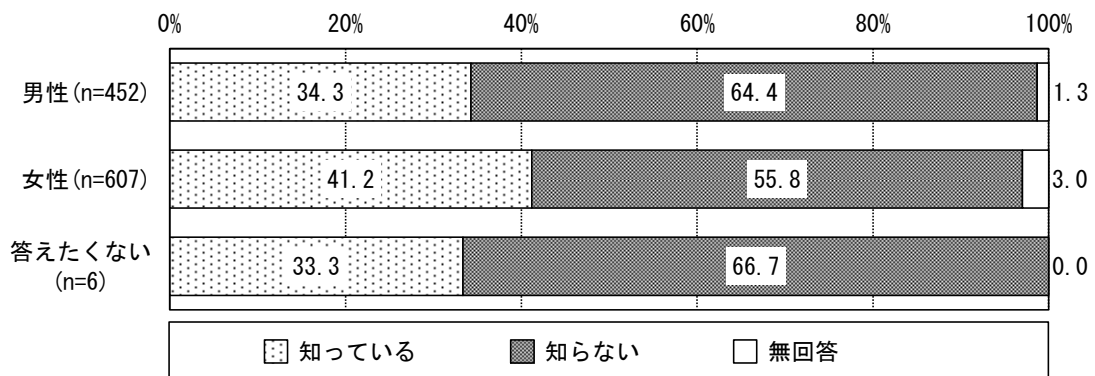
■こころが疲れたときに相談できる専門機関の認知状況 (単数回答/全体)



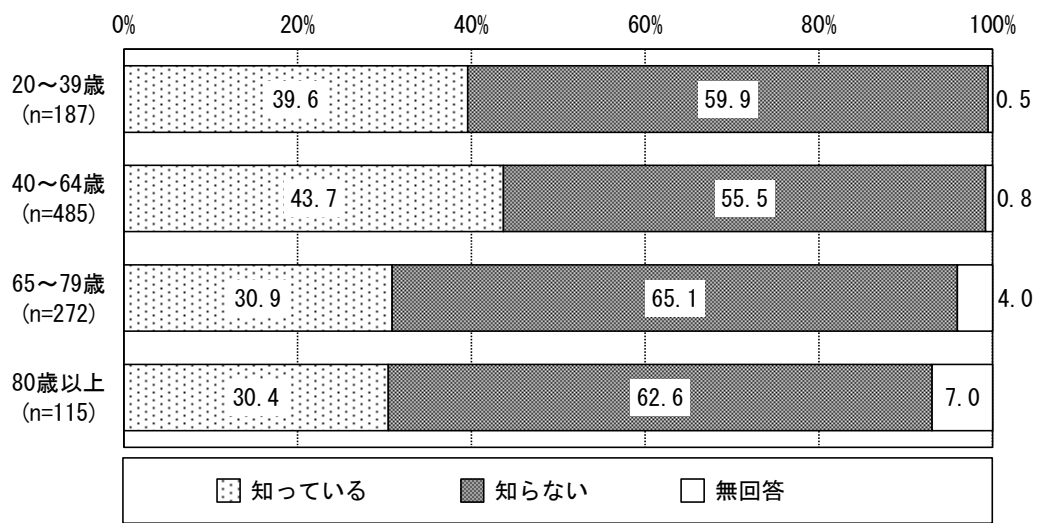
■こころが疲れたときに相談できる専門機関の認知状況 (単数回答/経年比較)



■こころが疲れたときに相談できる専門機関の認知状況 (単数回答/性別)



■ 心身が疲れたときに相談できる専門機関の認知状況（単数回答／年代別）



(7) 知っている専門機関 (問14-2)

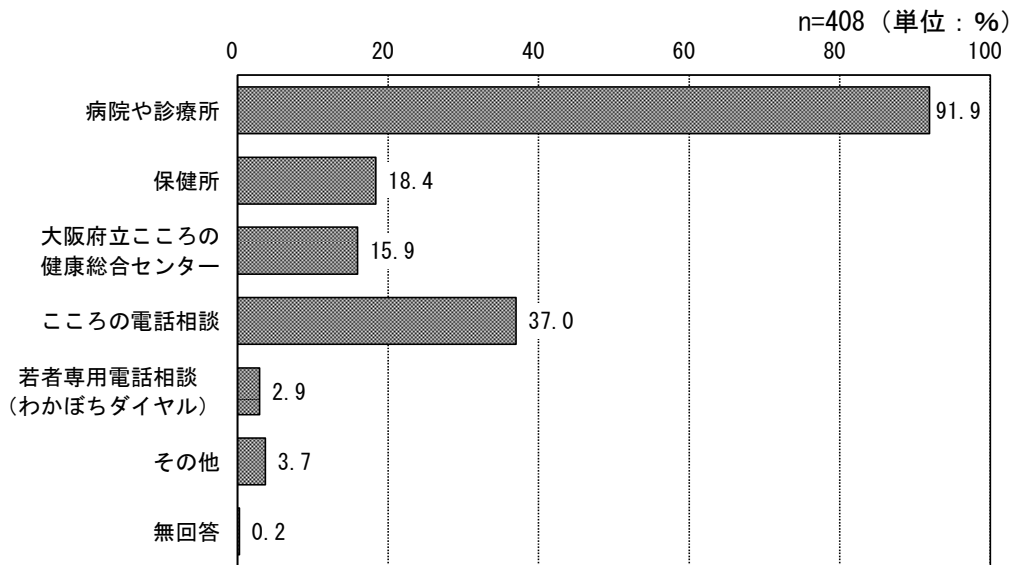
問14で「1. 知っている」を答えられた方におたずねします。

問14-2 知っている専門機関すべてに○をつけて下さい。(○はいくつでも)

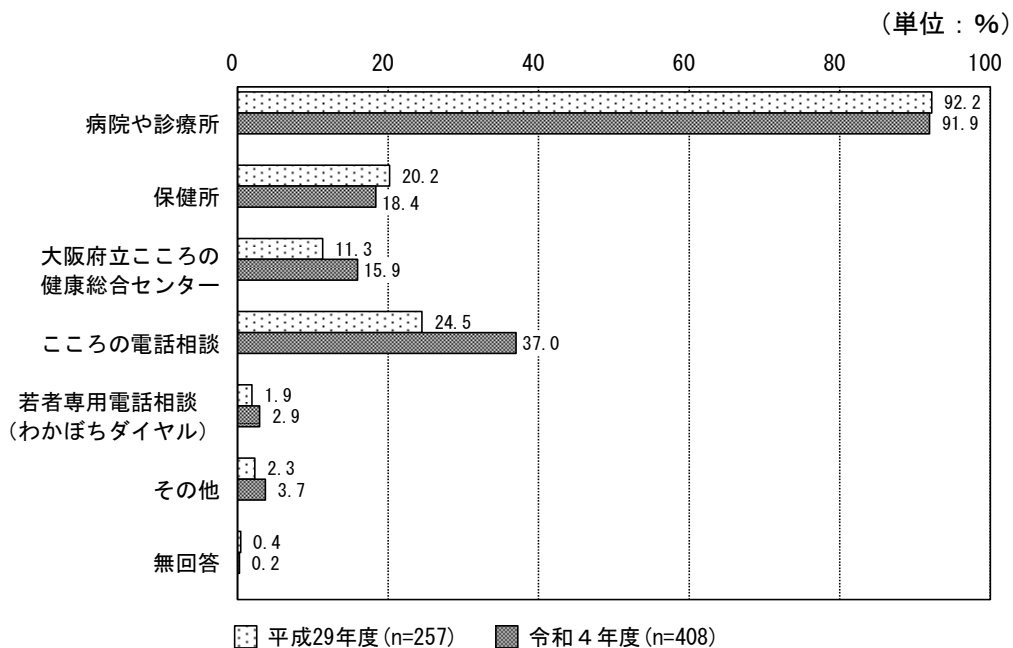
こころが疲れたときに相談できる専門機関を知っている人について、知っている専門機関は「病院や診療所」が91.9%と最も多く、次いで「こころの電話相談」が37.0%、「保健所」が18.4%、「大阪府立こころの健康総合センター」が15.9%の順となっています。

経年比較についてみると、「病院や診療所」は差異がありませんが、「大阪府立こころの健康総合センター」は11.3%→15.9%へと4.6ポイント、「こころの電話相談」は24.5%→37.0%へと12.5ポイント増加しています。

■知っている専門機関 (複数回答/全体)



■知っている専門機関 (複数回答/経年比較)



(8) 喫煙の有無 (問15)

問15 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

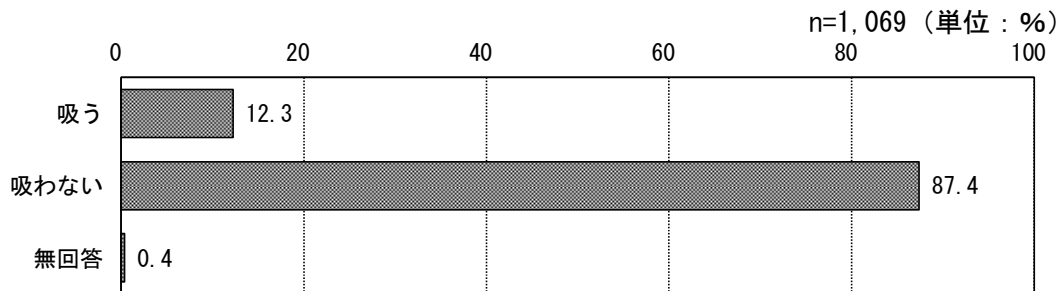
「吸う」が12.3%、「吸わない」が87.4%となっています。

前回調査と比較すると、「吸う」は0.7ポイント、「吸わない」は0.6ポイント増加しています。

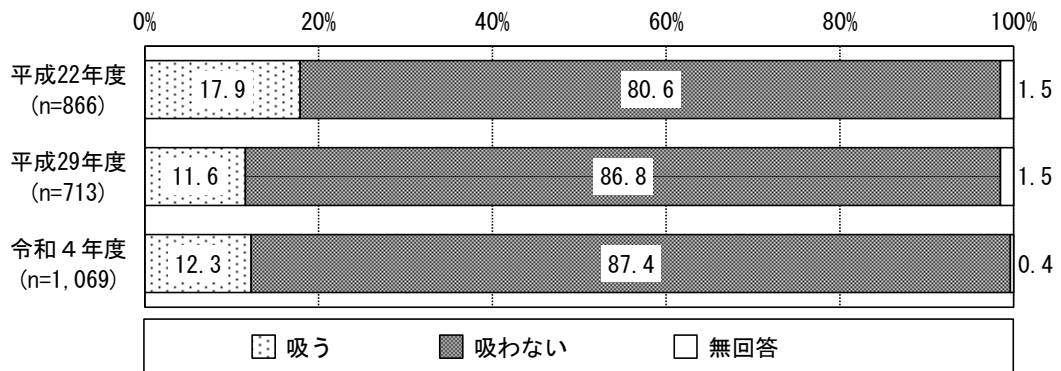
性別にみると、「吸う」は『男性』が19.9%、『女性』が6.6%となっています。

年代別にみると、「吸う」は『40～64歳』が15.5%で最も多くなっています。

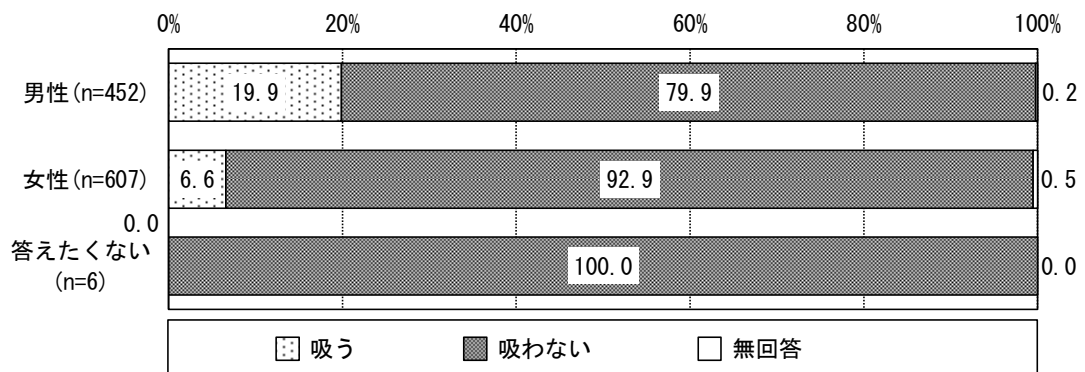
■ 喫煙状況 (単数回答 / 全体)



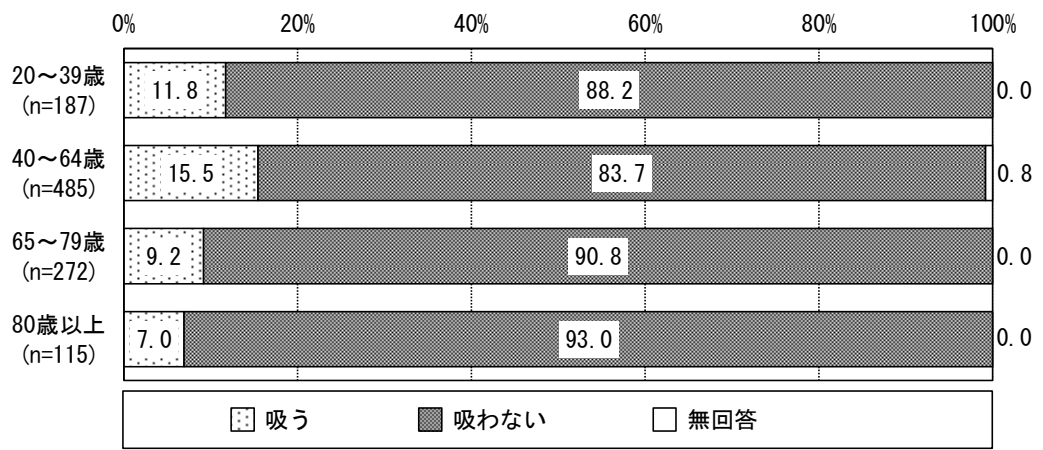
■ 喫煙状況 (単数回答 / 経年比較)



■ 喫煙状況 (単数回答 / 性別)



■喫煙状況（単数回答／年代別）



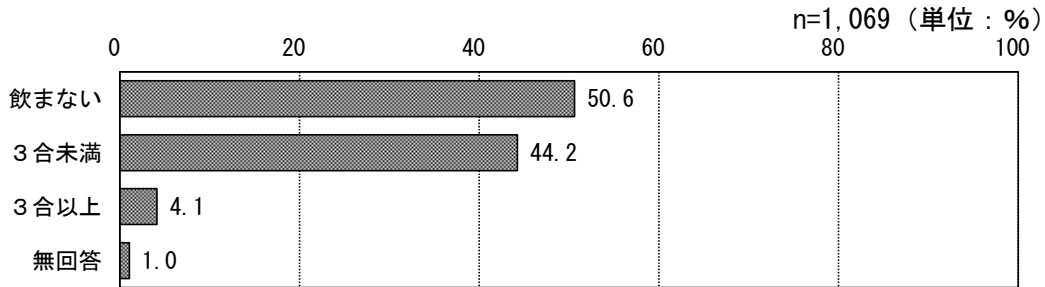
(9) 飲酒の有無 (問16)

問16 あなたは、お酒を飲みますか。また1回に飲む量はどの程度ですか。
(○は1つだけ)

※ビール中1本、焼酎0.4合、ウイスキーブランデーダブル1杯、ワイングラス1.5杯を日本酒1合とします。

「飲まない」が50.6%、「3合未満」が44.2%、「3合以上」が4.1%となっています。

■ 飲酒状況 (単数回答/全体)

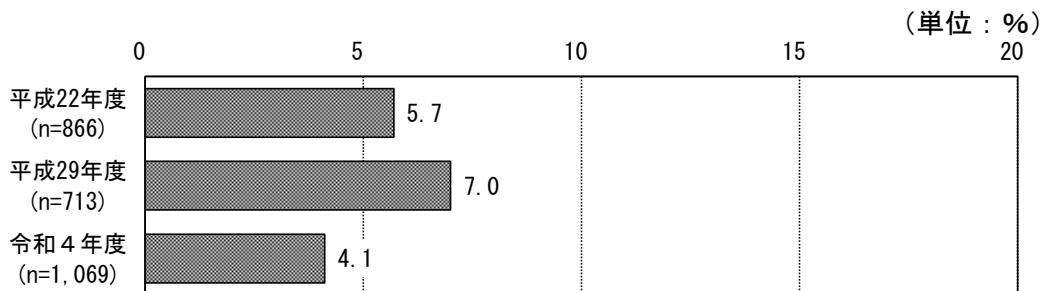


「3合以上」の飲酒について経年比較をみると、今回調査は4.1%であり、前回調査より2.9ポイント減少しています。

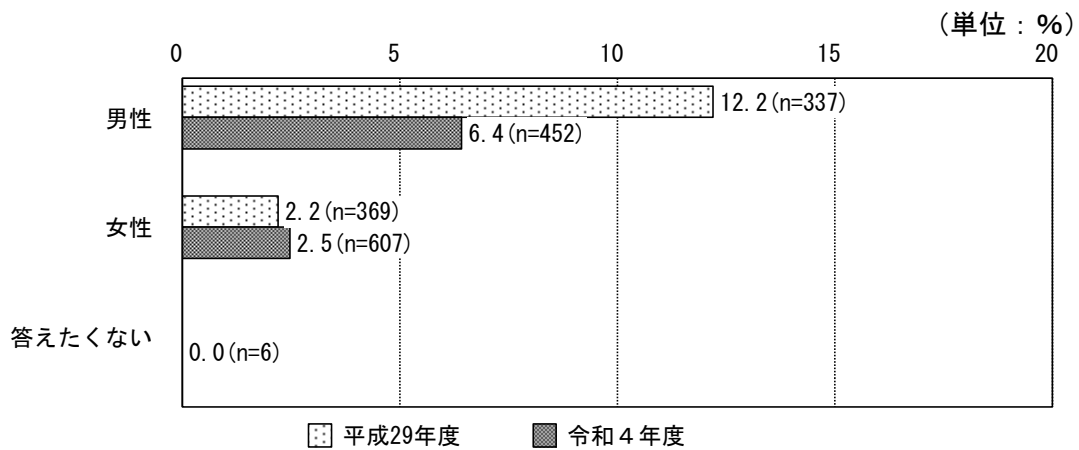
性別にみると、『男性』は12.2%→6.4%へ5.8ポイント減少していますが、『女性』は2.2%→2.5%へ0.3ポイント増加しています。

年代別にみると、『20～39歳』は13.8%→5.3%、『40～64歳』は8.5%→5.6%、『65～79歳』は4.3%→2.2%、『80歳以上』は1.2%→0.9%へ各年代で減少しています。

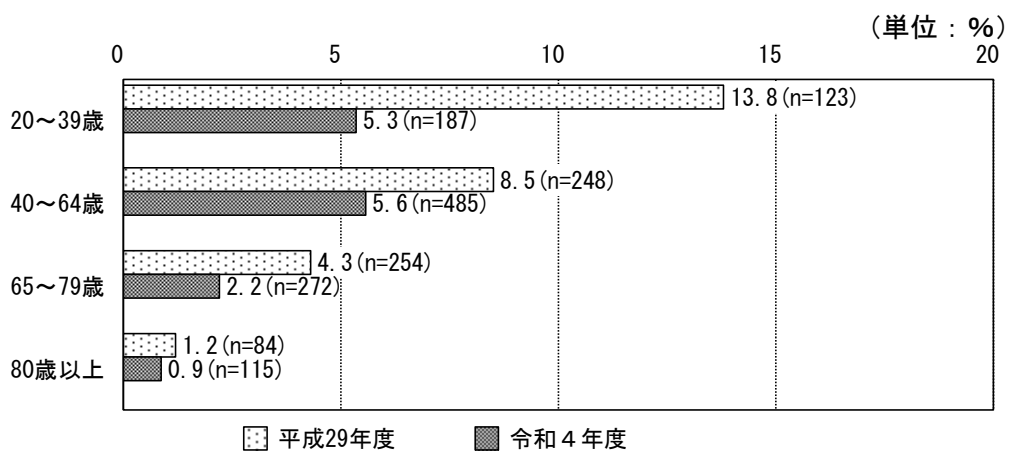
■ 3合以上の飲酒 (単数回答/経年比較)



■ 3合以上の飲酒（単数回答／性別）



■ 3合以上の飲酒（単数回答／年代別）



(10) 過去1年間の健康診査等を受診の有無（問17）

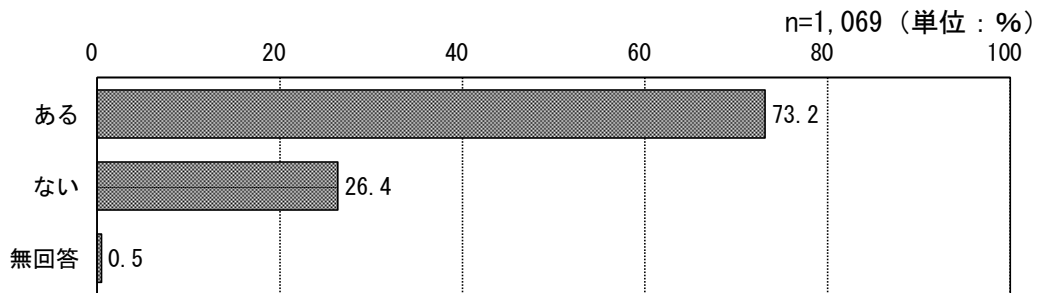
問17 あなたは、過去1年間に健康診査（がん検診を含む）や人間ドックを受けたことがありますか。（○は1つだけ）

「ある」が73.2%、「ない」が26.4%となっています。

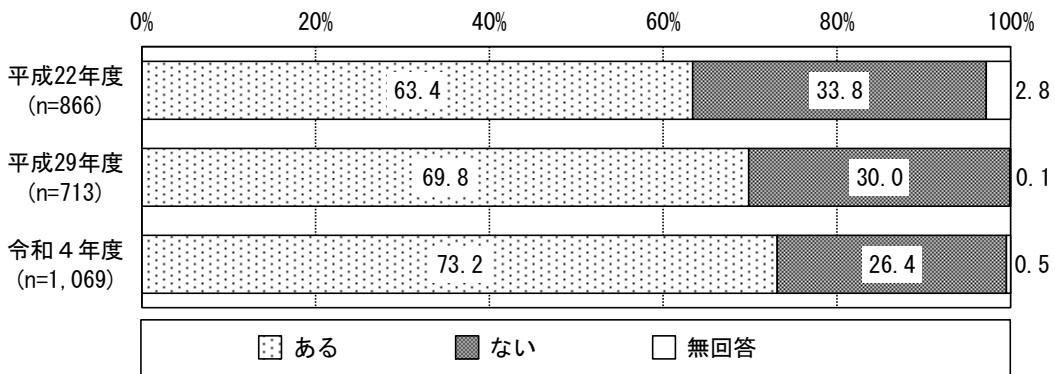
経年比較についてみると、「ある」は63.4%（平成22年度）→69.8%（平成29年度）→73.2%（令和4年度）と増加傾向にあります。

年代別にみると、「ある」は『40～64歳』が78.8%、『65～79歳』が72.4%、『80歳以上』が69.6%、『20～39歳』が63.6%の順となっています。

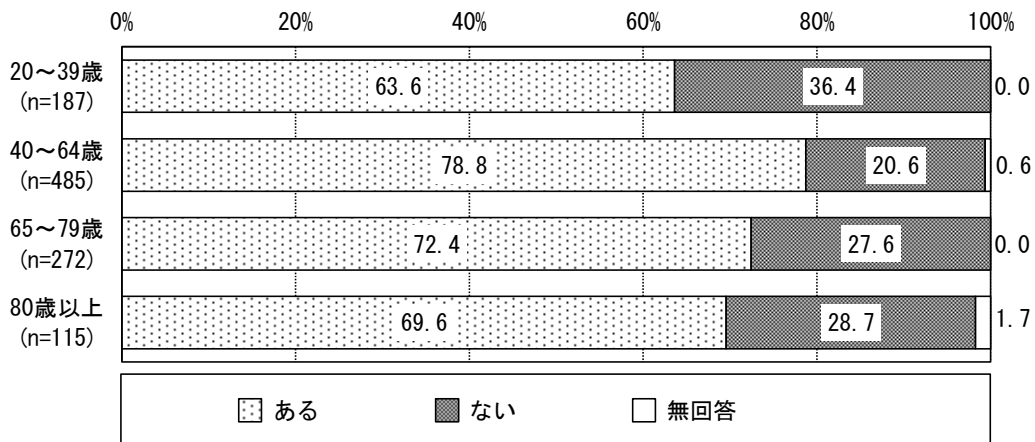
■過去1年間の健康診査や人間ドックの受診状況（単数回答／全体）



■過去1年間の健康診査や人間ドックの受診状況（単数回答／経年比較）



■過去1年間の健康診査や人間ドックの受診状況（単数回答／年代別）



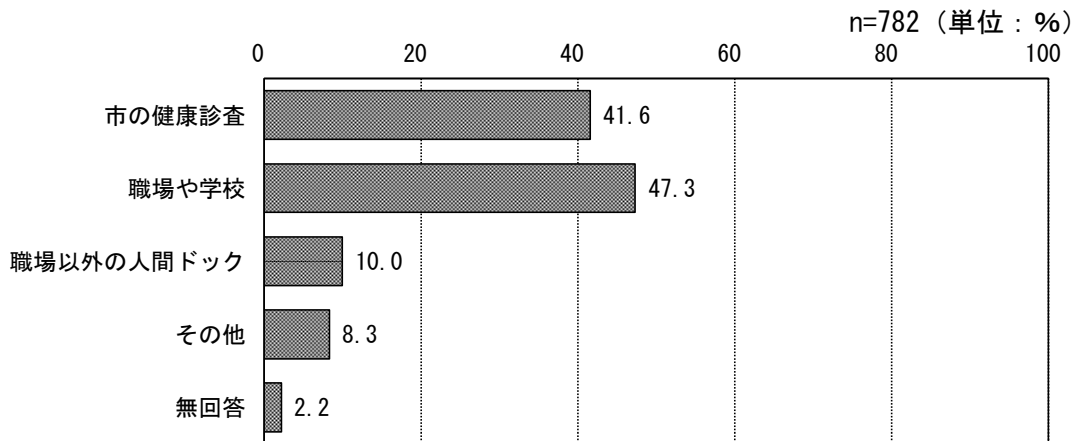
(11) 健康診査等を受けた場所（問17-2）

問17で「1. ある」を答えられた方におたずねします。
問17-2 どこで受けましたか。（〇はいくつでも）

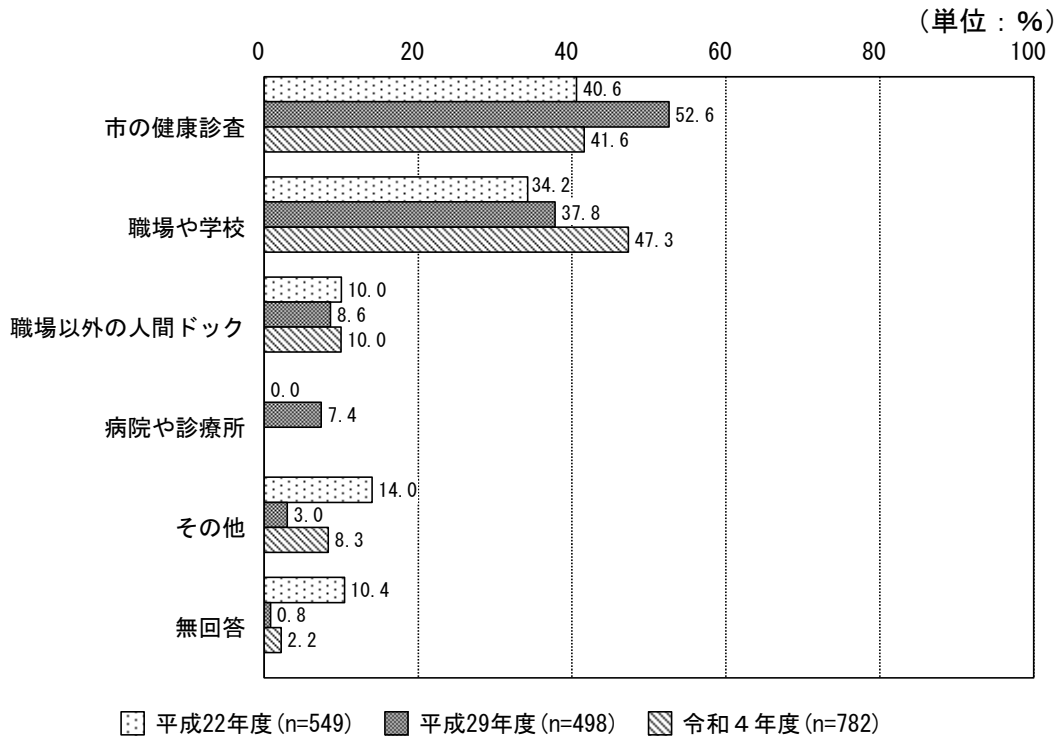
過去1年間に健康診査や人間ドックを受けたことがある人について、受けた場所は「職場や学校」が47.3%と最も多く、次いで、「市の健康診査」が41.6%となっています。

経年比較についてみると、「市の健康診査」は52.6%（平成29年度）→41.6%（令和4年度）と減少していますが、「職場や学校」は34.2%（平成22年度）→37.8%（平成29年度）→47.8%（令和4年度）と増加傾向となっています。

■健康診査や人間ドックを受けた場所（複数回答／全体）



■健康診査や人間ドックを受けた場所（複数回答／経年比較）



(12) 受診した項目 (問17-3)

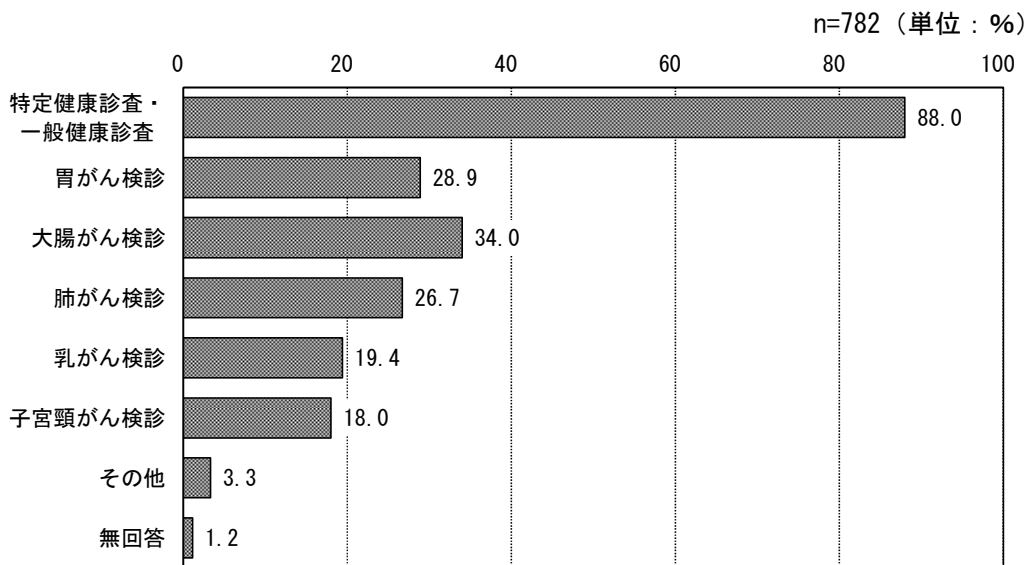
問17-3 何を受けましたか。(〇はいくつでも)

過去1年間で健康診査や人間ドックを受けたことがある人について、受けた健康診査の種類は「特定健康診査・一般健康診査」が88.0%と最も多く、次いで「大腸がん検診」が34.0%、「胃がん検診」が28.9%、「肺がん検診」が26.7%の順となっています。

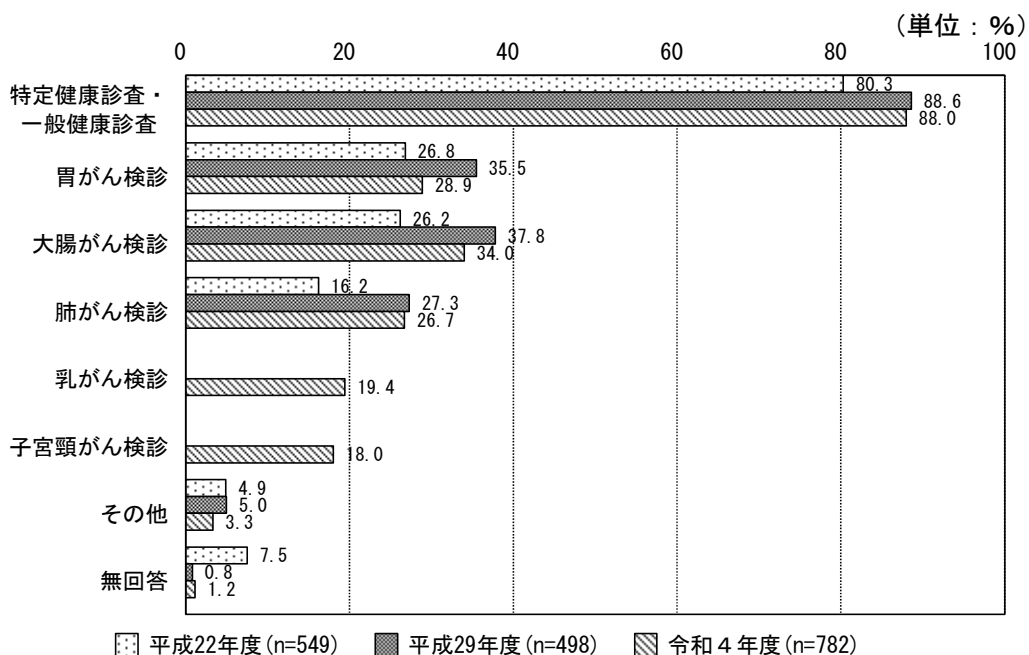
前回調査と比較すると、「特定健康診査・一般健康診査」「胃がん検診」「大腸がん検診」「肺がん検診」とも減少しています。

また、過去1年間で健康診査や人間ドックを受けたことがある女性について、「乳がん検診」は35.1% (前回比-4.1%)、「子宮頸がん検診」が32.6% (前回比-2.4%) となっています。

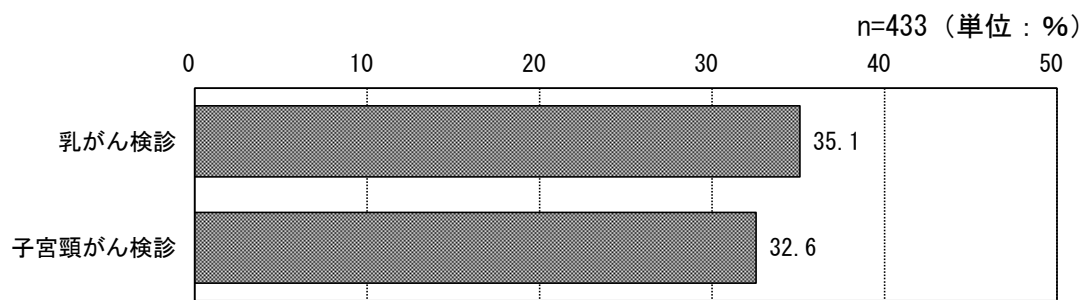
■ 受けた健康診査の種類 (複数回答/全体)



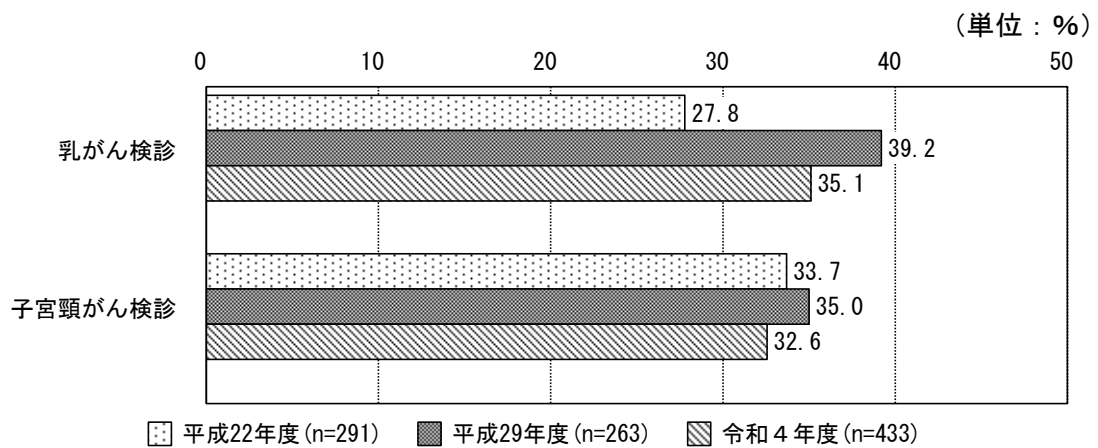
■ 受けた健康診査の種類 (複数回答/経年比較)



■ 乳がん・子宮がん検診の受診率（複数回答／女性のみ）



■ 乳がん・子宮がん検診の受診率（複数回答／女性のみ／経年比較）



(13) 健康診査等を受診していない理由（問17-4）

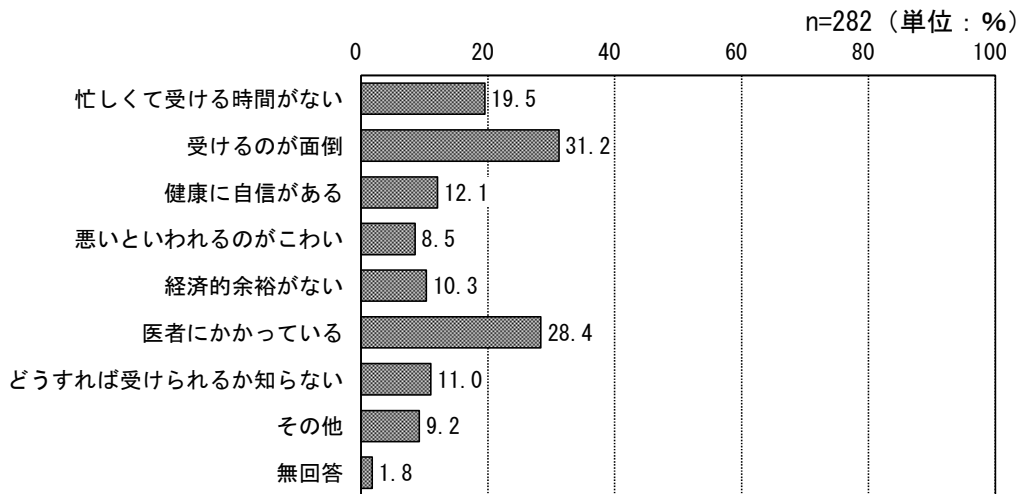
問17で「2. ない」を答えられた方におたずねします。

問17-4 受けていない理由を選んでください。（〇はいくつでも）

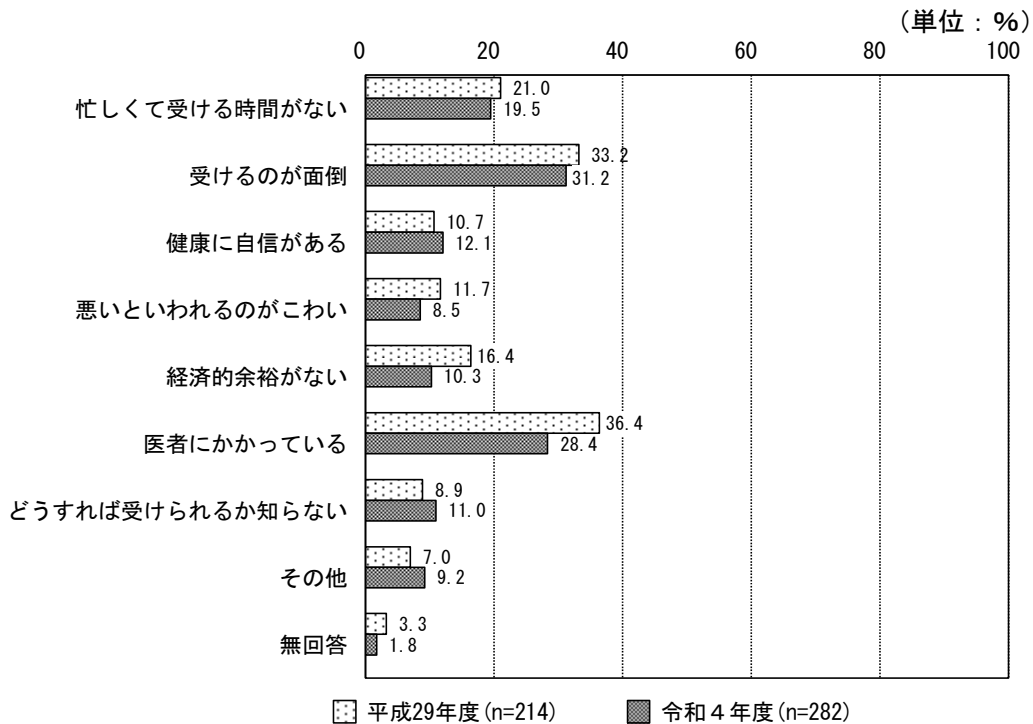
過去1年間で健康診査や人間ドックを受けていない人について、受けていない理由は「受けるのが面倒」が31.2%と最も多く、次いで「医者にかかっている」が28.4%、「忙しくて受ける時間がない」が19.5%の順となっています。

経年比較についてみると、「医者にかかっている」は36.4%→28.4%へ8.0ポイント減少しています。

■過去1年間で健康診査などを受けていない理由（複数回答／全体）



■過去1年間で健康診査などを受けていない理由（複数回答／経年比較）



(14) 自分の歯の本数 (問18)

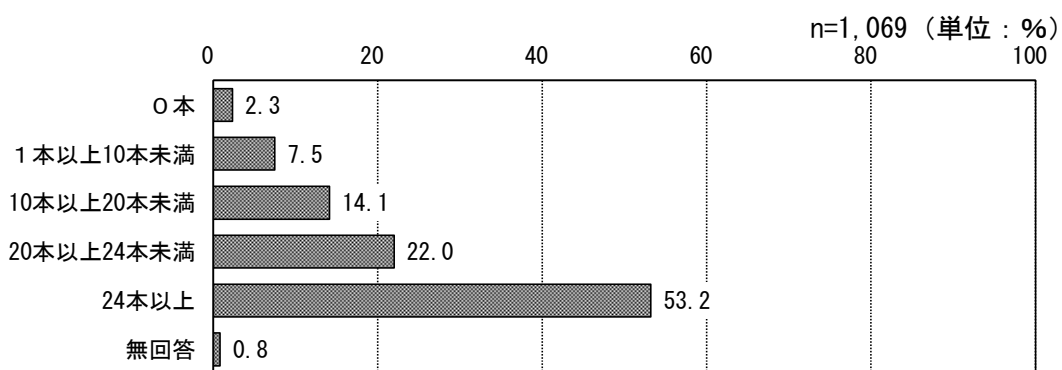
問18 あなたの歯についておたずねします。現在、自分の歯は何本ありますか。
(〇は1つだけ)

「24本以上」が53.2%と最も多く、次いで「20本以上24本未満」が22.0%、「10本以上20本未満」が14.1%、「1本以上10本未満」が7.5%、「0本」が2.3%となっています。

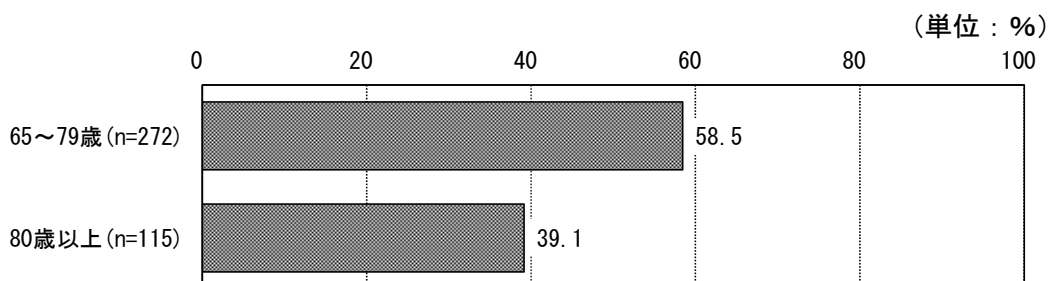
「20本以上の歯を有する人」は、「65～79歳」が58.5%、「80歳以上」が39.1%となっています。

「65歳以上で20本以上の歯を有する人」を経年比較すると、37.8% (平成22年度) → 51.5% (平成29年度) → 52.7% (令和4年度) と増加傾向にあります。

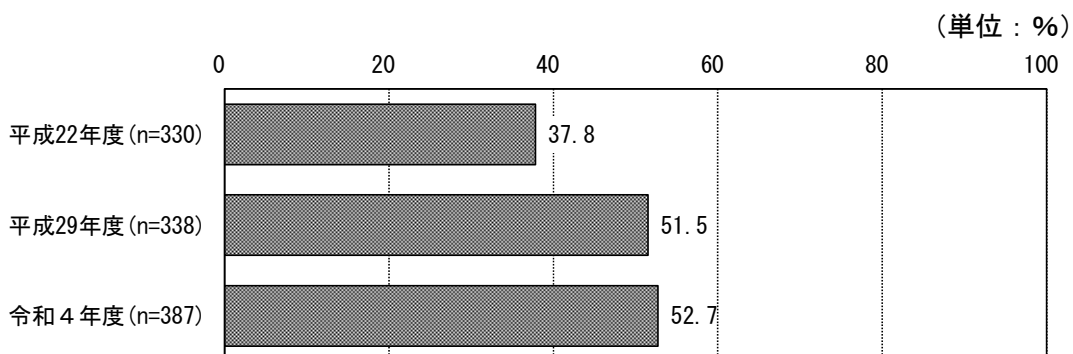
■ 歯の本数 (単数回答/全体)



■ 20本以上の歯を有する人 (単数回答/年代別)



■ 65歳以上で20本以上の歯を有する人 (単数回答/年代別)



(15) 定期的な歯科検診の受診の有無 (問19)

問19 定期的に歯科検診を受けていますか。(○は1つだけ)

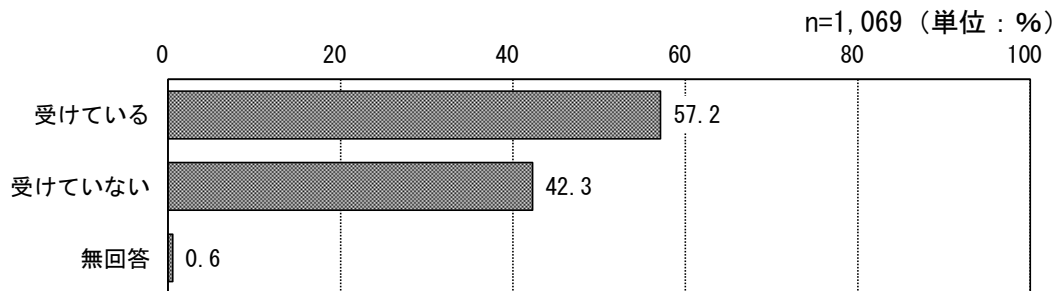
「受けている」が57.2%、「受けていない」が42.3%となっています。

前回調査と比較すると、「受けている」は35.6% (平成22年度) →55.8% (平成29年度) →57.2% (令和4年度) と増加傾向にあります。

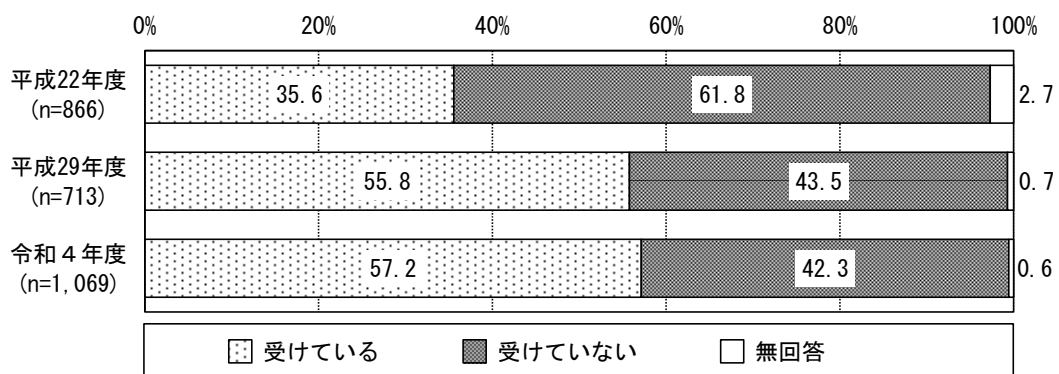
性別にみると、「受けている」は『女性』が59.5%、『男性』が54.0%であり、『女性』が『男性』より5.5ポイント多くなっています。

年代別にみると、年代が高くなるほど「受けている」が多くなっています。

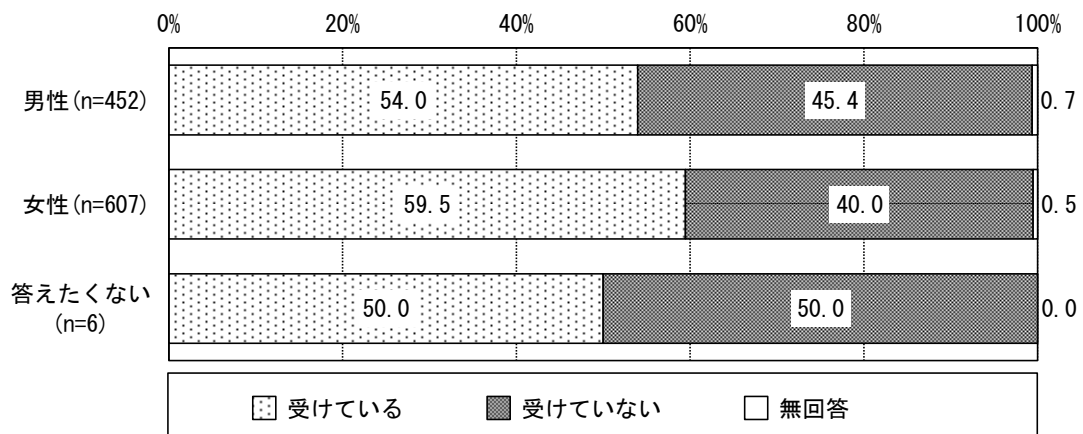
■ 定期的な歯科検診の受診状況 (単数回答/全体)



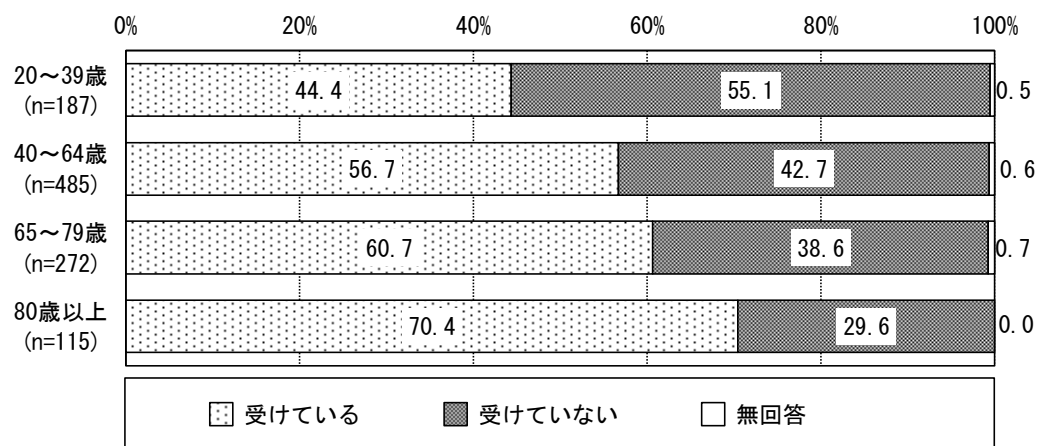
■ 定期的な歯科検診の受診状況 (単数回答/経年比較)



■ 定期的な歯科検診の受診状況 (単数回答/性別)



■ 定期的な歯科検診の受診状況（単数回答／年代別）



(16) 歯科検診を受診した場所（問19-2）

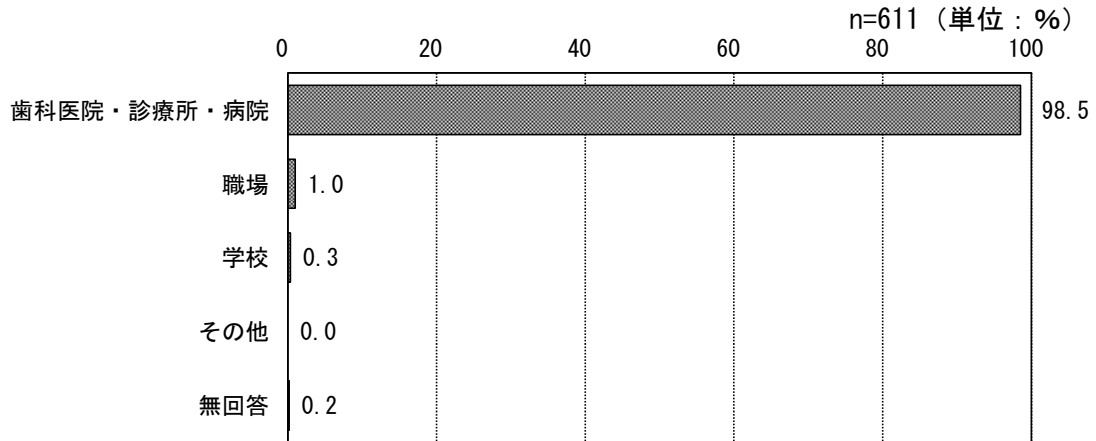
問19で「1. 受けている」を答えられた方におたずねします。

問19-2 どこで受けていますか。（○は1つだけ）

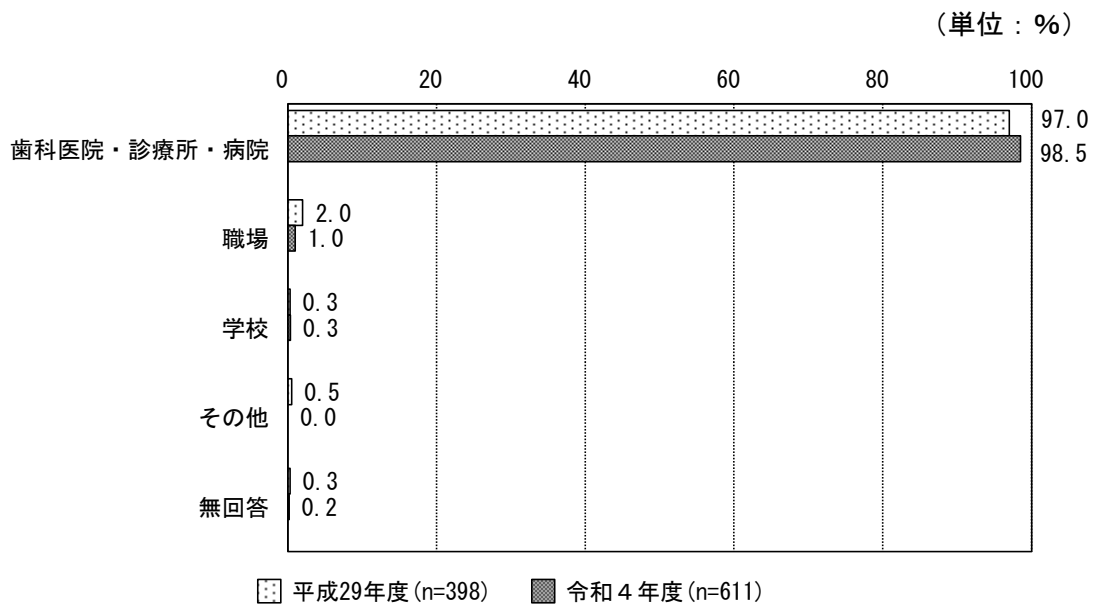
定期的に歯科検診を受けている人について、歯科検診を受けている場所は「歯科医院・診療所・病院」が98.5%と最も多く、次いで「職場」が1.0%、「学校」が0.3%の順となっています。

経年比較をみても、大きな差異はありません。

■ 歯科検診を受けている場所（単数回答／全体）



■ 歯科検診を受けている場所（単数回答／経年比較）



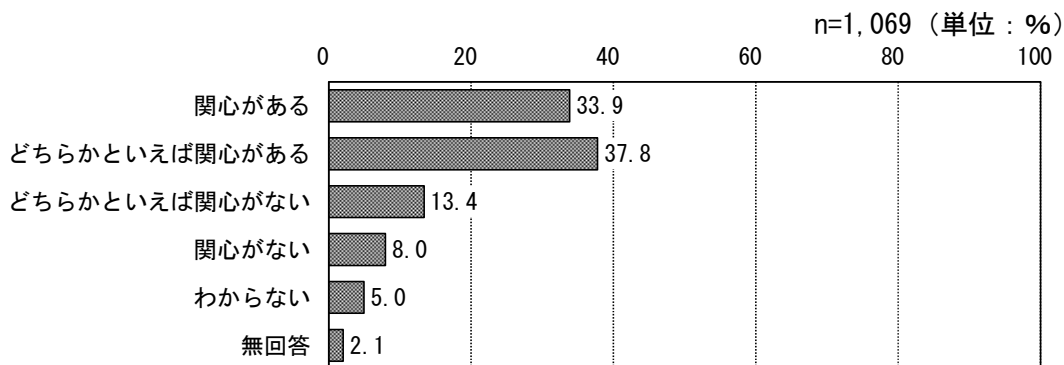
(17)「食育」への関心の有無（問20）

問20 あなたは「食育」に関心がありますか。（○は1つだけ）

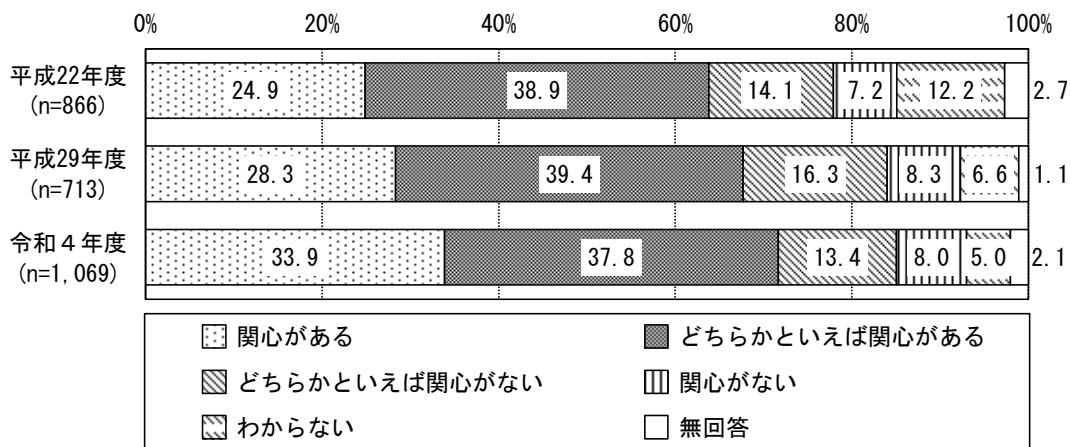
「どちらかといえば関心がある」が37.8%と最も多く、次いで「関心がある」が33.9%、「どちらかといえば関心がない」が13.4%の順となっています。

経年比較についてみると、「関心がある」は24.9%（平成22年度）→28.3%（平成29年度）→33.9%（令和4年度）と増加傾向にあります。

■「食育」への関心（単数回答／全体）



■「食育」への関心（単数回答／経年比較）



(18) 朝食を食べる習慣の有無 (問21)

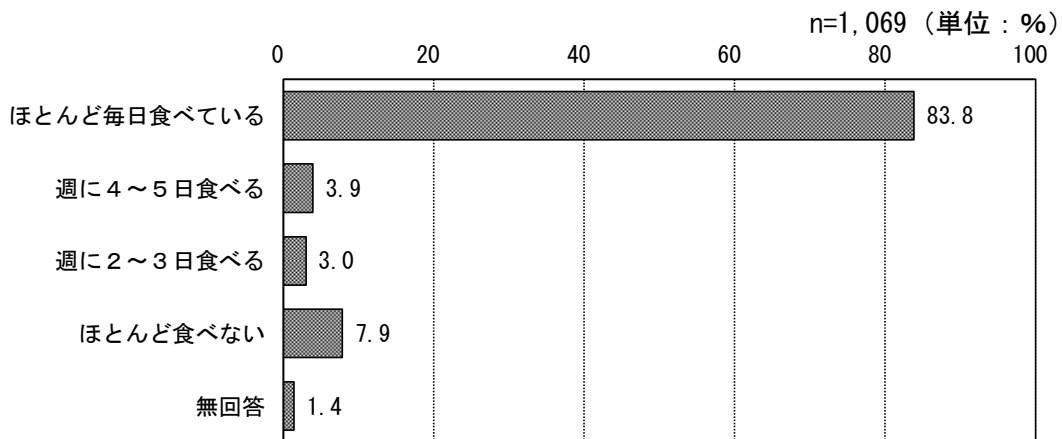
問21 あなたは朝食を食べますか。(○は1つだけ)

「ほとんど毎日食べている」が83.8%と最も多く、次いで「ほとんど食べない」が7.9%、「週に4～5日食べる」が3.9%、「週に2～3日食べる」が3.0%となっています。

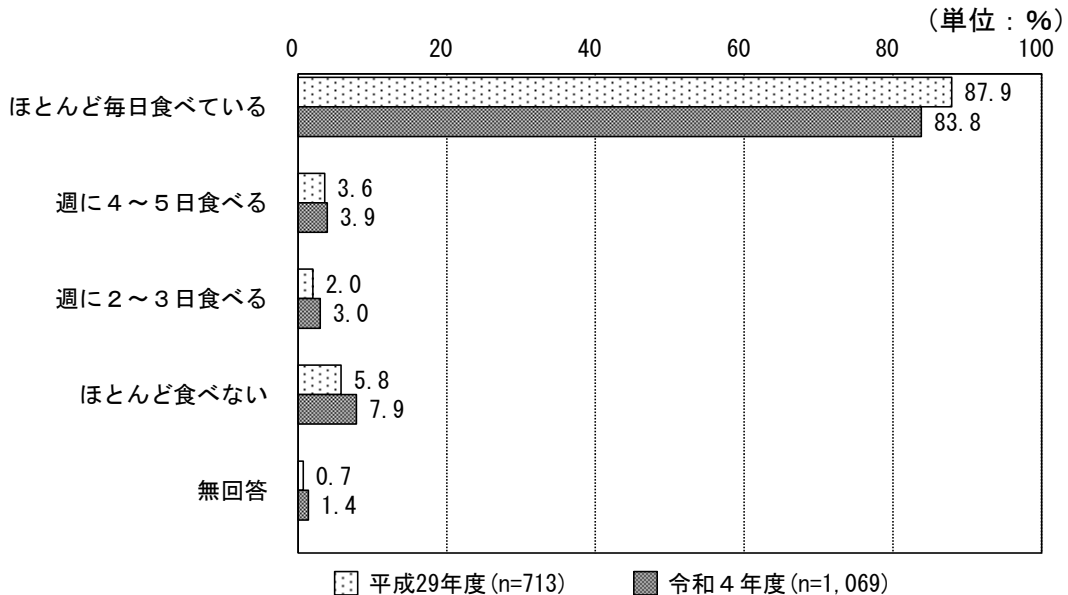
経年比較についてみると、「ほとんど毎日食べている」は87.9%→83.8%に減少しており、「ほとんど食べない」は5.8%→7.9%へと増加しています。

年代別にみると、「ほとんど毎日食べている」は年齢が高いほど多くなっています。一方、「週に2～3日食べる」「ほとんど食べない」は年齢が若いほど多くなっています。

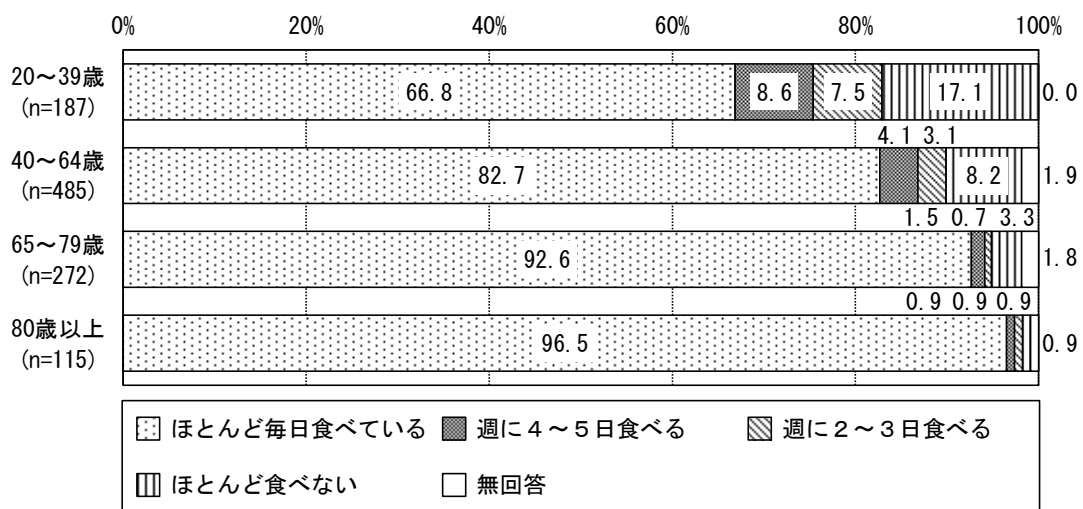
■朝食の摂取状況 (単数回答/全体)



■朝食の摂取状況 (単数回答/経年比較)



■朝食の摂取状況（単数回答／年代別）



(19) 朝食を食べない日がある理由 (問22)

問21で「2. 週に4～5日食べる」「3. 週に2～3日食べる」「4. ほとんど食べない」を答えられた方におたずねします。

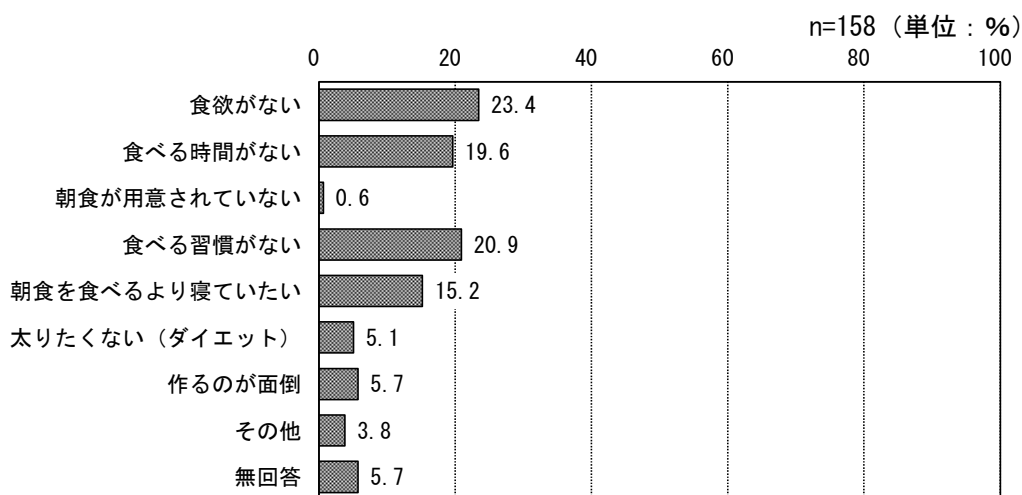
問22 朝食を食べない日がある理由は何ですか。

(最も大きな理由となるもの1つに○)

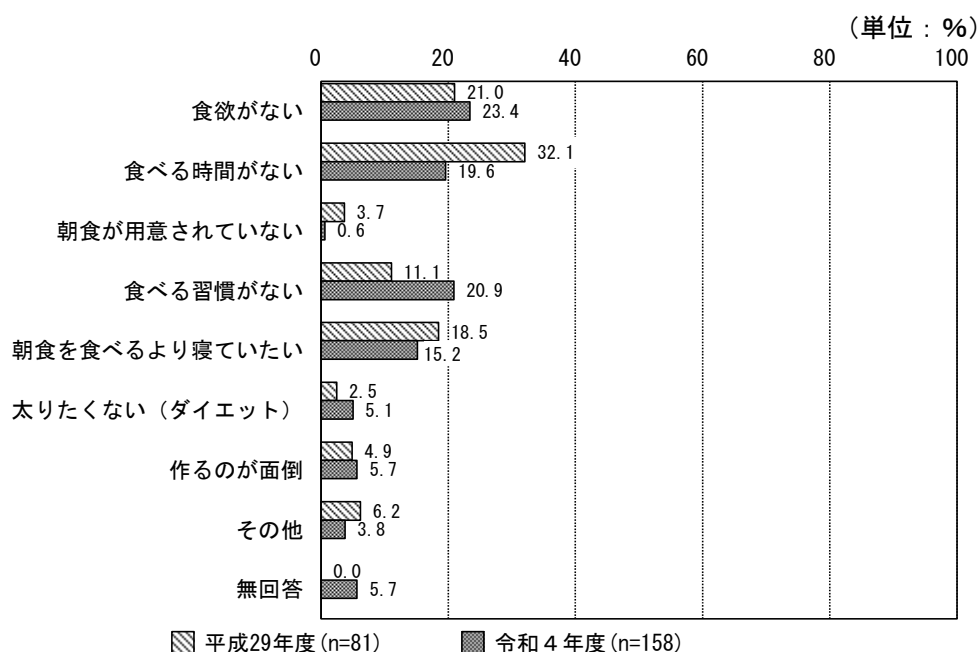
朝食を食べない日がある人について、その理由は「食欲がない」が23.4%と最も多く、次いで「食べる習慣がない」が20.9%、「食べる時間がない」が19.6%、「朝食を食べるより寝ていたい」が15.2%の順となっています。

経年比較についてみると、「食べる時間がない」は32.1% (平成29年度) → 19.6% (令和4年度) に減少していますが、「食べる習慣がない」は11.1% (平成29年度) → 20.9% (令和4年度) へと増加しています。

■ 朝食を食べない日がある理由 (単数回答 / 全体)



■ 朝食を食べない日がある理由 (単数回答 / 経年比較)



(20) 食事をする相手 (問23)

問23 あなたはふだんどのように食事をしていますか。

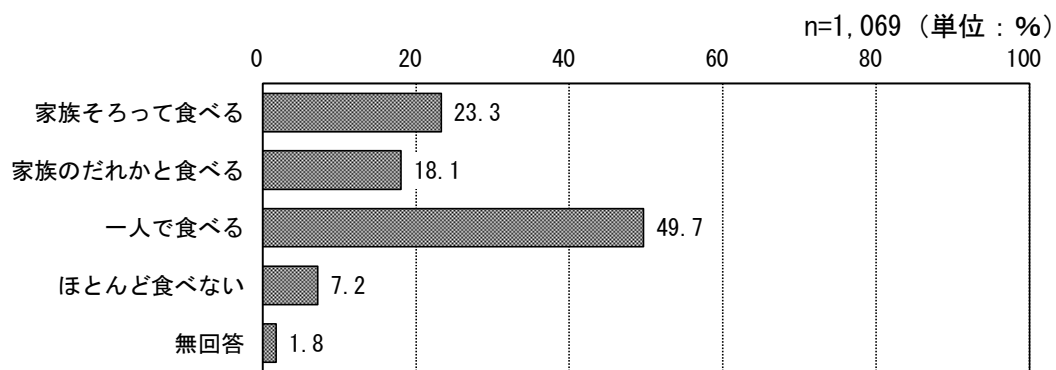
(①「朝食」、②「夕食」それぞれ○は1つだけ)

朝食について、「一人で食べる」が49.7%と最も多く、次いで「家族そろって食べる」が23.3%、「家族のだれかと食べる」が18.1%となっています。

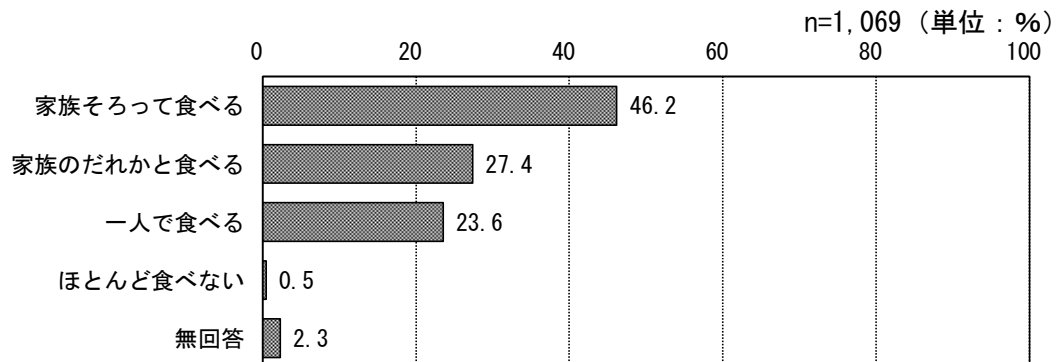
夕食について、「家族そろって食べる」が46.2%と最も多く、次いで「家族のだれかと食べる」が27.4%、「一人で食べる」が23.6%となっています。

経年比較についてみると、朝食は少人数で食べる傾向がみられます。夕食は家族そろって食べる傾向があり、大きな差異はみられません。

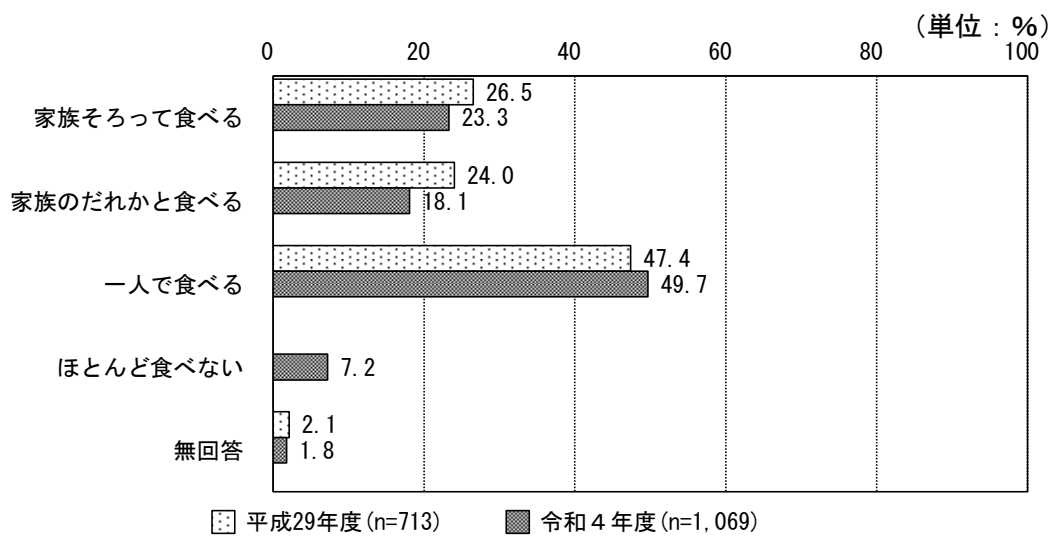
■食事の人数 ①朝食 (単数回答/全体)



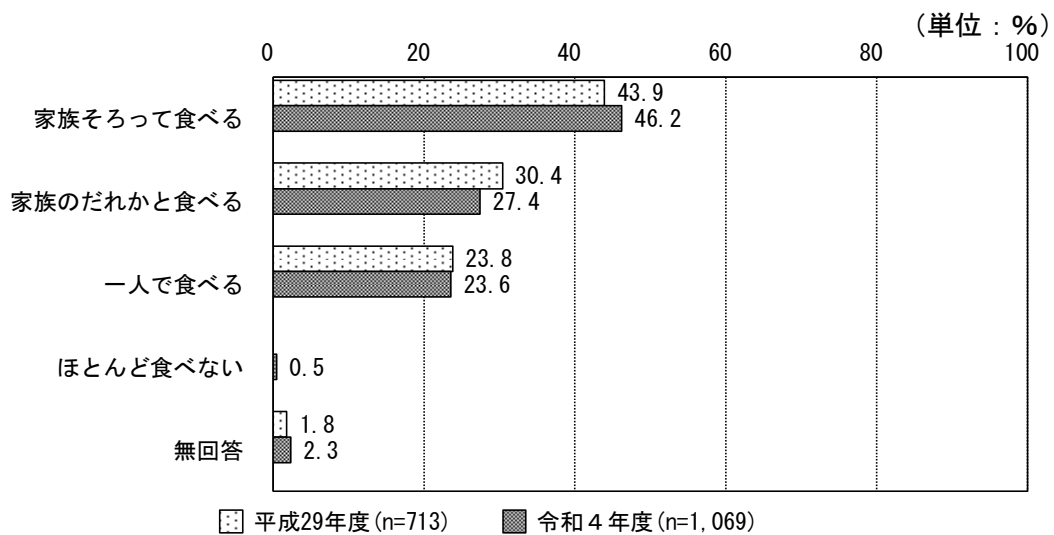
■食事の人数 ②夕食 (単数回答/全体)



■ 食事の人数 ①朝食（単数回答／経年比較）



■ 食事の人数 ②夕食（単数回答／経年比較）

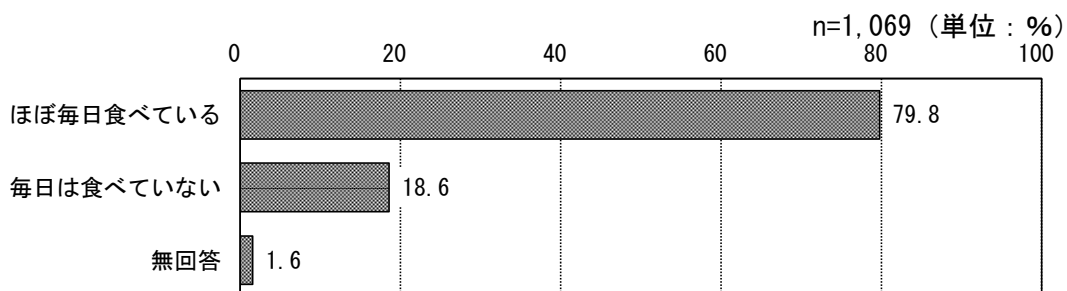


(21) 主食、主菜、副菜を組み合わせた食事の回数（問24）

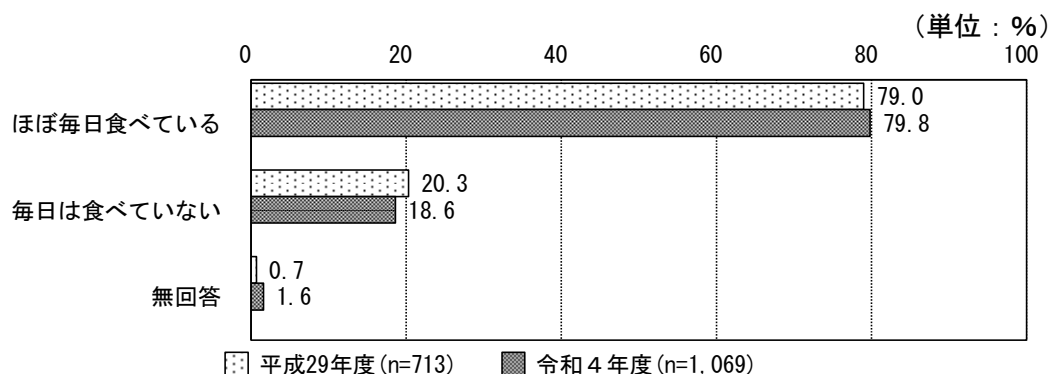
問24 主食（ごはん・パンなど）、主菜（魚・肉・卵・豆類など）、副菜（野菜など）を組み合わせた食事を1日2回以上食べていますか。（○は1つだけ）

「ほぼ毎日食べている」が79.8%、「毎日食べていない」が18.6%となっています。経年比較についても、前回調査から大きな変化はみられません。年代別にみると、「ほぼ毎日食べている」は年齢層が高くなるほど多くなっています。

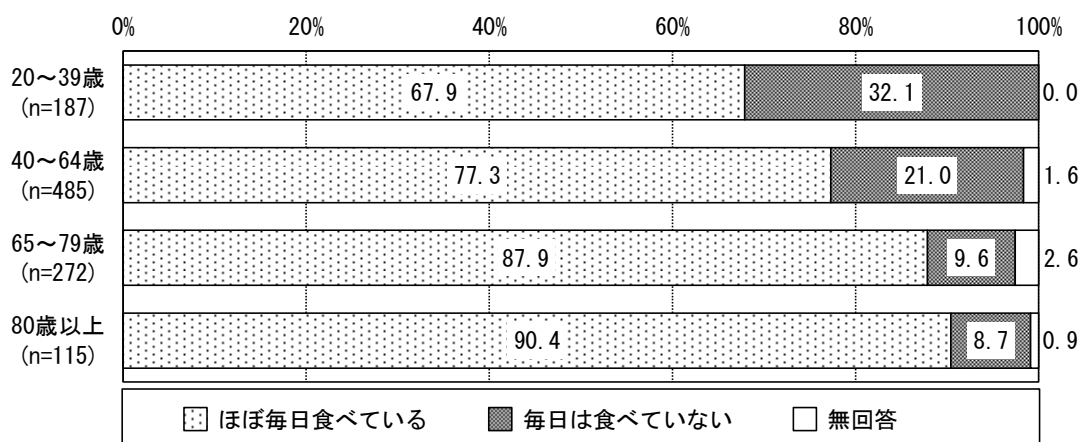
■主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べているか（単数回答／全体）



■主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べているか（単数回答／経年比較）



■主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べているか（単数回答／年代別）

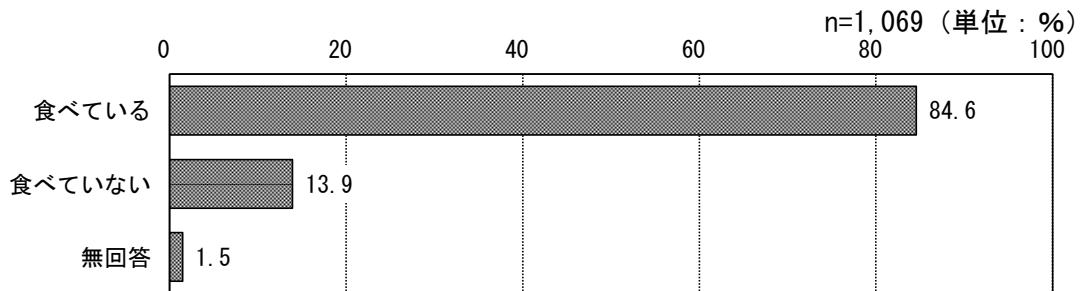


(22) 行事食を食べる習慣の有無 (問25)

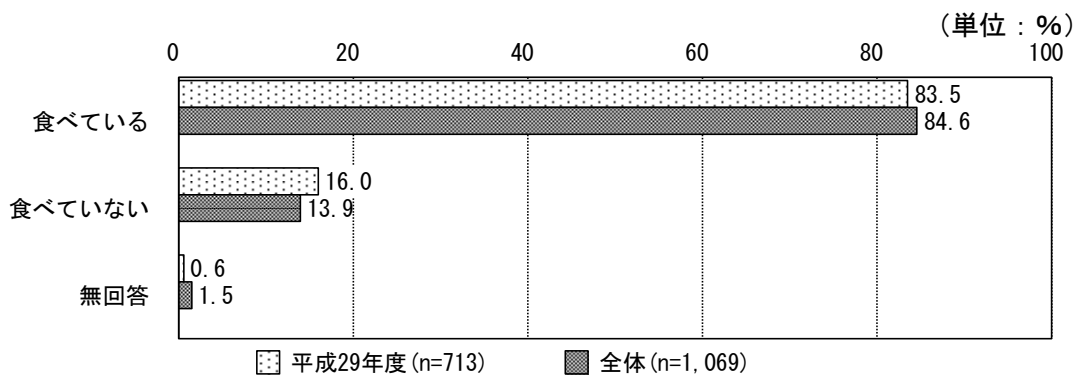
問25 お正月、節分、ひな祭り、端午の節句などの行事の時に行事食を食べていますか。
(○は1つだけ)

「食べている」が84.6%、「食べていない」が13.9%となっています。
経年比較についてみると、前回調査から大きな変化はありません。

■ 行事食を食べているか (単数回答/全体)



■ 行事食を食べているか (単数回答/経年比較)



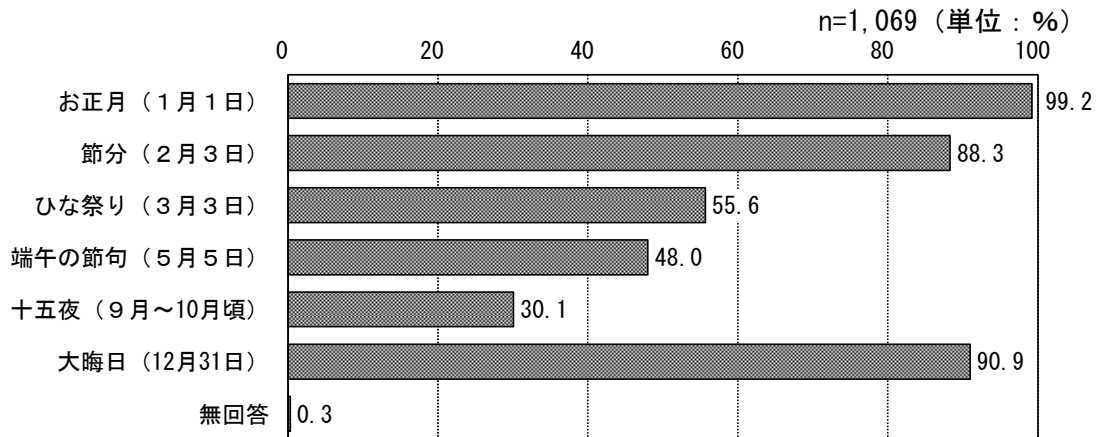
(23) 食べている行事食 (問25-2)

問25で「1. 食べている」を答えられた方におたずねします。

問25-2 どの季節の行事で食べていますか。(1~6に○はいくつでも)

「お正月 (1月1日)」が99.2%、「大晦日 (12月31日)」が90.9%、「節分 (2月3日)」が88.3%の順となっています。

■どの季節の行事で食べているか (複数回答/全体)



2-5. 読書習慣・図書館利用について

(1) 最近2年以内の読書の有無 (問26)

問26 最近2年以内(令和2年8月~令和4年7月)に読書をしましたか。
(○は1つだけ)

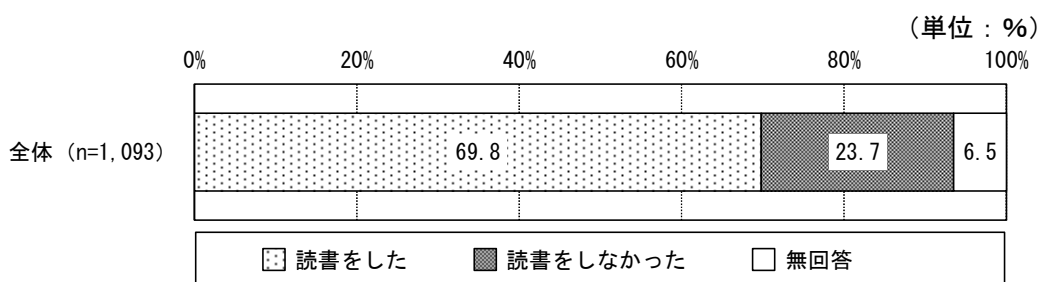
※1冊(1誌・1紙)でも読書をした方は「読書をした」に○をつけてください。

最近2年以内の読書の経験の有無については、「読書をした」が69.8%を占めており、「読書をしなかった」が23.7%となっています。

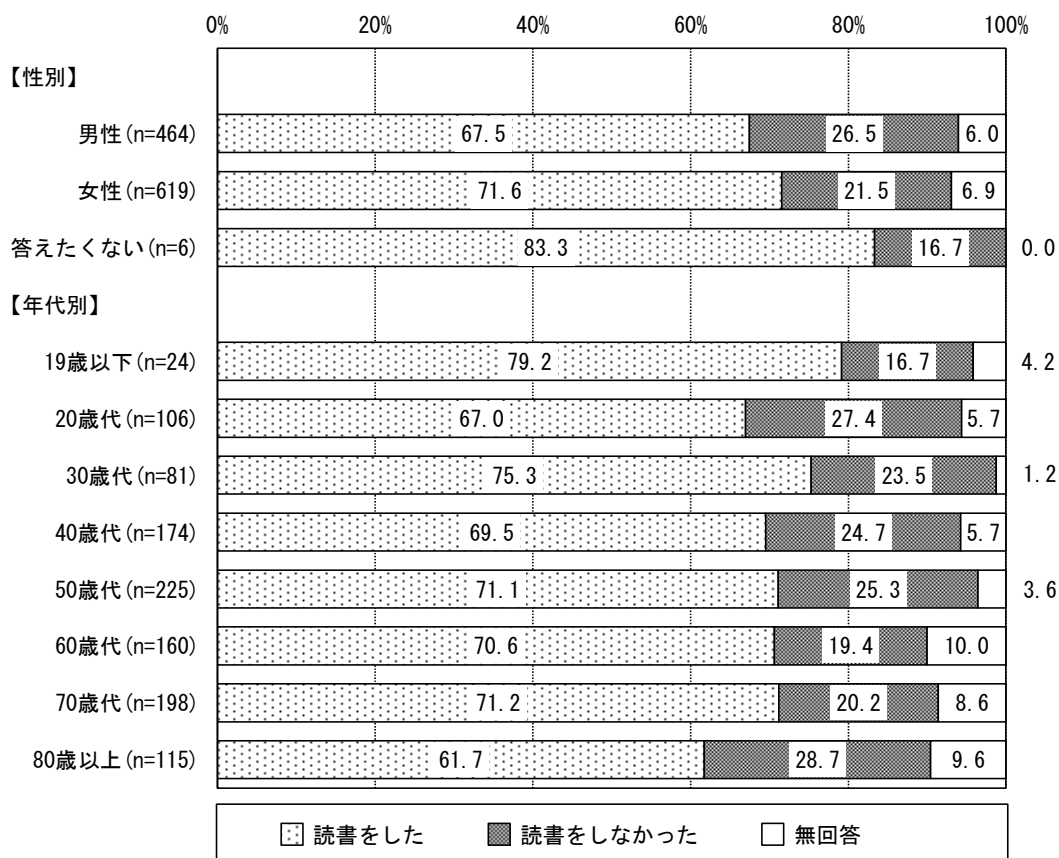
性別では、「読書をした」は『男性』が67.5%、『女性』が71.6%であり、『女性』の方が多くなっています。

年代別では、『19歳以下』が79.2%を占めており、最も高くなっています。

■最近2年以内に読書をしたか(単数回答/全体)



■最近2年以内に読書をしたか(単数回答/性別、年代別)



(2) 読書をしたときの出版物の形態 (問27)

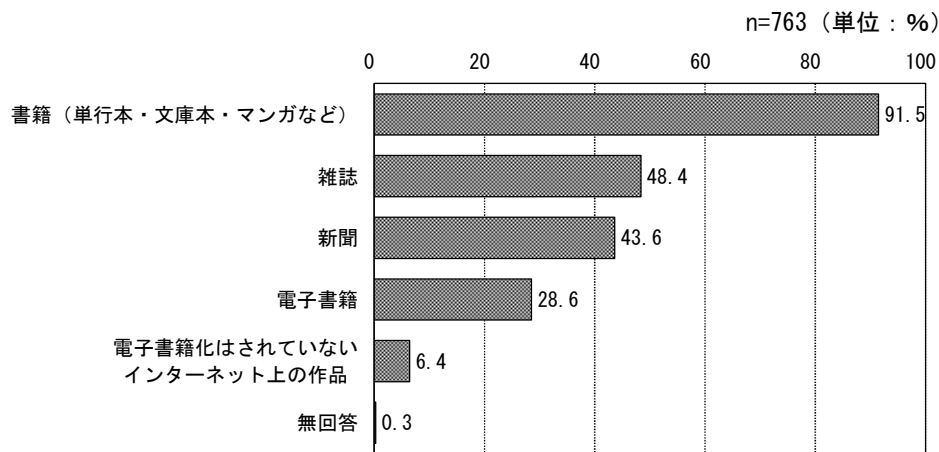
問26で「1. 読書をした」を答えられた方におたずねします。

問27 読書をしたときの出版物の形態を教えてください。(〇はいくつでも)

最近2年以内に読書をしたことがある人を対象に、どんなジャンルの本を読んだかについて尋ねたところ、「書籍(単行本・文庫本・マンガなど)」が91.5%を占めており、最も多くなっています。次いで「雑誌」が48.4%、「新聞」が43.6%、「電子書籍」が28.6%、「電子書籍化はされていないインターネット上の作品」が6.4%の順となっています。

年代別にみると、各年代とも「書籍(単行本・文庫本・マンガなど)」が最も多くなっています。次いで多いのが『19歳以下』『20歳代』『30歳代』では「電子書籍」、『40歳代』『50歳代』『60歳代』では「雑誌」、『70歳代』『80歳以上』では「新聞」となっており、年齢層により差異がみられます。

■読書をしたときの出版物の形態 (複数回答/全体)



■読書をしたときの出版物の形態 (複数回答/年代別)

	合計	書籍 (単行本・文庫本・マンガなど)	雑誌	新聞	電子書籍	電子書籍化はされていないインターネット上の作品	無回答
全体	763 100.0	698 91.5	369 48.4	333 43.6	218 28.6	49 6.4	2 0.3
B. 年齢							
19歳以下	19 100.0	19 100.0	5 26.3	1 5.3	8 42.1	1 5.3	0 0.0
20歳代	71 100.0	67 94.4	23 32.4	15 21.1	33 46.5	15 21.1	1 1.4
30歳代	61 100.0	57 93.4	32 52.5	14 23.0	36 59.0	9 14.8	1 1.6
40歳代	121 100.0	115 95.0	66 54.5	46 38.0	55 45.5	9 7.4	0 0.0
50歳代	160 100.0	153 95.6	82 51.3	66 41.3	49 30.6	9 5.6	0 0.0
60歳代	113 100.0	107 94.7	56 49.6	50 44.2	20 17.7	3 2.7	0 0.0
70歳代	141 100.0	118 83.7	68 48.2	86 61.0	10 7.1	2 1.4	0 0.0
80歳以上	71 100.0	57 80.3	33 46.5	52 73.2	4 5.6	0 0.0	0 0.0
無回答	6 100.0	5 83.3	4 66.7	3 50.0	3 50.0	1 16.7	0 0.0

(3) 読んだ書籍のジャンル (問28)

問27で「1. 書籍」を答えられた方におたずねします。

問28 どんなジャンルの書籍を読みましたか。(〇はいくつでも)

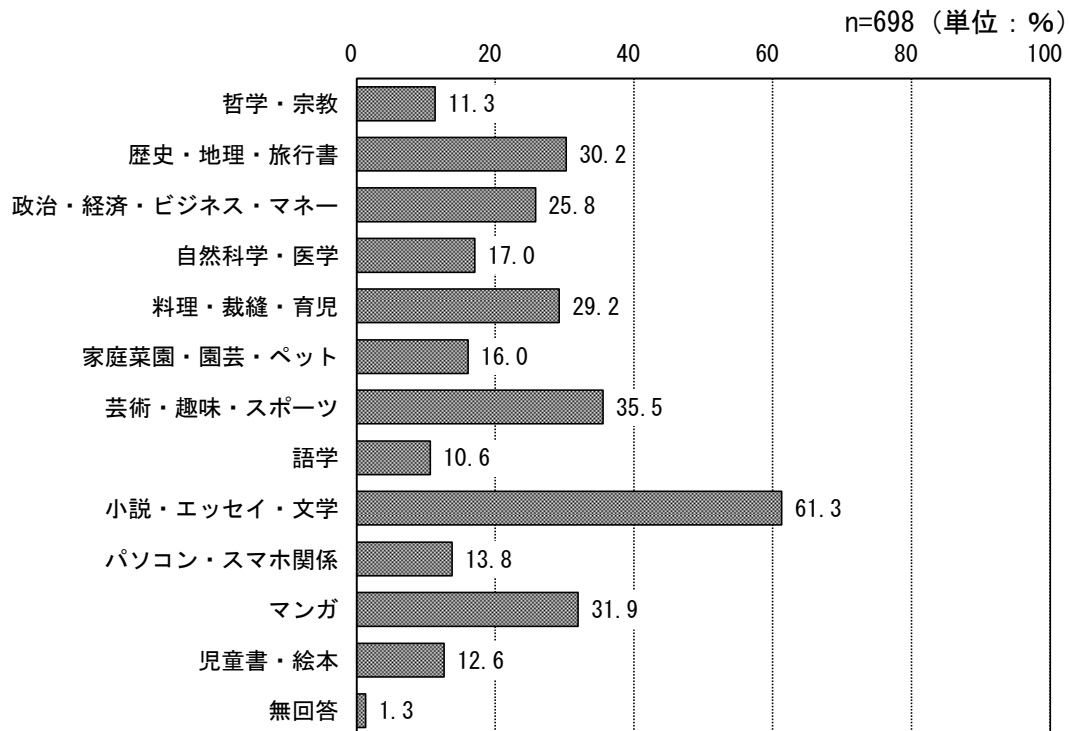
最近2年以内に読書をした人を対象に、どんなジャンルの本を読んだかについて尋ねたところ、「小説・エッセイ・文学」が61.3%を占めており、最も多くなっています。次いで「芸術・趣味・スポーツ」が35.5%、「マンガ」が31.9%、「歴史・地理・旅行書」が30.2%の順となっています。

性別では、男女とも「小説・エッセイ・文学」が最も多くなっていますが、次いで多いのが『男性』では「芸術・趣味・スポーツ」、『女性』では「料理・裁縫・育児」が多くなっています。

また、年代別では、各年代とも「小説・エッセイ・文学」が多くなっています。それ以外の項目では、『19歳以下』『20歳代』『30歳代』『40歳代』では「マンガ」、『50歳代』『60歳代』では「芸術・趣味・スポーツ」、『70歳代』では「料理・裁縫・育児」、『80歳以上』では「歴史・地理・旅行書」が高くなっています。

なお、『30歳代』では、「児童書・絵本」が他の年齢層より高くなっており、年齢層による差異がみられます。

■読んだ書籍のジャンル (複数回答／全体)



■読んだ書籍のジャンル（複数回答／性別、年代別）

		合計	哲学・宗教	歴史・地理・旅行書	政治・経済・ビジネス・マネー	自然科学・医学	料理・裁縫・育児	家庭菜園・園芸・ペット	芸術・趣味・スポーツ
全体		698	79	211	180	119	204	112	248
		100.0	11.3	30.2	25.8	17.0	29.2	16.0	35.5
A. 性別	男性	287	38	94	108	47	25	36	109
		100.0	13.2	32.8	37.6	16.4	8.7	12.5	38.0
	女性	404	39	113	69	70	177	74	133
		100.0	9.7	28.0	17.1	17.3	43.8	18.3	32.9
	答えたくない	5	2	3	2	2	2	2	4
		100.0	40.0	60.0	40.0	40.0	40.0	40.0	80.0
	無回答	2	0	1	1	0	0	0	2
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
B. 年齢	19歳以下	19	1	2	0	2	2	0	6
		100.0	5.3	10.5	0.0	10.5	10.5	0.0	31.6
	20歳代	67	11	13	20	11	14	2	21
		100.0	16.4	19.4	29.9	16.4	20.9	3.0	31.3
	30歳代	57	4	14	19	6	14	4	18
		100.0	7.0	24.6	33.3	10.5	24.6	7.0	31.6
	40歳代	115	9	36	35	26	43	15	41
		100.0	7.8	31.3	30.4	22.6	37.4	13.0	35.7
	50歳代	153	15	54	43	23	45	23	61
		100.0	9.8	35.3	28.1	15.0	29.4	15.0	39.9
60歳代	107	15	36	26	23	29	25	39	
	100.0	14.0	33.6	24.3	21.5	27.1	23.4	36.4	
70歳代	118	19	33	20	17	43	28	40	
	100.0	16.1	28.0	16.9	14.4	36.4	23.7	33.9	
80歳以上	57	5	21	14	10	12	14	19	
	100.0	8.8	36.8	24.6	17.5	21.1	24.6	33.3	
	無回答	5	0	2	3	1	2	1	3
		100.0	0.0	40.0	60.0	20.0	40.0	20.0	60.0

		合計	語学	小説・エッセイ・文学	パソコン・スマホ関係	マンガ	児童書・絵本	無回答
全体		698	74	428	96	223	88	9
		100.0	10.6	61.3	13.8	31.9	12.6	1.3
A. 性別	男性	287	30	153	51	93	15	1
		100.0	10.5	53.3	17.8	32.4	5.2	0.3
	女性	404	43	271	44	128	72	8
		100.0	10.6	67.1	10.9	31.7	17.8	2.0
	答えたくない	5	1	3	0	2	1	0
		100.0	20.0	60.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	無回答	2	0	1	1	0	0	0
		100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
B. 年齢	19歳以下	19	5	12	1	14	2	0
		100.0	26.3	63.2	5.3	73.7	10.5	0.0
	20歳代	67	15	45	14	41	4	1
		100.0	22.4	67.2	20.9	61.2	6.0	1.5
	30歳代	57	4	25	7	35	20	1
		100.0	7.0	43.9	12.3	61.4	35.1	1.8
	40歳代	115	11	74	10	51	26	3
		100.0	9.6	64.3	8.7	44.3	22.6	2.6
	50歳代	153	22	97	23	52	18	2
		100.0	14.4	63.4	15.0	34.0	11.8	1.3
60歳代	107	8	66	18	22	9	0	
	100.0	7.5	61.7	16.8	20.6	8.4	0.0	
70歳代	118	7	67	15	3	7	2	
	100.0	5.9	56.8	12.7	2.5	5.9	1.7	
80歳以上	57	1	38	5	3	1	0	
	100.0	1.8	66.7	8.8	5.3	1.8	0.0	
	無回答	5	1	4	3	2	1	0
		100.0	20.0	80.0	60.0	40.0	20.0	0.0

(4) 読んだ電子書籍のジャンル (問29)

問27で「4. 電子書籍」を答えられた方におたずねします。

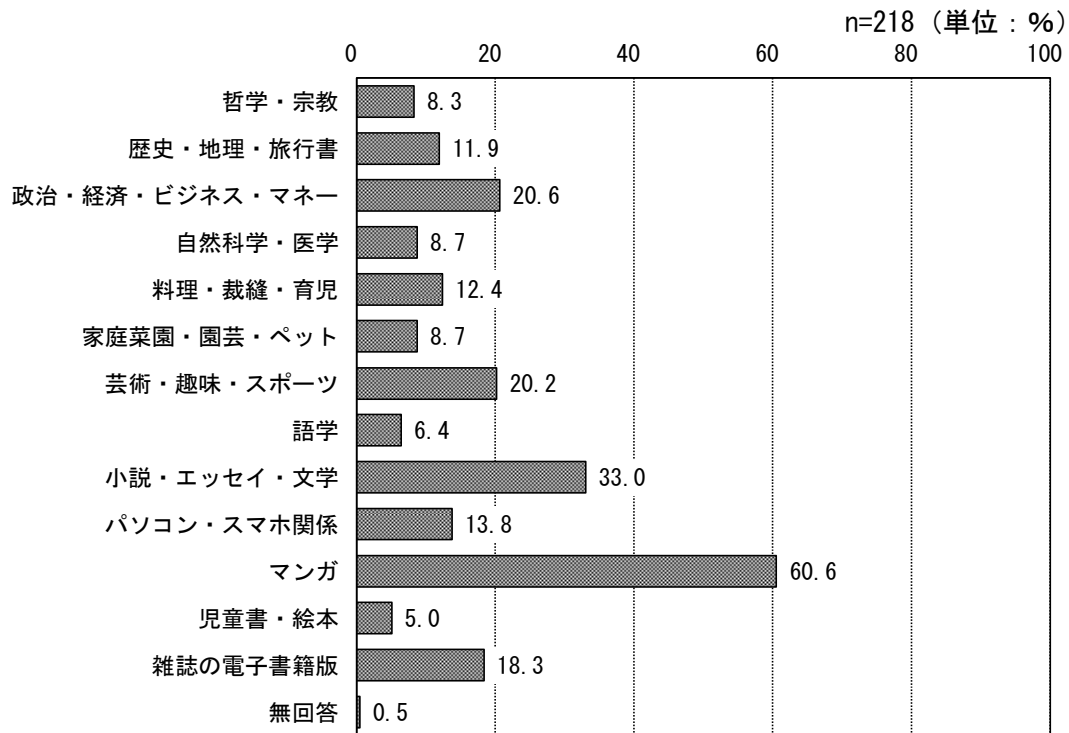
問29 どんなジャンルの電子書籍を読みましたか。(〇はいくつでも)

最近2年以内で電子書籍を読んだ人を対象に、どんなジャンルの電子書籍を読んだかについて尋ねたところ、「マンガ」が最も多く、60.6%を占めています。次いで「小説・エッセイ・文学」が33.0%、「政治・経済・ビジネス・マネー」が20.6%、「芸術・趣味・スポーツ」が20.2%、「雑誌の電子書籍版」が18.3%の順となっています。

性別にみると、男女とも「マンガ」「小説・エッセイ・文学」の比率が高くなっています。

年代別も『80歳以上』を除いて、各年齢層とも「マンガ」「小説・エッセイ・文学」の比率が高くなっています。

■読んだ電子書籍のジャンル (複数回答／全体)



■ 読んだ電子書籍のジャンル（複数回答／性別、年代別）

		合計	哲学・宗教	歴史・地理・旅行書	政治・経済・ビジネス・マネー	自然科学・医学	料理・裁縫・育児	家庭菜園・園芸・ペット	芸術・趣味・スポーツ
全体		218 100.0	18 8.3	26 11.9	45 20.6	19 8.7	27 12.4	19 8.7	44 20.2
A. 性別	男性	97 100.0	8 8.2	14 14.4	28 28.9	11 11.3	2 2.1	6 6.2	22 22.7
	女性	120 100.0	10 8.3	11 9.2	17 14.2	7 5.8	24 20.0	13 10.8	21 17.5
	答えたくない	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
B. 年齢	19歳以下	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
	20歳代	33 100.0	4 12.1	2 6.1	11 33.3	3 9.1	1 3.0	1 3.0	6 18.2
	30歳代	36 100.0	2 5.6	3 8.3	6 16.7	4 11.1	2 5.6	2 5.6	9 25.0
	40歳代	55 100.0	1 1.8	4 7.3	13 23.6	3 5.5	9 16.4	2 3.6	8 14.5
	50歳代	49 100.0	4 8.2	10 20.4	11 22.4	5 10.2	8 16.3	4 8.2	13 26.5
	60歳代	20 100.0	5 25.0	3 15.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	4 20.0	4 20.0
	70歳代	10 100.0	1 10.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	4 40.0	6 60.0	3 30.0
	80歳以上	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	語学	小説・エッセイ・文学	パソコン・スマホ関係	マンガ	児童書・絵本	雑誌の電子書籍版	無回答
全体		218 100.0	14 6.4	72 33.0	30 13.8	132 60.6	11 5.0	40 18.3	1 0.5
A. 性別	男性	97 100.0	5 5.2	28 28.9	17 17.5	60 61.9	4 4.1	17 17.5	1 1.0
	女性	120 100.0	9 7.5	43 35.8	13 10.8	71 59.2	6 5.0	22 18.3	0 0.0
	答えたくない	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
B. 年齢	19歳以下	8 100.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5	6 75.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
	20歳代	33 100.0	3 9.1	13 39.4	2 6.1	26 78.8	0 0.0	7 21.2	1 3.0
	30歳代	36 100.0	2 5.6	8 22.2	7 19.4	27 75.0	4 11.1	11 30.6	0 0.0
	40歳代	55 100.0	1 1.8	19 34.5	7 12.7	35 63.6	3 5.5	9 16.4	0 0.0
	50歳代	49 100.0	5 10.2	17 34.7	9 18.4	28 57.1	4 8.2	11 22.4	0 0.0
	60歳代	20 100.0	0 0.0	6 30.0	2 10.0	7 35.0	0 0.0	1 5.0	0 0.0
	70歳代	10 100.0	2 20.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	80歳以上	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

(5) 最近2年以内の図書館・公民館図書室・自動車文庫の利用の有無（問30）

問30 最近2年以内（令和2年8月～令和4年7月）に河内長野市の図書館・公民館図書室・自動車文庫のいずれかを利用しましたか。（○は1つだけ）

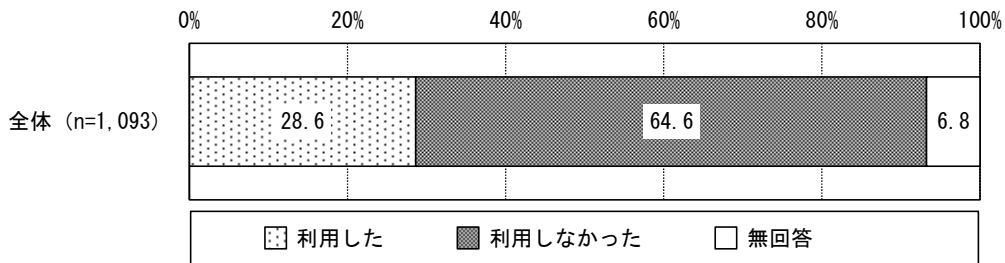
※1度でも利用した方は「利用した」に○をつけてください。

最近2年以内の河内長野市の図書館・公民館図書室・自動車文庫の利用の有無については、「利用した」が28.6%、「利用しなかった」が64.6%となっています。

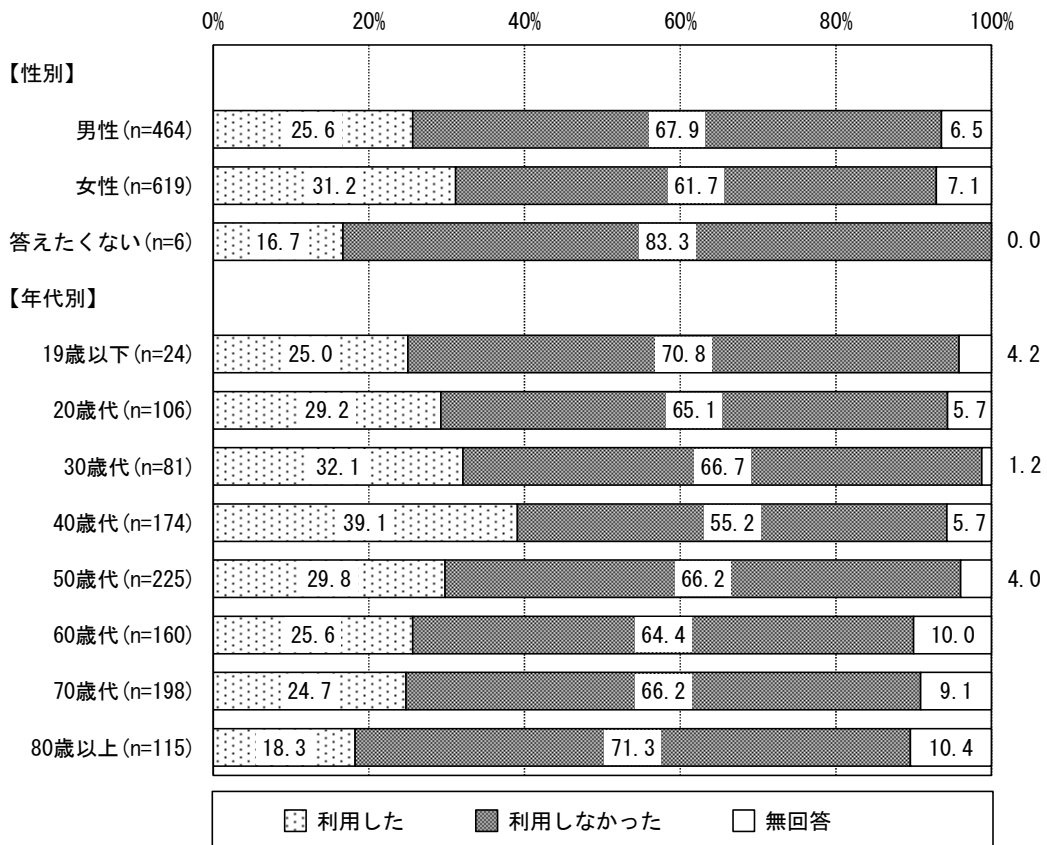
性別にみると、「利用した」は『男性』が25.6%、『女性』が31.2%であり、『女性』の方が多くなっています。

年代別にみると、「利用した」は『40歳代』が39.1%であり、他の年齢層よりも高くなっています。

■最近2年以内の河内長野市の図書館・公民館図書室・自動車文庫の利用の有無
(単数回答／全体)



■最近2年以内の河内長野市の図書館・公民館図書室・自動車文庫の利用の有無
(単数回答／性別、年代別)



(6) 河内長野市の図書館等を利用しなかった理由 (問31)

問30で「2. 利用しなかった」を答えられた方におたずねします。

問31 河内長野市の図書館等を利用しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

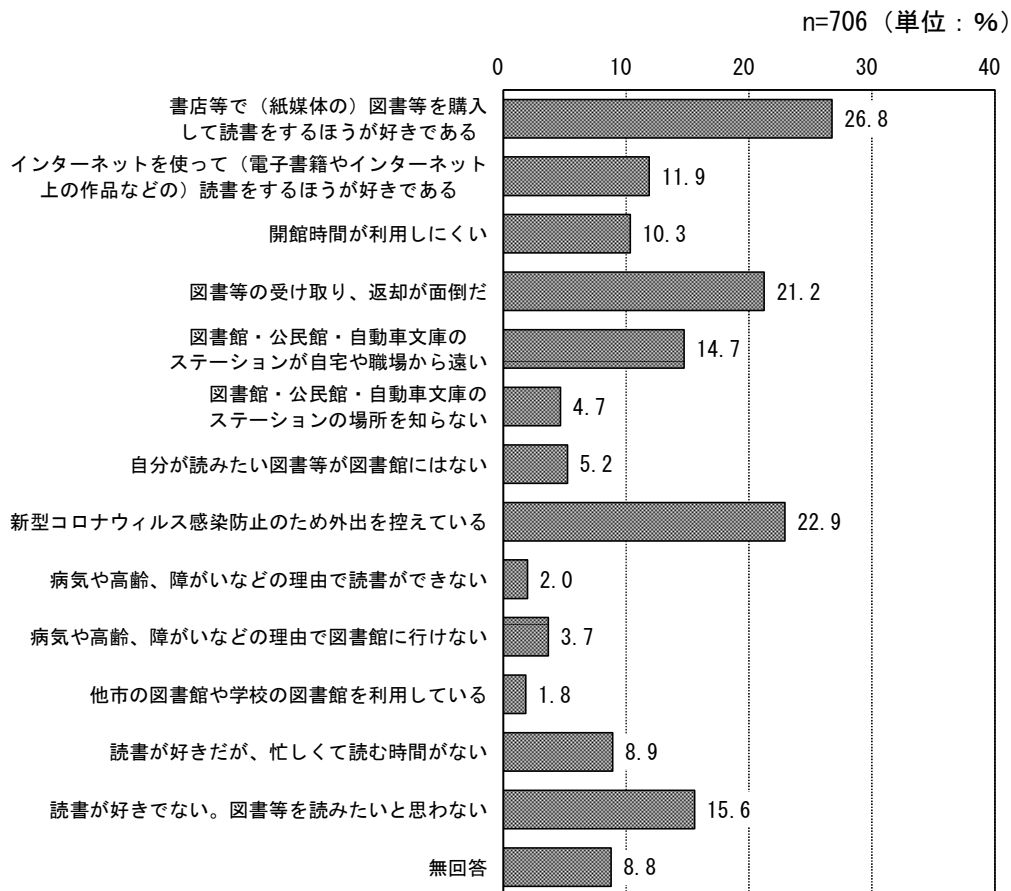
最近2年以内に河内長野市の図書館・公民館図書室・自動車文庫を利用しなかった人を対象に、その理由を尋ねたところ、「書店等で(紙媒体の)図書等を購入して読書をするほうが好きである」が26.8%で最も多くなっており、次いで「新型コロナウイルス感染防止のため外出を控えている」が22.9%、「図書等の受け取り、返却が面倒だ」が21.2%の順となっています。

性別にみると、「書店等で(紙媒体の)図書等を購入して読書をするほうが好きである」は『男性』が25.1%、『女性』が28.0%であり、最も多くなっています。次いで、男女とも「新型コロナウイルス感染防止のため外出を控えている」の順となっています。

年代別にみると、『19歳以下』『30歳代』『40歳代』は「図書等の受け取り、返却が面倒だ」が最も多くなっています。また、『20歳代』『50歳代』『60歳代』は「書店等で(紙媒体の)図書等を購入して読書をするほうが好きである」が最も多く、『70歳代』『80歳以上』は「新型コロナウイルス感染防止のため外出を控えている」が最も多くなっており、年齢層による差異がみられます。

小学校区別では、「図書等の受け取り、返却が面倒だ」は『三日市小学校区』『加賀田小学校区』『美加の台小学校区』が他の小学校区より高くなっています。

■河内長野市の図書館等を利用しなかった理由 (複数回答/全体)



(7) 自動車文庫の利用の意向 (問32)

問31で「5. 図書館・公民館・自動車文庫のステーションが自宅や職場から遠い」
「6. 図書館・公民館・自動車文庫のステーションの場所を知らない」を答えられた方
におたずねします。

問32 自動車文庫のステーションが自宅の近くにあれば利用したいですか。
(○は1つだけ)

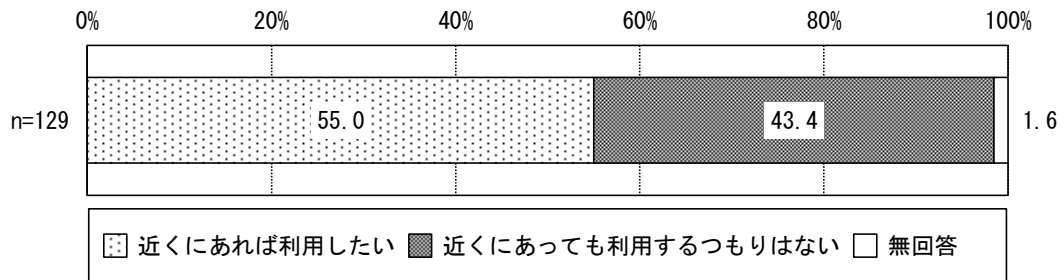
※自動車文庫とは：バスに約1,800冊の書籍を積んで市内を回っている移動図書館です。現在
23か所のステーションに2週間に1度のペースで巡回しています。ステーションの場所は
「広報かわちながの」または図書館のホームページに掲載しています。

図書館・公民館・自動車文庫のステーションが遠い、場所を知らない人を対象に利用の
意向を尋ねたところ、「近くにあれば利用したい」が55.0%となっています。

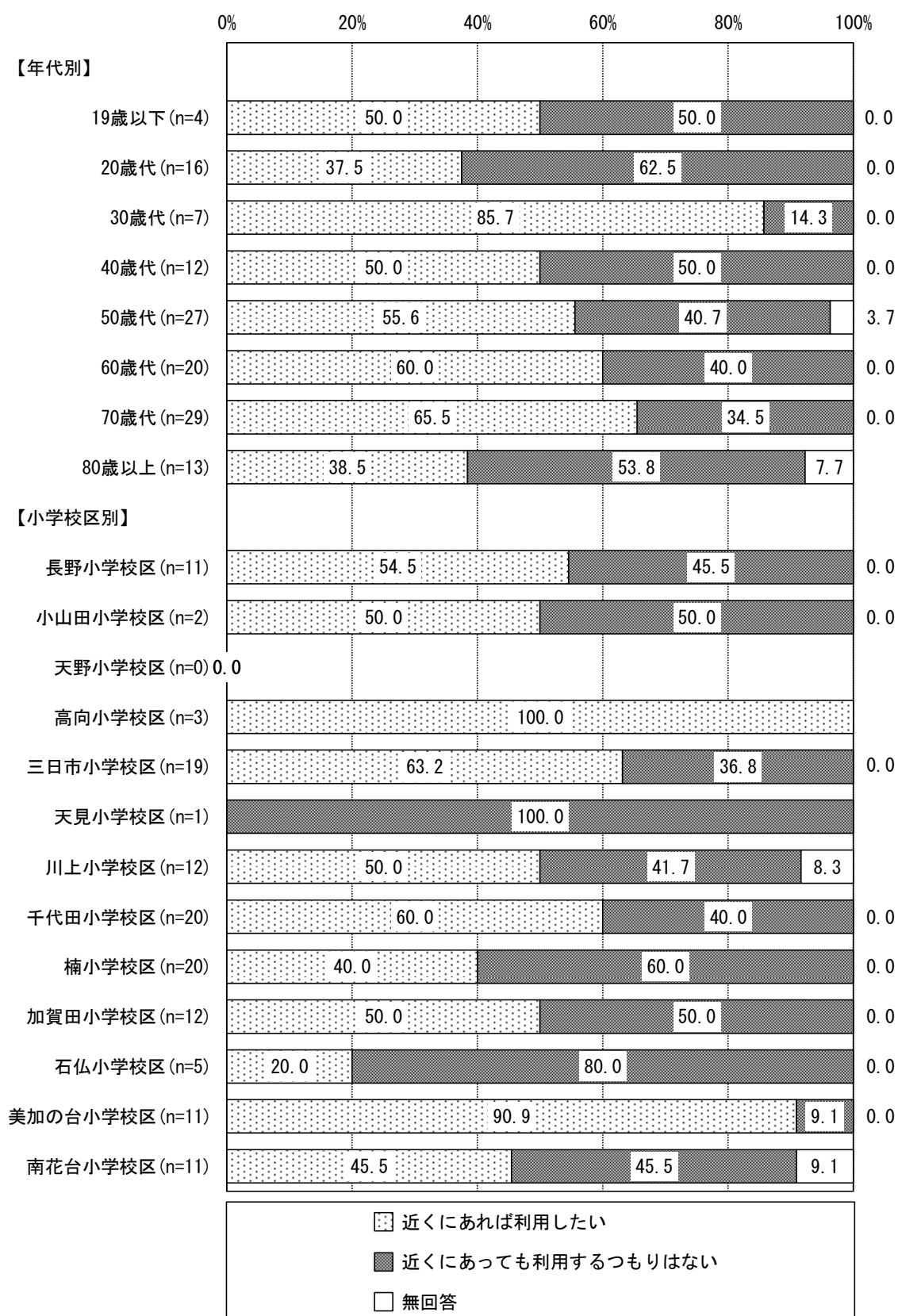
年代別にみると、「近くにあれば利用したい」は『30歳代』が85.7%を占めています。
また、『19歳以下』及び『40歳代』から『70歳代』の年齢層で利用の意向が高くなって
います。

小学校区別では、「近くにあれば利用したい」は『高向小学校区』が100.0% (回答数
3)、『美加の台小学校区』が90.9% (回答数11)、『三日市小学校区』が63.2% (回答数19)
となっています。

■河内長野市の図書館等の利用の意向 (単数回答/全体)



■河内長野市の図書館等の利用の意向（単数回答／年代別、小学校区別）



(8)「河内長野市立電子図書館」の認知度 (問33)

問33 河内長野市立図書館のホームページから利用できる「河内長野市立電子図書館」についてご存知ですか。(○は1つだけ)

※河内長野市立電子図書館とは：パソコン、スマートフォン、タブレット等を使ってご自宅で電子書籍を読むことができるサイトです。河内長野市に住んでいる方、通学・通勤されている方は河内長野市立図書館の利用者カードを持っていただければ利用することができます。

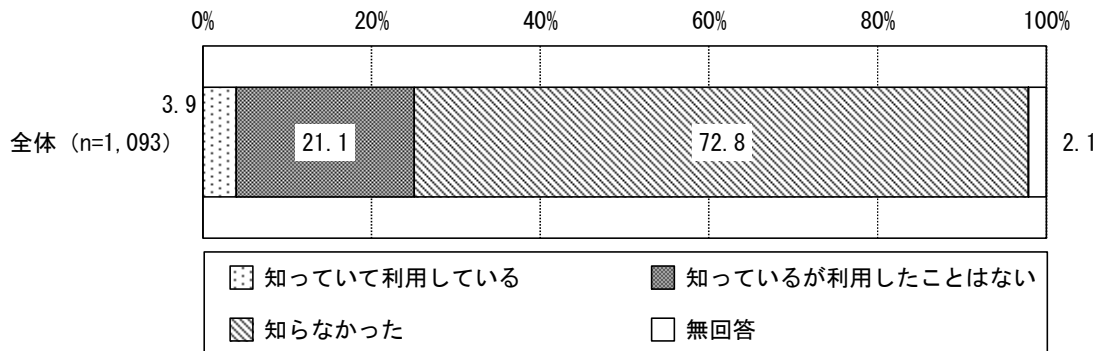
河内長野市立図書館のホームページから利用できる「河内長野市立電子図書館」の認知度については、「知っていて利用している」は3.9%、「知っているが利用したことはない」21.1%となっています。

性別にみると、『男性』は「知っていて利用している」が3.0%、「知っているが利用したことはない」が17.9%、『女性』は「知っていて利用している」が4.7%、「知っているが利用したことはない」が23.4%となっています。

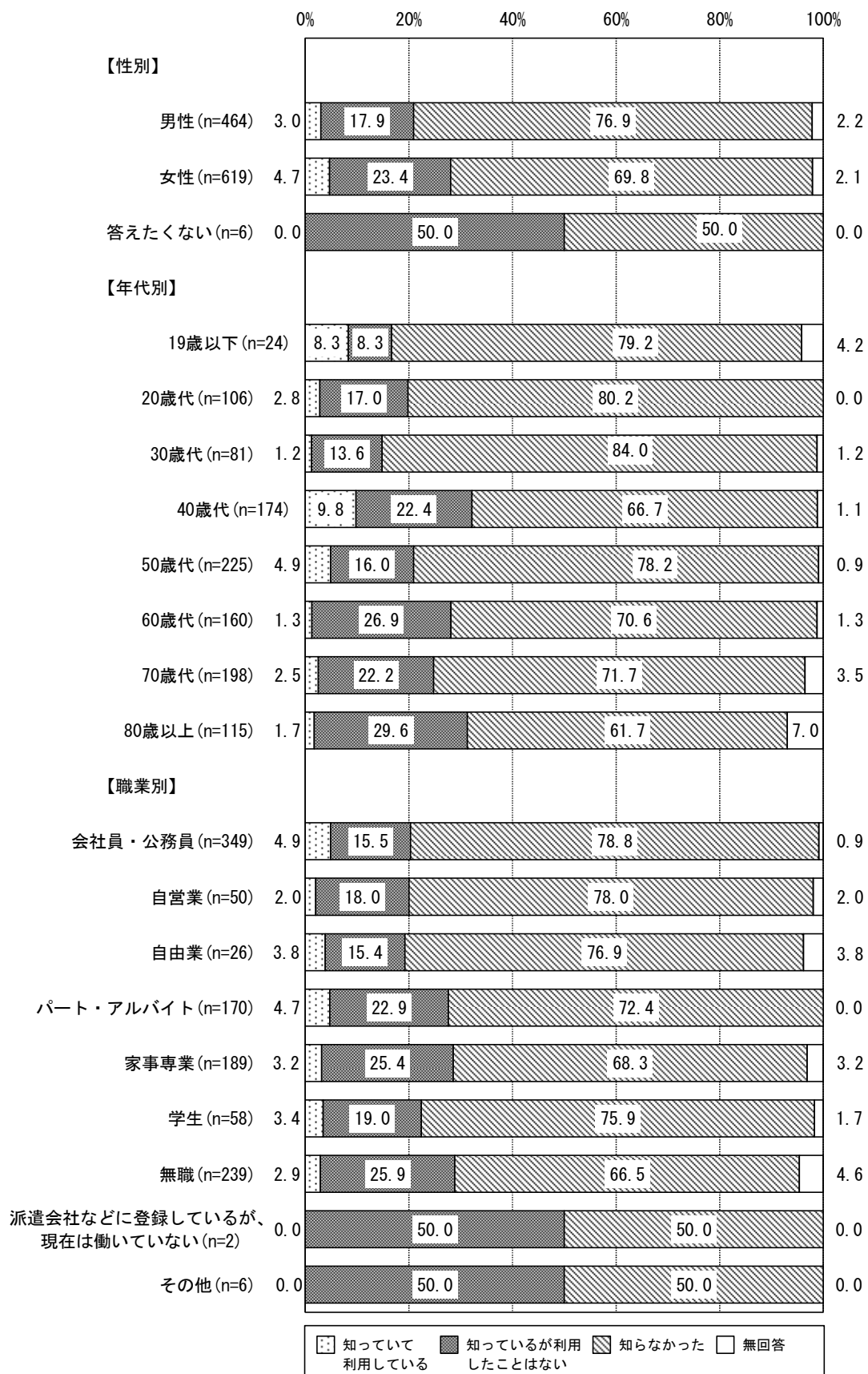
年代別にみると、「知っていて利用している」は『19歳以下』が8.3%、『40歳代』が9.8%となっており、他の年齢層より高くなっています。

職業別にみると、職種にかかわらず「知っていて利用している」は5%未満、「知っているが利用したことはない」は概ね20%前後となっています。

■「河内長野市立電子図書館」の認知度 (単数回答／全体)



■ 「河内長野市立電子図書館」の認知度（単数回答／性別、年代別、職業別）



(9) 図書館にとって重要だと思われるもの（問34）

問34 図書館にとって重要だと思われるものは何ですか。（〇はいくつでも）

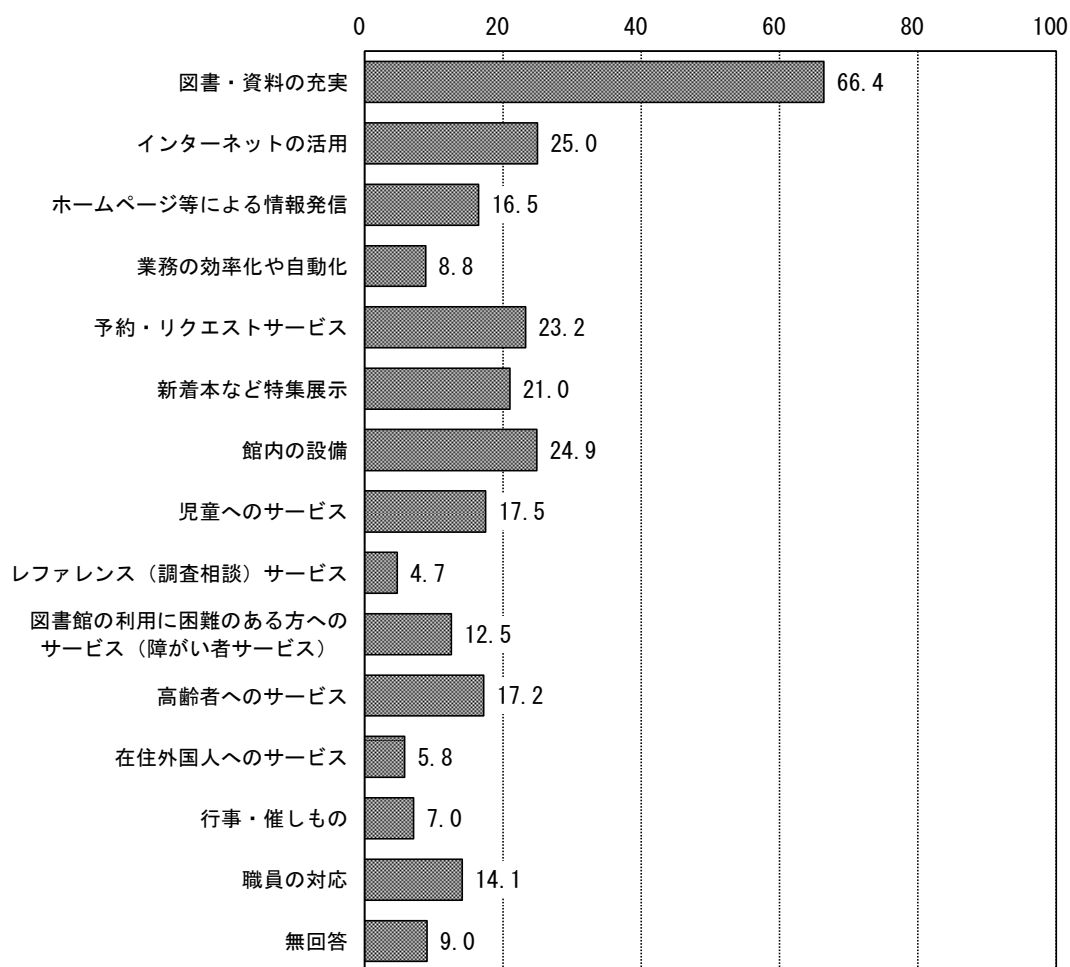
図書館にとって重要だと思われることについては、「図書・資料の充実」が66.4%と最も多くなっています。次いで「インターネットの活用」が25.0%、「館内の設備」が24.9%、「予約・リクエストサービス」が23.2%、「新着本など特集展示」が21.0%の順となっています。

性別にみると、男女とも「図書・資料の充実」が最も多くなっています。次いで多いのが『男性』は「インターネットの活用」であり、『女性』は「予約・リクエストサービス」となっています。

年代別にみると、各年齢層とも「図書・資料の充実」が最も多くなっています。次いで多いのが『19歳以下』では「予約・リクエストサービス」、『20歳代』『40歳代』『50歳代』では「インターネットの活用」、『30歳代』では「児童へのサービス」、『60歳代』は「館内の設備」、『70歳代』『80歳以上』は「高齢者へのサービス」となっています。

■ 図書館にとって重要だと思われるもの（複数回答／全体）

n=1,093（単位：％）



■図書館にとって重要だと思われるもの（複数回答／性別、年齢別）

		合計	図書・資料の充実	インターネットの活用	ホームページ等による情報発信	業務の効率化や自動化	予約・リクエストサービス	新着本など特集展示	館内の設備	児童へのサービス
全体		1,093 100.0	726 66.4	273 25.0	180 16.5	96 8.8	254 23.2	229 21.0	272 24.9	191 17.5
A. 性別	男性	464 100.0	312 67.2	125 26.9	83 17.9	47 10.1	85 18.3	91 19.6	121 26.1	76 16.4
	女性	619 100.0	406 65.6	148 23.9	97 15.7	49 7.9	166 26.8	136 22.0	149 24.1	114 18.4
	答えたくない	6 100.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7
	無回答	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
B. 年齢	19歳以下	24 100.0	13 54.2	9 37.5	2 8.3	4 16.7	11 45.8	4 16.7	6 25.0	2 8.3
	20歳代	106 100.0	86 81.1	44 41.5	18 17.0	16 15.1	29 27.4	18 17.0	35 33.0	26 24.5
	30歳代	81 100.0	59 72.8	33 40.7	15 18.5	11 13.6	21 25.9	27 33.3	25 30.9	37 45.7
	40歳代	174 100.0	129 74.1	52 29.9	31 17.8	22 12.6	50 28.7	42 24.1	46 26.4	44 25.3
	50歳代	225 100.0	159 70.7	71 31.6	53 23.6	22 9.8	68 30.2	39 17.3	62 27.6	34 15.1
	60歳代	160 100.0	114 71.3	38 23.8	31 19.4	8 5.0	31 19.4	37 23.1	45 28.1	21 13.1
	70歳代	198 100.0	113 57.1	18 9.1	20 10.1	9 4.5	25 12.6	36 18.2	37 18.7	15 7.6
	80歳以上	115 100.0	47 40.9	6 5.2	6 7.8	9 2.6	3 13.0	15 20.9	24 9.6	11 7.0
	無回答	10 100.0	6 60.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	4 40.0	2 20.0	5 50.0	4 40.0

		合計	レファレンス（調査相談）サービス	図書館の利用に困難のある方へのサービス（障がい者サービス）	高齢者へのサービス	在住外国人へのサービス	行事・催しもの	職員の対応	無回答
全体		1,093 100.0	51 4.7	137 12.5	188 17.2	63 5.8	77 7.0	154 14.1	98 9.0
A. 性別	男性	464 100.0	24 5.2	49 10.6	72 15.5	21 4.5	30 6.5	59 12.7	43 9.3
	女性	619 100.0	25 4.0	87 14.1	113 18.3	40 6.5	46 7.4	93 15.0	54 8.7
	答えたくない	6 100.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0
	無回答	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0
B. 年齢	19歳以下	24 100.0	1 4.2	3 12.5	1 4.2	2 8.3	2 8.3	4 16.7	1 4.2
	20歳代	106 100.0	8 7.5	17 16.0	15 14.2	11 10.4	6 5.7	20 18.9	2 1.9
	30歳代	81 100.0	9 11.1	10 12.3	4 4.9	10 12.3	15 18.5	10 12.3	1 1.2
	40歳代	174 100.0	6 3.4	31 17.8	22 12.6	12 6.9	17 9.8	31 17.8	6 3.4
	50歳代	225 100.0	12 5.3	31 13.8	27 12.0	17 7.6	12 5.3	33 14.7	12 5.3
	60歳代	160 100.0	4 2.5	17 10.6	21 13.1	4 2.5	7 4.4	22 13.8	9 5.6
	70歳代	198 100.0	9 4.5	18 9.1	55 27.8	3 1.5	11 5.6	20 10.1	36 18.2
	80歳以上	115 100.0	2 1.7	9 7.8	40 34.8	4 3.5	7 6.1	12 10.4	29 25.2
	無回答	10 100.0	0 0.0	1 10.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0

(10) 河内長野市立図書館で充実したらよいと思われる資料（問35）

問35 河内長野市立図書館で、今後充実したらよいと思われる資料は何ですか。
（〇はいくつでも）

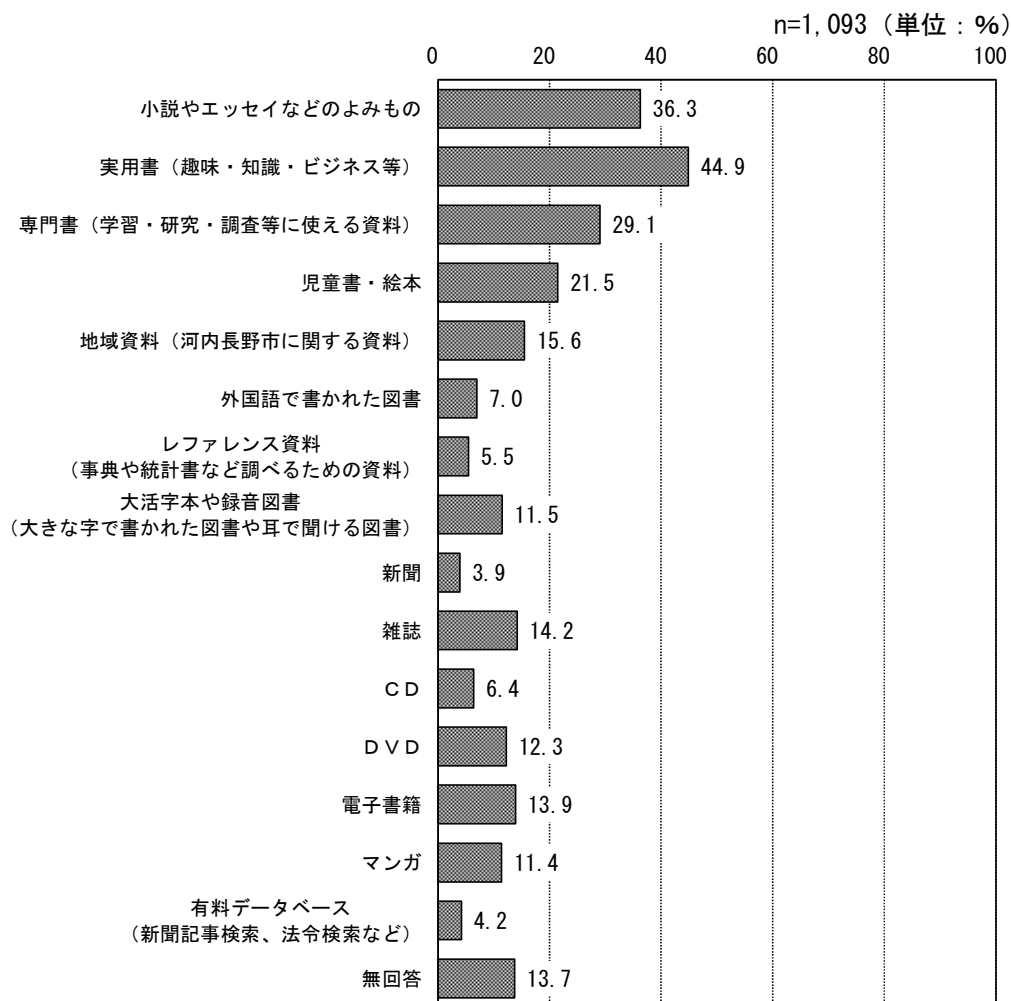
河内長野市立図書館で、今後充実したらよいと思われる資料については、「実用書（趣味・知識・ビジネス等）」が44.9%で最も多くなっています。次いで「小説やエッセイなどのよみもの」が36.3%、「専門書（学習・研究・調査等に使える資料）」が29.1%、「児童書・絵本」が21.5%の順となっています。

性別にみると、男女とも「実用書（趣味・知識・ビジネス等）」が最も多くなっており、次いで「小説やエッセイなどのよみもの」の順となっています。

年代別では、『30歳代』では「児童書・絵本」が45.7%で最も多くなっていますが、『19歳以下』『20歳代』及び『40歳代』～『70歳代』では「実用書（趣味・知識・ビジネス等）」が最も多くなっています。次いで『19歳以下』『20歳代』では「専門書（学習・研究・調査等に使える資料）」、『40歳代』～『70歳代』では「小説やエッセイなどのよみもの」となっています。

『80歳以上』は「小説やエッセイなどのよみもの」が最も多く（32.2%）、次いで「実用書（趣味・知識・ビジネス等）」（31.3%）の順となっています。

■河内長野市立図書館で、今後充実したらよいと思われる資料（複数回答／全体）



■河内長野市立図書館で、今後充実したらよいと思われる資料（複数回答／性別、年代別）

		合計	小説やエッセイなどのよみもの	実用書（趣味・知識・ビジネス等）	専門書（学習・研究・調査等に使える資料）	児童書・絵本	地域資料（河内長野市に関する資料）	外国語で書かれた図書	レファレンス資料（事典や統計書など調べるための資料）	大活字本や録音図書（大きな字で書かれた図書や耳で聞ける図書）
全体		1,093 100.0	397 36.3	491 44.9	318 29.1	235 21.5	170 15.6	76 7.0	60 5.5	126 11.5
A. 性別	男性	464 100.0	145 31.3	219 47.2	139 30.0	69 14.9	99 21.3	23 5.0	26 5.6	34 7.3
	女性	619 100.0	249 40.2	268 43.3	175 28.3	163 26.3	70 11.3	52 8.4	33 5.3	90 14.5
	答えたくない	6 100.0	3 50.0	4 66.7	4 66.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3
	無回答	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
B. 年齢	19歳以下	24 100.0	10 41.7	11 45.8	10 41.7	2 8.3	1 4.2	6 25.0	0 0.0	2 8.3
	20歳代	106 100.0	40 37.7	50 47.2	45 42.5	19 17.9	13 12.3	15 14.2	12 11.3	10 9.4
	30歳代	81 100.0	23 28.4	34 42.0	23 28.4	37 45.7	17 21.0	9 11.1	5 6.2	6 7.4
	40歳代	174 100.0	64 36.8	73 42.0	63 36.2	52 29.9	23 13.2	16 9.2	13 7.5	15 8.6
	50歳代	225 100.0	87 38.7	111 49.3	85 37.8	54 24.0	30 13.3	16 7.1	11 4.9	27 12.0
	60歳代	160 100.0	65 40.6	86 53.8	46 28.8	35 21.9	35 21.9	7 4.4	5 3.1	20 12.5
	70歳代	198 100.0	68 34.3	87 43.9	35 17.7	26 13.1	33 16.7	5 2.5	8 4.0	30 15.2
	80歳以上	115 100.0	37 32.2	36 31.3	10 8.7	8 7.0	18 15.7	2 1.7	6 5.2	15 13.0
	無回答	10 100.0	3 30.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0

		合計	新聞	雑誌	C D	D V D	電子書籍	マンガ	有料データベース（新聞記事検索、法令検索など）	無回答
全体		1,093 100.0	43 3.9	155 14.2	70 6.4	134 12.3	152 13.9	125 11.4	46 4.2	150 13.7
A. 性別	男性	464 100.0	20 4.3	55 11.9	26 5.6	50 10.8	68 14.7	43 9.3	22 4.7	64 13.8
	女性	619 100.0	23 3.7	97 15.7	44 7.1	83 13.4	83 13.4	82 13.2	24 3.9	83 13.4
	答えたくない	6 100.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7
	無回答	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
B. 年齢	19歳以下	24 100.0	1 4.2	5 20.8	3 12.5	3 12.5	4 16.7	8 33.3	0 0.0	1 4.2
	20歳代	106 100.0	4 3.8	10 9.4	4 3.8	14 13.2	18 17.0	26 24.5	12 11.3	3 2.8
	30歳代	81 100.0	2 2.5	12 14.8	5 6.2	12 14.8	13 16.0	15 18.5	4 4.9	5 6.2
	40歳代	174 100.0	5 2.9	31 17.8	15 8.6	26 14.9	33 19.0	36 20.7	7 4.0	7 4.0
	50歳代	225 100.0	11 4.9	50 22.2	15 6.7	37 16.4	51 22.7	27 12.0	14 6.2	23 10.2
	60歳代	160 100.0	4 2.5	16 10.0	8 5.0	12 7.5	16 10.0	7 4.4	1 0.6	17 10.6
	70歳代	198 100.0	11 5.6	22 11.1	12 6.1	17 8.6	9 4.5	2 1.0	5 2.5	50 25.3
	80歳以上	115 100.0	5 4.3	8 7.0	5 4.3	11 9.6	6 5.2	2 1.7	3 2.6	42 36.5
	無回答	10 100.0	0 0.0	1 10.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	2 20.0

令和4年度 河内長野市市政アンケート調査のお願い

日頃は何かと市政の推進にご協力いただきありがとうございます。

河内長野市では、住みよい河内長野市の実現をめざして日々、行政を推進しているところですが、市民のみなさんの率直なご意見をお聴きし、各種施策をすすめるうえでの参考資料とするため、市政アンケート調査を定期的を実施しています。

今年は、テーマ〈健康づくりや読書習慣・図書館利用に関する意識調査〉を中心に調査を行うこととしました。

みなさんのご意見は、計画策定や市民サービスの向上などの参考とさせていただきますので、ぜひ、あなたの河内長野市についての率直なお考えをお聞かせください。

お忙しいこととは存じますが、アンケートの趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年8月

河内長野市長

- このアンケートは、18歳以上の市民の中から無作為に2,000人の方々を選び、郵送でアンケート票をお送りしています。
- このアンケートには、ご本人による記入が難しい場合を除き、封筒のあて名の方がご自身でご記入ください。
- 回答内容は、統計的に処理し、調査の目的以外に利用することはありません。
- アンケート結果の概要は、後日、市ホームページなどを通じてお知らせします。
- ご記入いただいたアンケート票は、無記名のまま、9月6日(火)までに同封の返信用封筒に入れてお送りください。(切手を貼る必要はありません。)

【お問い合わせ先】

このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いします。

河内長野市役所

設問 9～25 → 市民保健部 健康推進課 (0721-55-0301)

設問 26～35 → 生涯学習部 図書館 (0721-52-6933)

上記以外の設問 → 総合政策部 政策企画課 (内線 341)

(代表電話番号) 0721-53-1111

(ファックス) 0721-55-1435

(メール) kikaku@city.kawachinagano.lg.jp



令和4年度 河内長野市市政アンケート調査票

まず、回答していただくあなたご自身についておうかがいします。

A 性別をおたずねします。(自認する性別の番号に○は1つだけ)

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない

B 年齢をおたずねします。() 内に数字を記載してください。

満 () 歳

C あなたの家族構成はどれですか。(○は1つだけ)

1. 単身(ひとりぐらし)世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. 親子2世代世帯

4. 親子孫3世代世帯 5. その他(具体的に:)

D あなたは、どのくらいの期間、河内長野市にお住まいですか。(○は1つだけ)

1. 1年未満 2. 1年～5年未満 3. 5年～10年未満

4. 10年～15年未満 5. 15年～20年未満 6. 20年～30年未満

7. 30年以上

E あなたは、現在どこ(小学校区)に住んでいますか。(○は1つだけ)

1. 長野小学校区 2. 小山田小学校区 3. 天野小学校区

4. 高向小学校区 5. 三田市小学校区 6. 天見小学校区

7. 川上小学校区 8. 千代田小学校区 9. 榊小学校区

10. 加賀田小学校区 11. 石仏小学校区 12. 美加の台小学校区

13. 南花台小学校区 14. わからない(住所は:)

F あなたは、現在のお住まいに来る以前はどこに住んでいましたか。(○は1つだけ)

1. ずっと現在のところに住んでいる 2. 現在地以外の河内長野市内

3. 河内長野市以外の南河内地域*1 4. 堺市

5. 大阪市 6. その他の大阪府

7. 和歌山県 8. 奈良県

9. その他の都道府県または外国(具体的に:)

*1: 富田林市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大塚築山町、太子町、河南町、千早赤阪村

G あなたの職業は何ですか。(○は1つだけ)

1. 会社員・公務員 2. 自営業

3. 自由業(医師、弁護士など専門的職業) 4. パート・アルバイト

5. 家事専業 6. 学生

7. 無職

8. 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない

9. その他(具体的に:)

河内長野市での定住意向についておうかがいします。

問1 あなたは、これからも河内長野市に住みつづけたいと思いますか。(○は1つだけ)

1. ずっと今の場所に住みつづけたい 2. 河内長野市内で転居したい(転居したい地域:) →問2へお進みください。

3. 1, 2. のどちらともいえないが河内長野市には住みつづけたい 4. 特に住みつづけたいわけではないが、今のところ住みつづけるつもり →問4へお進みください。

5. いずれ市外に移りたい(移りたい都市・地域名:) 6. すぐに市外に移りたい(移りたい都市・地域名:) →問3へお進みください。

7. 何ともいえない →問4へお進みください。

問1で「1. ずっと今の場所に住みつづけたい」「2. 河内長野市内で転居したい」「3. 1, 2. のどちらともいえないが河内長野市には住みつづけたい」と答えられた方におたずねします。

問2 住みつづけた理由は何か。(○は2つまで)

1. 生まれ育ったまちだから 2. 住みなれたまちだから

3. 親せきや知人がいるから 4. 近所つきあいがいやすいから

5. 自然環境がよいから 6. 田舎の良さが残っているから

7. 魅力ある歴史・文化があるから 8. 教育環境がよいから

9. 買い物に便利だから 10. 通勤、通学に便利だから

11. 医療環境がよいから 12. レジャー・娯楽施設が多いから

13. 福祉サービスが整っているから 14. 働く場所としての魅力が多いから

15. 今後発展すると思うから 16. その他(具体的に:)

問1で「5. いずれ市外に移りたい」「6. すぐに市外に移りたい」と答えられた方におたずねします。

問3 市外に移りたい理由は何か。(○は2つまで)

1. 市内に住みかえたいが、希望に合う 2. 転勤等仕事の関係で住宅がないから

3. 生活環境が悪いから 4. 人間関係がよくないから

5. 買い物など日常生活に不便だから 6. 通勤・通学に不便だから

7. 子どもの教育の関係で 8. その他(具体的に:)

すべての方におたずねします。

問4 これからも河内長野市に住みつづけるためには、どんなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

1. 一戸建てや賃貸住宅など、ニーズにあった住環境の充実 2. 市内で働ける場所の充実

3. 身近な緑など自然環境の充実 4. 歴史・文化を感じられる地域づくりの充実

5. 隣近所など地域との良好な人間関係 6. 買い物などの日常生活の便利さの充実

7. 通勤・通学などの交通環境の充実 8. 子どもの教育環境の充実

9. 老後も安心して暮らせる福祉サービス 10. その他(具体的に:)

の充実

河内長野市の取組についておうえいがいします。

問5 次の1から41の各項目について、①現在の生活の中でどの程度満足していますか。また、②今後に向けてどの程度重要だと思えますか。各項目の①および②のそれぞれについて○は1つだけ、あなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。(①、②それぞれについて○は1つだけ)

項目	①現在の満足度					②今後の重要度					
	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	非常に重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	
安全・安心	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
1. 防災	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
2. 消防・救急	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
3. 防犯	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
4. 交通安全	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
5. 消費者行政	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
6. 地域の支え合い	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
7. 高齢者にととの暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
8. 障がい者にととの暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
9. 社会保障制度	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
10. 健康づくりを進める環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
11. 児童に対する福祉	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
12. 子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
13. 小中学校の教育環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
14. 青少年の健全な育成	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
15. 各種講座や施設など生涯学習の環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
16. 文化芸術活動などの環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
17. 歴史文化遺産の保存・活用	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
18. スポーツ施設や活動などの環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
19. 人権の尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
20. 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
21. 国際交流や多文化共生社会の推進	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
22. 自然環境への配慮	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
23. リサイクル施策など循環型社会への取り組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
24. 騒音・悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
25. まちなみ・自然・歴史など景観の美しさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
26. 市街地の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
27. 住環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
28. 公園や緑地などの環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
29. 道路や橋などの交通網	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
30. バスなどの公共交通サービス	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
31. 上下水道	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

(つづき)

項目	①現在の満足度					②今後の重要度					
	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	非常に重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	わからない	
32. 商業地などの賑わい	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
33. 農林業の振興	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
34. 観光事業	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
35. 身近な場での働きやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
36. 市民同士の連携や市民と行政の協働	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
37. 行政改革への取り組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
38. 適正で透明性の高い財政運営	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
39. 市職員の窓口や電話等での対応	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
40. 都市ブランドの創出・都市魅力の発信	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
41. 市全体として	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

問5の①現在の満足度で、「4. やや不満」「5. 不満」と答えられた方におたずねします。

問6 特に不満を感じられている項目の番号を2つまで選んで、それぞれについて不満を感じる理由を記入してください。

【項目の番号】	左の項目が「4. やや不満」「5. 不満」と感じる理由

すべての方におたずねします。

問7 あなたは、この1年で市内の「地域活動やまちづくり活動」*1にどの程度参加されましたか。(○は1つだけ)

*1：「地域活動やまちづくりの活動」とは、自治会、町内会、PTA、教育、青少年育成、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広い活動のことを言います。

1. 週に2～3回以上	2. 週に1回程度
3. 月に1回程度	4. 年に数回程度
5. 年に1回程度	6. ほとんどない

問8 次の1から3の項目について、どのように感じていますか。各項目について、あなたの考えに最も近い番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

項目	非常に感じる	やや感じる	普通	あまり感じない	ほとんど感じない	わからない
1. 地域のまちづくり活動が充実していると感じている	1	2	3	4	5	6
2. 河内長野市に住みづづきたいと感じている	1	2	3	4	5	6
3. 河内長野市に愛着と誇りを感じている	1	2	3	4	5	6

あなたの健康づくりについておうちがいます。

【身体を動かすことや運動についておたずねします。】

問9 運動の頻度はどの程度ですか。(○は1つだけ)

1. ほとんど毎日	}	→問 10、問 11 へお進みください。
2. 週2～3回		
3. 週1回		
4. その他 ()		
5. 運動していない		

問9で「1. ほとんど毎日」「2. 週2～3回」「3. 週1回」「4. その他」を答えられた方におたずねします。

問10 1回の時間はどの程度ですか。(○は1つだけ)

1. 15分未満	2. 15分以上30分未満
3. 30分以上1時間未満	4. 1時間以上2時間未満
5. 2時間以上	6. その他 ()

問11 続けている期間はどの程度ですか。(○は1つだけ)

1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月以上1年未満
3. 1年以上	

すべての方におたずねします。

【日頃のストレスについておたずねします。】

問12 ストレスをうまく解消できていますか。(○は1つだけ)

1. その都度解消している	2. 解消できることが多い
3. 解消できないことが多い	4. 解消できていない

問13 どのようにストレスを解消していますか。(○はいくつでも)

1. 家族に話をする	2. 友人や同様に話をする
3. 上司や先生に相談する	4. 専門家に相談する
5. 趣味やスポーツを通して	6. 飲食をする
7. よく眠る	8. その他 ()

問14 あなたは、ところが疲れたときに相談できる専門機関を知っていますか。

(○は1つだけ)

1. 知っている	→問 14-2 へお進みください。
2. 知らない	→問 15 へお進みください。

問14で「1. 知っている」を答えられた方におたずねします。

問14-2 知っている専門機関すべてに○をつけて下さい。(○はいくつでも)

1. 病院や診療所 (心療内科、精神科、メンタルクリニック、神経内科、精神神経科)
2. 保健所
3. 大阪府立こころの健康総合センター
4. こころの電話相談
5. 若者専用電話相談 (わかほちダイヤル)
6. その他 ()

すべての方におたずねします。

【喫煙についておたずねします。】

問15 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

1. 吸う	2. 吸わない
-------	---------

【アルコールについておたずねします。】

問16 あなたは、お酒を飲みますか。また1回に飲む量ほどの程度ですか。(○は1つだけ)
※ビール中1本、焼酎0.4合、ウイスキーブレンダーダブル1杯、ワイングラス1.5杯を日
本酒1合とします。

1. 飲まない	2. 3合未満	3. 3合以上
---------	---------	---------

【健康状態などについておたずねします。】

問17 あなたは、過去1年間に健康診査 (がん検診を含む) や人間ドックを受けたことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある	→問 17-2、17-3 へお進みください。
2. ない	→問 17-4 へお進みください。

問17で「1. ある」を答えられた方におたずねします。

問17-2 どこで受けましたか。(○はいくつでも)

1. 市の健康診査 (保健センターや医療機関)
2. 職場や学校
3. 職場以外の人間ドック
4. その他 ()

問 17-3 何を受けましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 特定健康診査・一般健康診査 (血液、尿検査など) | |
| 2. 胃がん検診 | |
| 3. 大腸がん検診 | |
| 4. 肺がん検診 | |
| 5. 乳がん検診 | |
| 6. 子宮頸がん検診 | |
| 7. その他 () | |

問 17で「2. ない」を答えられた方におたずねします。

問 17-4 受けていない理由を選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1. 忙しくて受ける時間がない | 2. 受けるのが面倒 |
| 3. 健康に自信がある | 4. 悪いといわれるのがこわい |
| 5. 経済的余裕がない | 6. 医者にかかっている |
| 7. どうすれば受けられるか知らない | 8. その他 () |

すべての方におたずねします。

【歯の状態や手入れについておたずねします。】

問 18 あなたの歯についておたずねします。現在、自分の歯は何本ありますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 0本 | 2. 1本以上 10本未満 |
| 3. 10本以上 20本未満 | 4. 20本以上 24本未満 |
| 5. 24本以上 | |

問 19 定期的に歯科検診を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 受けている | →問 19-2へお進みください。 |
| 2. 受けていない | →問 20へお進みください。 |

問 19で「1. 受けている」を答えられた方におたずねします。

問 19-2 どこを受けていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 歯科医院・診療所・病院 | 2. 職場 |
| 3. 学校 | 4. その他 () |

【日頃の食生活についておたずねします。】

(以下の文章をよくお読みいただいた後にお答え下さい。)

「食育」とは、心身の健康の増進と豊かな人間形成のために、食に関する知識や食を選択する力をも身に付け、健全な食生活を実践できる人間を育てることです。その中には、規則正しい食生活や栄養バランスのとれた食事などを実践したり、食を通じたコミュニケーションやマナー、あいさつなどの食に関する知識を身につけたり、自然の恵みへの感謝や伝統的な食文化などへの理解を深めたりすることをいいます。

問 20 あなたは「食育」に関心がありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 関心がある | 2. どちらかといえば関心がある |
| 3. どちらかといえば関心がない | 4. 関心がない |
| 5. わからない | |

問 21 あなたは朝食を食べますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. ほとんど毎日食べている | →問 23へお進みください。 |
| 2. 週に4～5日食べる | } |
| 3. 週に2～3日食べる | |
| 4. ほとんど食べない | |

問 21で「2. 週に4～5日食べる」「3. 週に2～3日食べる」「4. ほとんど食べない」を答えられた方におたずねします。

問 22 朝食を食べない日がある理由は何ですか。(最も大きな理由となるもの1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 食欲がない | 2. 食べる時間がない |
| 3. 朝食が用意されていない | 4. 食べる習慣がない |
| 5. 朝食を食べるより寝ていたい | 6. 太りたくない (ダイエット) |
| 7. 作るのが面倒 | 8. その他 () |

すべての方におたずねします。

問 23 あなたはふだんどのように食事をしていますか。

(①「朝食」、②「夕食」それぞれ○は1つだけ)

- | | | |
|------|--------------|---------------|
| ① 朝食 | 1. 家族そろって食べる | 2. 家族のだけかと食べる |
| | 3. 一人で食べる | 4. ほとんど食べない |
| ② 夕食 | 1. 家族そろって食べる | 2. 家族のだけかと食べる |
| | 3. 一人で食べる | 4. ほとんど食べない |

すべての方におたずねします。

問30 最近2年以内(令和2年8月～令和4年7月)に河内長野市の図書館・公民館図書室・自動車文庫のいずれかを利用しましたか。(〇は1つだけ)

※1度でも利用した方は「利用した」に〇をつけてください。

- 1. 利用した →問33へお進みください。
- 2. 利用しなかった →問31へお進みください。

問30で「2. 利用しなかった」を答えられた方におたずねします。

問31 河内長野市の図書館等を利用しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- 1. 書店等で(紙媒体の)図書等を購入して読書をするほうが好きである
- 2. インターネットを使って(電子書籍やインターネット上の作品などの)読書をするほうが好きである。
- 3. 開館時間が利用しにくい
- 4. 図書等の受け取り、返却が面倒だ
- 5. 図書館・公民館・自動車文庫のステーションが自宅や職場から遠い
- 6. 図書館・公民館・自動車文庫のステーションの場所を知らない
- 7. 自分が読みたい図書等が図書館にはない
- 8. 新型コロナウイルス感染防止のため外出を控えている
- 9. 病気や高齢、障がいなどの理由で読書ができない
- 10. 病気や高齢、障がいなどの理由で図書館に行けない
- 11. 他市の図書館や学校の図書館を利用している
- 12. 読書が好きだが、忙しくて読む時間がない
- 13. 読書が好きでない。図書等を読みたいと思わない

問31で「5. 図書館・公民館・自動車文庫のステーションが自宅や職場から遠い」「6. 図書館・公民館・自動車文庫のステーションの場所を知らない」を答えられた方におたずねします。

問32 自動車文庫のステーションが自宅の近くにあれば利用したいですか。

(〇は1つだけ)

※自動車文庫とは：バスに約1,800冊の書籍を積んで市内を回っている移動図書館です。現在23か所のステーションに2週間に1度のペースで巡回しています。ステーションの場所は「広報かわちながの」または図書館のホームページに掲載しています。

- 1. 近くであれば利用したい
- 2. 近くにあっても利用するつもりはない

すべての方におたずねします。

問33 河内長野市立図書館のホームページから利用できる「河内長野市立電子図書館」についてご存知ですか。(〇は1つだけ)

※河内長野市立電子図書館とは：パソコン、スマートフォン、タブレット等を使ってご自宅で電子書籍を読むことができます。河内長野市に住んでいる方、通学・通勤されている方は河内長野市立図書館の利用者カードを持っていただければ利用することができます。

- 1. 知っていて利用している
- 2. 知っているが利用したことはない
- 3. 知らなかった

問34 図書館にとって重要だと思われるものは何ですか。(〇はいくつでも)

- 1. 図書・資料の充実
- 2. インターネットの活用
- 3. ホームページ等による情報発信
- 4. 業務の効率化や自動化
- 5. 予約・リクエストサービス
- 6. 新着本など特集展示
- 7. 館内の設備
- 8. 児童へのサービス
- 9. レファレンス(調査相談)サービス
- 10. 図書館の利用に困難のある方へのサービス(障がい者サービス)
- 11. 高齢者へのサービス
- 12. 在住外国人へのサービス
- 13. 行事・催しもの
- 14. 職員の対応

問35 河内長野市立図書館で、今後充実したらよいと思われる資料は何ですか。

(〇はいくつでも)

- 1. 小説やエッセイなどのよみもの
- 2. 実用書(趣味・知識・ビジネス等)
- 3. 専門書(学習・研究・調査等に使える資料)
- 4. 児童書・絵本
- 5. 地域資料(河内長野市に関する資料)
- 6. 外国語で書かれた図書
- 7. レファレンス資料(事典や統計書など調べのための資料)
- 8. 大活字本や録音図書(大きな字で書かれた図書や耳で聞ける図書)
- 9. 新聞
- 10. 雑誌
- 11. CD
- 12. DVD
- 13. 電子書籍
- 14. マンガ
- 15. 有料データベース(新聞記事検索、法務検索など)

設問は以上です。
ご協力ありがとうございました。